

瘋癲老人日記

谷崎潤一郎

青空文庫

十六日。……夜新宿ノ第一劇場夜ノ部ヲ見ニ行ク。出シ物ハ「恩讐の彼方へ」「彦市ばなし」すけろくくるわのもよぐさ「助六 曲輪菊」デアルガ他ノモノハ見ズ、助六ダケガ目的デアル。勘弥ノ助六デハ物足りナイガ、訥升ガ揚卷ヲスルト云ウノデ、ソレガドンナニ美シイカト思イ、助六ヨリモ揚卷ノ方ニ惹カレタノデアル。婆サント颯子ト同伴。浄吉モ会社カラ直接駆ケツケル。助六ノ芝居ヲ知ツテイルノハ予ト婆サンダケ。颯子ハ知ラナイ。婆サンモ団十郎ノハ見タコトガアルカモ知レナイガ、記憶ガナイ。先々代ノ羽左衛門ノハ一度カ二度見タト云ウ。団十郎ノヲハツキリト見テイルノハ予一人デアル。アレハ明治三十年前後、十三四ノ頃ダツタト思ウ。団十郎ノ助六ハコノ時ガ最後デ、三十六年ニハ死ンデイル。揚卷ハ先代歌右衛門、ソノ時ハマダ福助ト云ツテイタ。意休ハ福助ノ父ノ芝翫デアツタ。予ノ家が本所割下水ニアツタ時代デ、両国廣小路ノ、アレハ何ト云ツタツケナ、何トカ云ウ有名ナ絵草紙屋ノ店頭ニ助六ト意休ト揚卷ノ三枚続キノ錦絵ガ掲ゲテアツタノヲ今モ忘レナイ。予ガ羽左衛門ノ助六ヲ見タ時ハ、意休ガ先代中車、揚卷ガヤハリ昔ノ福助、当時ノ歌右衛

門ダツタト思ウ。何デモ冬ノ寒イ日デ、羽左衛門ハ熱ガ四十度近クモアツタニ拘ラズ、ブルブル震エナガラ水入りヲシタ。カンペラ門兵衛ハ特ニ浅草ノ宮戸座カラ中村勘五郎ガ買ワレテ来テ演ジタガ、コレガ妙ニ印象ニ残ツテイル。兎ニ角予ハ助六ノ芝居ガ好キナノデ、助六ガ出ルト聞クト、勘弥ノデモ見ニ行キタクナル。況ンヤ御鼻肩ノ訥升ガ見ラレルニ於テヲヤ。

勘弥ノ助六ハ初役デアロウガ、ヤハリドウモ感心出来ナイ。勘弥ニ限ラズ、近頃ノ助六ハ皆脚ニタイツ才穿ク。時々タイツニ皺ガ寄ツタリシテイル。コレハ甚ダ感興ヲ殺グ。アレハ是非素脚ニ白粉ヲ塗ツテ貰イタイ。訥升ノ揚卷ハ十分満足シタ。コレダケデモ来タ甲斐ガアルト思ツタ。福助時代ノ昔ノ歌右衛門ハイザ知ラズ、近頃コンナ美シイ揚卷ヲ見タコトハナイ。イツタイ予ニハ *Pederasty* ノ趣味ハナイノダガ、最近不思議ニ歌舞伎俳優ノ若い女形ニ性的魅力ヲ感ズルヨウニナツタ。ソレモ素顔デハ駄目ダ。女装シタ舞台ノ上ノ姿デナケレバ駄目ダ。ソウ〜、ソレデ思イ出シタガ、予ニモ全然ペデラスティノ趣味ガナイトハ云エナイカモシレナイ。

若い時ニタツタ一遍ダケ奇怪ナ経験ヲシタコトガアル。昔新派ニ若山千鳥ト云ウ美少年ノ女形ガイタ。山崎長之輔ノ一座ニ属シ中洲ノ真砂座ニ出テイタガ、ヤ、老イテカラハ六代

目ノ面差おもぎしニ似テイタ先代嵐芳三郎ノ相手役トシテ宮戸座ニ出テイタ。老イタト云ツテモ三十ソコノデナオ美シカツタガ、見タトコロ年増女ト云ウ感ジデ、トテモ男性トハ思エナカツタ。真砂座時代紅葉山人ノ「夏小袖」ノ才嬢サンニナツタ時、予ハ特ニ彼女、デハナイ彼ニ魅惑サレタ。何トカ出来タラ一夕彼ヲ才座敷ヘ呼び、舞台デ見タ通りノ女装ヲサセテ、チョットデモイ、カラ一緒ニ寝テミタイ。冗談ニソシナコトヲ云ツタラ、才望ミナラサセテアゲマスト云ツテクレタ或ル待合ノ女将ガイタ。ソシテ図ラズモ予ノ希望ハ叶エラレタガ、首尾ヨク同衾シ、事ヲ行ウニ至ツテモ、普通ノ藝妓ト普通ノ方法デ行ツテイルノト異ルトコロハナカツタ。ツマリ彼ハ最後マデ男子デアルコトヲ相手ニ感ジサセズ、女性ニナリ切ツテイタ。鬢ヲツケタマ、舟底形ノ枕ニ寝、暗イ部屋ノ褥しとねノ中デ、友禪ノ長襦袢ヲ着テノコトデハアルガ、実ニ異常ナ技巧ヲ持ツテイタモノデ、マコトニ不思議ナ經驗デアツタ。断ツテオクガ彼ハ所謂 Hermaphrodite デハナイ、立派ニ男性ノ器具ヲ備エテイタ。タゞ技巧ヲ以テソレヲ感知セシメナカツタノデアル。

ダガ如何ニ技巧ガ巧妙デアツテモ、モトノ趣味デハナカツタノデ、タツタ一遍好奇心ヲ満足サセタゞケデ、ソレキリ同性ト関係シタコトハナカツタ。然ルニ七十七歳ノ今日ニナリ、既ニ左様ナ能力ヲ喪失シタ状態ニナツテカラ、男装ノ麗人ナラヌ女装ノ美少年ニ

魅力ヲ感じ出シタノハナゼカ。青年時代ノ若山千鳥ノ記憶ガ今ニ及ンデよみがえ魅ツテ来タノカ。ドウモソウデハナイラシイ。ソレヨリ何カ不能ニナツタ老人ノ性生活——不能ニナツテモ或ル種ノ性生活ハアルノダ——ト關係ガアルラシイ。……………今日ハ手ガ疲レタ。コレデ止メル。

十七日。昨日ノアトヲモウ少シ続ケル。入梅中デ雨モ降ツテイタノニ、昨夜ハナカ／＼暑カツタ。尤モ劇場内ハ冷房シテイタガ、コノ冷房ガ予ニハ禁物ナノダ。才蔭デ左手ノ神経痛ガ一層痛ミ、皮膚感覺ノ麻痺モ激シクナル。イツモハ手頸カラ指ノ先マデガ疾患部ナノデアルガ、手頸カラ上、肘ノ関節マデガ痛ミ、時ニハ肘ヲ越エテ肩ノ辺マデ波及シタ。

「ソレ御覽ナサイナ、ダカラ云ワナイコツチャナイ。何モソナ思イヲシテマデ見ニ来ルコトハナイジャアリマセンカ」

ト婆サンガ云ツタ。

「コンナ二流芝居」

「イヤソウ云ツタモンデモナイサ。己ハアノ揚卷ノ顔ヲ見テルダケデモイクラカ痛ミヲ忘れルンダ」

予ハ婆サンニ^{たしな}窶メラレテ一層依怙^{いこじ}地ニナツタ。ソノ癖手ノ冷エ方ハマス〜激シカツタ。紗ノ夏羽織ニポーラーノ単衣、紹ノ長襦袢ヲ着テ、シカモ左ノ手ニハ鼠ノ毛糸ノ手袋ヲ簞メ、白金懷炉ヲハンケチニ包ンデ握ツテイタ。

「デモ訥升ハホントニ綺麗ダワ。オ爺^{じい}チャンガア、仰ツシャルノモ無理ナイワ」
ト颯子ガ云ツタ。

「君……………」

ト云イカケテオ前ト云イ直シ、

「オ前ニモ面白味ガ分ルカネ」

ト浄吉ガ云ツタ。

「巧イ拙イハ分ラナイケレド、顔ヤ姿ノ綺麗サニハ感心スルワ。オ爺チャン、明日晝ノ部ヲ見ニイラツシヤラナイ? 『河庄』ノ小春ガ又キツトイ、ワ。御覽ニナルナラ明日ニナスツタラ。先ニ行クホド暑クナリマス」

正直ノトコロ、予ハ手ノ痛サニ閉口シテ晝ノ部ヲ見ルノハ止メヨウカト思ツテイタノダガ、婆サンニ窶メラレタノデ却ツテ依怙地ニナリ、痛イノヲ恠エテ明日ノ晝ニ又来ヨウカト思ツテイタノダツタ。颯子ハ予ノソウ云ウ氣持ヲ実ニ早く見テ取ル。颯子ガ婆サンニオ覚エ

ノ悪イノハ、コンナ場合、婆サンヲ無視シテ予ノ氣持ヲ迎エヨウトスルカラナノダ。彼女モ訥升ガ好キナノデハアロウガ、或ハ治兵衛ノ団子ノ方ニヨリ興味ガアルノカモ知レナイ。
……

今日ノ晝ノ部「河庄」ノ場ハ午後二時開演三時二十分頃ハネル。今日ハ炎天デ昨日ヨリ一層暑イ。車内ノ暑サモ思イヤラレルガ、冷房ガヒトシオ厳シイニ違イナク、手ノ痛サノ方ガ心配デアル。昨夜ハ夜デヨカツタケレドモ、コレカラダト時間ガ時間ダカラ、必ズドコカデデモ隊ニ打ツカリマス、米国大使館ト国会議事堂ト南平台ヲ結ブ線ヲドコカデ横切ラナケレバナリマセン、ソノ積リデ早目ニオ出カケニナツテ下サイト、運転手ガ云ウ。己ムヲ得ズ一時ニ出カケル。今日ハ三人デ浄吉ハ缺席。

幸イ大シタ妨害モナク到着。マダ段四郎ノ「悪太郎」ガ済ンデイナイ。ソレハ見ナイデ食堂ニ這入りト休ミスル。皆ガ飲ムノデ予モアイスクリームヲ注文シタガ、婆サンニ止メラレル。「河庄」ハ小春訥升、治兵衛団子、孫右衛門猿之助、女房才庄宗十郎、多兵衛団之助等々デアル。昔先代鷹治郎ガ新富座デコレヲ出シタ時ノコトヲ思イ出ス。アノ時ノ孫右衛門ハコノ猿之助ノ父段四郎、小春ハ先代梅幸デアツタ。団子ノ治兵衛ハ如何ニモ一生懸命デ、全力ヲ盡シテイルコトハ認メラレルガ、餘リ一生懸命過ギ、緊張シ過ギテコチノ

「ニナツテイル。尤モアノ若サデアノ大役ヲスルノデアルカラ無理モナイ。努力ニ免ジテ将来ノ大成ヲ祈ルノミデアル。同ジ大役デモ大阪ノモノデナク、江戸ノモノヲ選ンダ方ガヨカッタト思ウ。訥升ハ今日モ綺麗デアツタガ、揚卷ノ方ガヨカッタ氣ガスル。後ニ「權三ト助十」ガアツタガ見残シテ出ル。

「コ、マデ来タンダカラチョット伊勢丹へ寄ロウ」

ト、婆サンノ反对ヲ豫期シテ云ウト、

「又冷房デモイ、ンデスカ、コノ暑イノニ早くオ帰りニナツタラドウ」

ト果シテ云ウ。

「コノ通り」

ト、予ハ持ツテイルスネークウツドノステツキノ石^{いしづき}突ヲ示シ、

「コ、ントコロガ取レチマツタンダヨ。ドウ云ウモンカステツキノ石突ハメツタニ長持チシナイモンダネ。必ズ二三年デ取レチマウネ。伊勢丹ノ特選売場へ行ツタラ何カシラ見ツカルダロウ」

実ハ外ニ少シ考ガアツタンダガ、ソナコトハ口ニシナカッタ。

「野村サン、帰りモデモハ大丈夫カシラ」

「エ、大丈夫ダト思イマス」

運転手ノ説ニ依ルト、今日ハ全学連ノ反主流派ノデモダソウデ、二時カラ日比谷ニ集リ、主トシテ国会警視庁辺ヲ襲ウラシイノデ、ソレニ打ツカラナイヨウニスレバイ、ト云ウ。

紳士用ノ特選売場ハ三階ダツタガ、生憎好マシイステツキハナカッタ。ツイデ二見テ行コウト、二階ノ婦人物ノ特選売場ヲ覗ク。全館中元売り出シノ最中デ、相当ニ雑踏シテイル。サンマ^ーイタ^リアンフアツシ^ョンノ陳列ガアツテ、有名ナ^デザ^イナーノ^デザ^インニ依ルイタ^リ好^ミノオ^ートク^チユ^ールノ服ガ沢山飾ラレテイル。颯子ハ、

「マア素敵！」

ヲ連発シテ容易ニ動コウトシナイ。颯子ノタメニカルダンノ絹ノネツカチーフヲ買ツテヤル。三千圓ホドデアル。

「コンナノトテモ欲シインダケレド、オ高クツテ手ガ出ナイワ」

ト、奥太利製ラシイベ^ージ^ュノスウエ^ードノ、口金ニサファイヤノイミテ^ーシ^ョンラシイ石ガ這入ツテイルハンドバッグノ前デ、颯子ハ頻リニ嘆声ヲ発シテイル。定価ハ二萬何千圓デアル。

「浄吉ニ買ワセルサ、ソレクライナモン」

「駄目ヨ、彼ハケチダカラ」

婆サンハ黙ツテ何モ云ワナイ。

「モウ五時ダネ、才婆チャン、コレカラ銀座へ出テ晩飯ヲ喰ツテ帰ロウジヤナイカ」

「銀座ノドコヘ」

「浜作へ行コウヨ、コノ間カラ鱧ガ喰イタクツテ仕様ガナインダ」

颯子ヲ呼ンデ浜作ニ電話サセ、カウンターノ席ヲ三四人分取ツテオイテ貰ウ。六時二行カラ浄吉モ来ラレタラ来ルヨウニ云ワセル。野村曰ク、デモハ夜遅クマデ続キ、霞ケ関カラ銀座へ出テ十時ニ解散スル、今カラ浜作ヘイラツシヤレバ、八時迄ニハ帰レマスカラ大丈夫デス、但シ少シ遠廻リシテ市ケ谷見附カラ九段ヲ経、八重洲口へ出テ行ケバ、デモニ打ツカル恐レハナイト思イマス、ト云ウ。……

十八日。昨日ノ続キ。豫定通り六時浜作着。浄吉ノ方ガ先ニ来テイル。婆サン、予、颯子、浄吉ト云ウ順ニ腰カケル。浄吉夫婦ハビール、予等ハ番茶ヲタンブラーニ入レテ貰ウ。突キ出シニ予等ハ滝川ドウフ、浄吉ハ枝豆、颯子ハモズク。予ハ滝川ドウフノ他ニ晒シ鯨ノ白味噌和エガ欲シクナツテ追加スル。刺身ハ鯛ノ薄ヅクリ二人前、鱧ノ梅肉二人前。鯛ハ

婆サント浄吉、梅肉ハ予ト颯子デアル。焼キ物ハ予一人ダケガ鱧ノ附焼、他ノ三人ハ鮎ノ塩焼、吸物ハ四人トモ早松さまつノ土瓶蒸シ、外ニ茄子ノ鴨焼。

「マダ何カ喰ツテモイ、ナ」

「冗談ジヤナイ、ソレデ足りナインデスカ」

「足りナイコトハナインダガ、コゝへ来ルト関西ノモノガ恋シクナルンダ」

「グジノ一ト塩ガアリマスゼ」

ト浄吉ガ云ウ。

「オ爺チャン、コレ召シ上ツテ下サラナイ？」

颯子ノ前ニ鱧ガソツクリ残ツテイル。彼女ハ残りヲ予ニ食べサセル積リデ、ホンノ一片カ二片食べタゞケデアル。実ヲ云ウト予モ彼女ノ食イ残シガ廻ツテ来ルコトヲ豫期シテ——
—或ハソレガ今夜ノ目的デ——コゝへ来タノカモ知レナイ。

「困ツタナ、僕ハトウニ食べチャツタンデ、梅肉ヲ下ゲテ行ツチャツタンダ」

「梅肉ダツテコゝニアルワ」

ト、颯子ハ鱧ト一緒ニ自分ノ梅肉ヲ廻シテヨコシナガラ、

「梅肉ダケ別ニ取りマシヨウカ」

「ソレニハ及バナイ、コレデ結構」

颯子ハタツタ二片ダケシカ食ベナイノニ、梅肉ガワリニ穢ラシク喰イ荒サレテイル。女ラシクナイ食ベ方デアル。或ハコレモワザトデハナイカト思ウ。

「コゝニ鮎ノ腸モ取ツトキマシタヨ」

ト、婆サンガ云ウ。婆サンハ焼鮎ノ骨ヲ綺麗ニ抜クノガ得意ナノデアル。彼女ハ頭ト骨ト尾トヲ皿ノ一方ニ片寄セテ、身ヲ一片モ残サズニ猫ガ舐メタヨウニ食ベル。ソシテ予ノタメニ腸ダケヲ残シテオクノガ習慣ニナツテイル。

「ワタクシノモゴザイマス」

ト、颯子ガ云ウ。

「ワタクシハオ魚ヲ食ベルノガ下手デスカラ、オ婆チャンノヨウニ綺麗デハゴザイマセンケレド」

颯子ノ鮎ノ残骸ハ成ル程マコトニキタナラシイ。梅肉以上ニ喰イ散ラサレテイル。コレモ意味ガナクハナイヨウニ予ニハ取レル。

食事中ノ雑談ニ、浄吉ガ二三日中ニ札幌へ出張スルカモ知レナイト云ウ。滞在ハ一週間ノ豫定ダガ、来ルナラ一緒ニ来テモイ、ト云ウ。颯子ハ考エテ、北海道ノ夏ヲ見タイト思ツ

テタンダケレド、今度ハ止メルワ、二十日ニ春久サンニ誘ワレテボクシングニ行ク約束シ
チャツタモンダカラ、ト云ウ。浄吉ハソウカト云ツタキリ、強イテ来イトモ云ワナイ。七
時半頃帰宅。

十八日朝経助ガ学校ニ、浄吉ガ会社ニ出テ行ツタ後、庭ヲ散步シテ四阿あずまやニ休ム。四阿マ
デ三十メートル餘デアルガ、コノトコロ日々脚ノ運動ガ不自由サヲ加エ、今日ハ昨日ヨリ
モ一層歩キニクイ。入梅中ハ湿氣ガ多イノデソノセイモアルガ、去年ノ入梅中ハコンナデ
ハナカツタ。手ノヨウナ痛ミヤ冷感ハナイガ、何トモ不思議ニ重ミガカ、リ、モツレルヨ
ウニナル。ソノ重ミハ膝頭ニ来ルコトモアリ、足ノ甲ヤ足ノ裏ニ来ルコトモアリ、日ニヨ
ツテ違ウ。医師ノ意見モマチ／＼デアル。往年ノ輕微ナ腦溢血ノ痕跡ガマダ残ツテイ、腦
中枢ニ僅カナ変化ガアルノデ、ソレガ脚ニ影響シテイルノダトモ云イ、又レントゲンデ檢
ベテミルト頸椎ト腰椎トガ曲ツテイルカラデアルトモ云ウ。ソノ頸椎ヤ腰椎ヲ矯正スルニ
ハ寢台ヲ斜面ニシタ上ニ寢テ首ヲ上方ニ吊リ上ゲタリ、腰ニギプスデコルセツトヲ作り、
当分ソレヲ箠メル必要ガアルトモ云ウ。予ハトテモソナ窮屈ナ姿勢ニハ耐エラレナイノ
デ、コノマ、デ我慢シテイル。シカシ歩キニク、テモ、毎日少シズツデモ歩カナケレバイ
ケナイ。歩カズニイルト、今ニ本當ニ歩ケナクナリマス怖カサレテイル。時々ヨロケテ

倒レソウニナルノデ、寒竹ノステツキヲ衝イテルガ、大概颯子カ看護婦カ誰カゞツイテ来ル。今朝ハ颯子デアル。

「颯子、コレ」

四阿^{あずまや}デ休ンダ時、予ハ袂カラ小サクタ、ンダ札束ヲ取り出シテ手ニ握ラセル。

「何デスノ、コレ？」

「二萬五千圓アル、昨日ノハンドバッグヲ買ツタライ、」

「ドウモ済ミマセン」

颯子ハ急イデブラウスノ内側ヘ札束ヲ放リ込ム。

「ダケドアレヲ提ゲテ歩イタラ、僕ガ買ツテヤツタンダト、婆サンガ感ツキヤシナイカナ」

「才婆チャンハアノ時見テイラツシヤラナカッタワ、ドンく歩イテ先ノ方へ行ツテラツシヤイマシタワ」

ヤツパリソウダツタナト予モ思ウ。

.....

十九日。日曜デアルニモ拘ラズ、浄吉ガ午後羽田カラ立ツ。颯子モスグ後カラヒルマンデ出カケル。颯子ノ運転デハ危ナガツテ家ノ者ハメツタニ乗ラナイ。自然彼女ノ専用ニナツテイル。彼女ハ夫ヲ見送りニ行クノデハナイ。スカラ座ヘアラン・ドロンノ「太陽ガイッパイ」ヲ見ニ行クノデアル。今日モ多分春久ト一緒ラシイ。経助ガヒトリ家デシヨンボリシテイル。今日辻堂カラ陸子ガ子供達ヲ連レテ来ルノデ、ソレヲ心待チニシテイルラシイ。午後一時過ギ杉田氏来診。コレハ予ガアマリ痛ガルノデ、兎モ角モト佐々木看護婦ガ心配シテ電話シタノデアル。東大梶浦内科ノ診断デハ、今日デハ脳中枢ノ病巣ハ殆ドヨクナツテイル。ソレニ痛ミガアルト云ウノハ脳ノ方ノ病氣デハナイ。癩麻質性モシクハ神經痛ノ如キモノニ変化シテイル證據デアルト云ウ。杉田氏ノ意見デ、整形外科ノ方ヘ行ツテ見テ貰ツタラト云ウノデ、先日虎ノ門病院デレントゲンヲ撮ツタノデアルガ、頸椎ノ辺ニ曇リガアルシ、手ノ痛ミガソソナニ激シイノナラ、事ニ依ルト癌カモ知レナイト嚇カサレテ、頸椎ノ断層写真迄モ撮ラセタリシタ。幸イニシテ癌デハナカツタガ、頸骨ノ六番目ト七番目ガ變形シテイルト云ウ。腰椎モ變形シテイルガ、コノ方ハ頸程デナイト云ウ。手ガ痛ンダリ麻痺シタリスルノハソノセイデアルカラ、ソレヲ直スニハ滑リヤスイ板ヲ作ツテ下ニ滑車ヲ入レ、三十度クライノ傾斜面ニシ、最初ハ朝夕十五分間クライソノ上ニ寝、グリーン

ソ_ン氏式シユリンゲト称スルモノ（自分ノ首ノ寸法ニ合ワセテ特ニ医療器械屋ニ作ラセル一種ノ首吊り器）ニ首ヲ入レ、体ノ重ミデ頸ガ引ツ張り上ゲラレルヨウニスル。ソノ時間ト回数トヲダン／＼ニ殖ヤスヨウニシテ二三カ月モ続ケレバヨクナルダロウトノ事。コノ暑イノニ、予ハトテモソ_ンナコトヲスル氣ハナカツタガ、外ニコレト云ウ治療法モナイカラ、マアヤツテゴランナサイト杉田氏ハス、メル。スルカドウカ分ラナイガ、大工ヲ呼ンデ滑り台ト滑車ヲ作ラセ、医療器械屋ヲ招イテ首ノ寸法ヲ測ツテ貰ウコトニスル。

二時頃陸子ガ来ル。子供ヲ二人連レテイル。長男ハ野球カ何カニ出カケタソウデ来ナイ。秋子ト夏ニハ早速経助ノ部屋へ行ツテイル様子。三人デ動物園へ行ク計畫ラシイ。陸子ハ予ニチヨット挨拶シタキリ、茶ノ間デ婆サント何カ頻リニ話シ込ンデイル。イツモノコトデ珍シクモナイ。

今日ハ外ニ書クコトモナイカラ、コンナ時ニ少シ心ニアルコトヲ記シテミル。

老年ニナルト誰デモソウカモ知レナイガ、近頃予ハ一日トシテ自分ノ死ノコトヲ考エナイ日ハナイ。尤モ予ノ場合ハ近頃ドロコデハナイ。随分古ク、二十台グライカラダガ、近頃殊ニ甚シクナツタ。「今日己ハ死ヌンジャナイカナ」ト、日ニ二三度ハ考エル。ソレハ必ズシモ恐怖ヲ伴ワナイ。若イ時ハ非常ナ恐怖感ヲ伴ツタガ、今デハソレガ幾分楽シクサエ

アル。ソノ代り、自分ノ死ヌ時ヤ死後ノ光景ヲ微ニ入り細ニ互ツテ空想スル。告別式ハ青山齋場ナドへ持つて行カナイデ、コノ家ノ庭ニ面シタ十畳ノ間ニ棺ヲ安置スル。ソウスレバ会葬者ハ表門カラ中門ヲ通ツテ飛石伝イニ焼香ニ来ルノニ便利デアル。笙しょうひちりきノヨウナモノヲ鳴ラサレルノハ迷惑ダケレドモ、誰カ一人、富山清琴ノヨウナ人ニ「残月」ヲ弾イテ貰ウ。

磯辺ノ松ニ葉隠レテ、沖ノ方ヘト入ル月ノ、

光ヤ夢ノ世ヲ早ウ、覚メテ真如ノ明ラケキ、月ノ都ニ住ムヤラン。……………

ト、清琴ノ声デ唄ツテイルノガ聞エテ来ルヨウナ、モウ死ンデイル筈ダガ、死ンデモ聞エテ来ルヨウナ氣ガスル。婆サンノ泣ク声モ聞エル。五子いっモ陸子モ予トハ反リガ合ワナイデ喧嘩バカリシテイタガ、ヤハリ声ヲ挙ゲテ泣ク。颯子ハキツト平気ダロウナ。ソレトモ案外泣クカ知ラ。セメテ真似グライハシテミセルカ知ラ。死ニ顔ハドンナ顔ニナルダロウカ。ナルベク今ノ程度ニハ太ツテイテ貰イタイナ。少シ憎にくてい体ニ見エルクライニ。……………

「才爺チャン、……………」

コ、マデ書イタラ、不意ニ婆サンガ陸子ヲ連レテ這入ツテ来タ。

「陸子ガ何カ才爺チャンニ才願イガアルンデスツテ」

陸子ノ才願イト云ウノハコウデアル。長男ノ力ガ、マダ大学ノ二年生デ早過ギルノダケレドモ、恋人ガ出来テ結婚サセテクレト云ウノデ、許スコトニシタ、ガ、若イ二人ヲアパートナドニ別居サセテオクノハ不安デアルカラ、力ガ卒業シテ就職スルマデハ手許ニオイテ夫婦生活ヲサセヨウト思ウ。ソウナルト今ノ辻堂ノ家ハアマリニ狭イ。ソレデナクテモ陸子夫婦ニ子供ガ三人デ、狭過ギテ困ツテイタ。ソコへ嫁ガ来レバ、イズレ赤ン坊モ生レルツイテハコノ際今少シ廣クテ近代的様式ノ家ニ移リタイ。同ジ辻堂ノ中デ五六丁離レタ所ニ才詔エ向キノ家屋ガ一軒売り物ニ出タノデ、何トカシテソレヲ買イタイノダガ、ソレニハ金ガ二三百萬足りナイ。百萬グライハドウニカナルガ、ソレ以上ハ目下ノトコロ工合ガ悪イ。勿論ソレヲ才爺チャンニ出シテ下サイナンテ云ウンジャナイ。銀行デ借リルツモリデアルガ、差当リソノ利息ダケニ萬圓ホド助けテモラエマイカ。ソレモ来年中ニハ才返シシマスト云ウ。

「株ヲ持ツテル筈ジャナイカ、アレヲ売ル訳ニ行カナイノカ」

「アレヲ売ツタラ、ソレコソアタシタチ一文ナシニナツチャウワ」

「ソウヨホントニ、アレダケハ手ヲツケナイ方ガイ、ヨ」

ト、婆サンガ助ケ舟ヲ出ス。

「エ、何カノ時ノ用心ニアレハ取ツトク積リナノ」

「何云ツテルンダイ、才前ノ亭主ハマダ四十台ジャナイカ。今ノ若サデソナ意気地ノナイコトデドウスル」

「陸子ハ嫁ニ行ツテカラ今マデ一度モコンナ話ヲ持ツテ来タコトハアリマセン。今度始めテナンデス。聴イテオヤリニナツタライカゞ」

「二萬圓ト云ウケレドモ、三月経ツテ利息ガ拂エナカツタラドウスル」

「マアソノ時ハソノ時ノコトニシテ」

「ソレジャ際限ガナイカラ困ルナ」

「銚田サンダツテ必ズ御迷惑ハカケマセン、グズ／＼シテルト売レチマウカラ一時助けテイタゞキタイト云ツテルンデス」

「利息ノ金グライ、才婆チャンドウニカナラナイノカ」

「アタシニ出サセルナンテ、ヒドイワ。颯子ニハヒルマンヲ買ツテオヤリニナルノニ」

ソウ云ワレタノガグツト来テ、予ハハツキリト断ル決心ガツイタ。却ツテ気持ガサバ／＼シタ。

「マア考エテオクコトニシヨウ」

「今日御返事ガイタゞケナインデスカ」

「コノトコロイロくト出銭でせんガ多クツテネ」

ブツく云イナガラ二人ハ出テ行ツタ。

飛ンダトコロニ邪魔ガ這入ツテ腰ヲ折ラレタ。サツキノ話ヲモウ少シ続ケル。

五十台クライマデハ死ノ豫感ガ何ニモ増シテ恐シカツタガ、今デハソソナコトハナイ。モ
 ハヤ人生ニ疲レタ、トデモ云ウノダロウカ、イツ死ンデモイ、氣ガシテイル。先日虎ノ門
 病院デ断層写真ヲ撮ラレタ時、癌カモ知レナイト云ワレテ附添ノ婆サンヤ看護婦ハ色ヲ失
 ツタヨウデアルガ、予ハマツタク平氣ダツタ。コンナニモ平氣デイラレルノガ意外ダツタ。
 長イく人生モコレデイヨく終ルノカナト、イクラカホツトシタクライダツタ。ダカラ
 生ニ執着スル氣ハ少シモナイガ、デモ生キテイル限りハ、異性ニ惹カレズニハイラレナイ。
 コノ氣持ハ死ノ瞬間マデ続クト思ウ。九十二ナツテモ子ヲ産ンデミセルト云ウ久原房之助
 ノヨウナ精力ハナク、既ニ全ク無能力者デハアルガ、ダカラト云ツテイロくノ変形的間
 接的方法デ性ノ魅力ヲ感ジルコトガ出来ル。現在ノ予ハソウ云ウ性慾的樂シミト食慾ノ樂
 シミトデ生キテイルヨウナモノダ。ソウ云ウ予ノ心境ヲ、颯子ダケハオボロゲニ察知シテ
 イルラシイ。コノ家ノ中デ、ソレヲ知ツテイルノハ颯子ダケダ。他ノ者ハ一人モ知ラナイ。

颯子ハ少シズツ間接的方法デ試シテ見、ソノ反応ヲ見テイルラシイ。

予ガ我ナガラキタナラシイ皺クチャ爺デアルコトハ自分デモヨク知ツテイル。夜寝ル時ニ義齒ヲ外シテカラ鏡デ見ルト実ニ不思議ナ顔ヲシテイル。上顎ト下顎トニ自分ノ齒ハ一本モナイ。齒齶^{はぐき}モナイ。口ヲ結ブト上唇ト下唇ガペチャンコニ喰ツ着キ、ソノ上ニ鼻ガ垂レ下ツテ来テ顎ノ方マデ落チテ来ル。コレガ自分ノ顔ナノカト呆レザルヲ得ナイ。人間ハオロカ、猿ダツテコンナ醜惡ナ顔ハシテイナイ。コンナ顔デ女ニ好カレヨウナンテ馬鹿ナコトヲ思ウ訳ハナイ。ソノ代リ、全クソナ資格ノナイ老人デアルコトヲ自分ミズカラモ認メテイルニ違イナイト、ソウ思ツテ世間ガ安心シテイルトコロガ附ケ目デアル。附ケ目ニ乗ジテドウスルト云ウ資格モ実力モナイケレドモ、安心シテ美人ノ傍ニ寄ルコトハ出来ル。自分ニハ実力ガナイ代リニ、美女ヲ美男^{けしか}ニ噉^くケテ、家庭ニ紛^{ふんぬん}紘^{ぬん}ヲ起サセテ、ソレヲ樂シムコトハ出来ル。……………

二十日。……………浄吉ハ今デハ颯子ヲソナニ愛シテハイナイヨウニ見エル。経助ヲ生ンデカラ後次第ニ愛情ガ冷メタノカ知ラン。何シ口出張旅行ガ多イシ、東京ニイテモ宴会ガ多クテ夜ガオソイ。外ニ誰カ出来タノカモ知レナイガ、ソノ点ハ確カデナイ。今デハ女ヨリ

モ仕事ノ方方面白クツテ溜ラナイラシクモアル。昔ハ随分熱烈ナ仲ダツタ時代モアルノニ、飽キツポイノハ親譲リカモ知レナイ。

予ハ放任主義ダカラ敢テ干渉シナカツタガ、婆サンハ颯子トノ結婚ニハ反対ダツタ。N・D・Tノ踊リ子ダト云ツテタケレド、日劇ニイタノハホンノ半年グライデ、ソノ後何ヲシテイタノカ、浅草辺ニイタコトモアルラシイシ、ドコカノナイトクラブニモイタラシイ。

「君ハトウダンスハシナイノカネ」

ツテ聴イタラ、

「トウダンスハヤリマセン。バレリーナニナロウト思ツテ、バーレツスンヲ一二年受ケタコトガアルノデ、チョットグライ立ツコトハ立テタンデスガ、サア今デモ立テルカ知ラ」ツテ、ソナナ話ヲシタコトガアツタ。

「折角ソコマデ習ツタノニナゼ止メタンダネ」

「ダツテ、トテモ足ガ變形シチャツテ醜ク、ナルノヨ」

「ソレデ止メタノカネ」

「アタシ、足ガアンナニナルノハイヤダワ」

「ドンナニナルノサ」

「ドンナニナルツテ、ソリヤヒドイノヨ。足ノ趾ニ全部胼胝たこガ出来チャツテ、腫はレ上ツテ爪モ何モナクナツチマウノヨ」

「今デハ綺麗ナ足ジヤナイカ」

「ホントウハモツト綺麗ナ足ダツタノヨ。ソレガトウダンスノ胼胝ノ才蔭デスツカリ穢クナツチャツタンデ、トウヲ止メテカラ一生命モトノヨウニシヨウト思ツテ、毎日々々軽石やすりダノ鑢こすりダノイロンナモノデ擦こすツタノヨ。ソレデモ未ダ二前ノヨウニハナラナイワ」

「ドレドレ、チョツト才見セ」

ハカラズモ予ハ彼女ノ素足ニ触レ得ル機会ヲ掴ンダ。彼女ハソフアニ両足ヲ伸バシ、ナイロンノ靴下ヲ脱イデ見セタ。予ハソノ足ヲ自分ノ膝ノ上ニ載セ、五本ノ趾ヲ一本々々握ツテ見タ。

「触ツテ見ルト柔イゼ、胼胝ナンカアリヤシナイジヤナイカ」

「モツトヨク触ツテ見テヨ。ソコヲグウツト押シテ見テ」

「ア、コゝ？」

「ネ？ マダ直リキツチャイナイワ。バレリーナナシテ、足ノコトヲ考エルト見ラレタモンジヤナイワ」

「レペシンスカヤモソソナ足ヲシテルノカネ」

「勿論ヨ、アタシダツテ練習中ハ靴カラタラ〜血ヲ出シタコトガ何度モアツタワ。足バカリジヤナイ、コ、ノ脹ふくらはず脛はざダツテフツクラシタ肉ガナクナツチマツテ、労働者ノ脚ノヨウナグリ〜ガ出来ルワ。胸モペツタリシテオ乳ナンゾナクナツチマウシ、肩ノ筋肉モマルデ男ミタイニコチ〜ニナルワ。ステ〜ジダンサーダンサーデモ幾分カソウナルケレドモ、アタシハ幸イニシテナラナカッタワ」

浄吉ガ彼女ニ魅セラレタノハ彼女ノ姿態ニアルコトハ確カダガ、ロク〜学校モ出テイナイノニ、頭モ悪クハナイラシイ。負ケズ嫌イナノデ、家へ来テカラ勉強シテフランス語ヤ英語モ片かたごと言ことグライハシャベレルヨウニナツタ。自動車ヲ運転シタガツタリ拳闘ヲ愛シタリスル一面、ガラニモナク生花ガ好キデ、京都ノ一草亭ノ嬢嬢ガ週ニ二回、イロ〜珍シイ花ヲ持ツテ東京へ出テ来テ教エルノデ、ソノ人ニ就イテ去風流ヲ習ツテイル。今日ハ予ノ部屋ニ青磁ノ水盤ニ縞ス、キト三白草ト泡盛草ガ活ケテアル。ツイデナガラ幅ハ長尾雨山ノ書てアル。

柳絮飛來客未還

鶯花寂莫夢空殘

十千沾得京華酒

春雨闌干看牡丹

二十六日。昨夜冷奴^{ひゃ、つこ}ヲ食べ過ぎタノガ悪カッタト見エテ夜半ヨリ苦シミ出シ二三度下痢スル。エンテロビオフォルムヲ三錠服用シタガマダ止マラナイ。今日一日寝タリ起キタリシテ暮ラス。

二十九日。午後ヨリ颯子ヲ誘イ明治神宮方面ヘドライブスル。隙ヲ狙ツテ出タ積リダツタガ、ワタクシモオ供イタシマスト、看護婦ガ見ツケテ附イテ来タノデ一向面白クナイ。一時間足ラスデ忽々帰宅。……………

二日。数日前ヨリ又血壓ガ昇リ氣味デアル。今朝八一八〇——一一〇。ブルス百。看護婦ニス、メラレテセルパシール二錠アダリン三錠飲ム。手ノ冷エ込ミト痛ミモマタ激シイ。可ナリ激シクテモソノタメニ寝ラレナイト云ウコトハメツタニナイノニ、昨夜ハ夜中ニ眼ガ覺メ、耐エ難イノデ佐々木ヲ起シ、ノブロンヲ注射シテ貰ウ。ノブロンハ利クコトハ利

クケレドモ、アトノ氣持ガ不快デアル。

「コルセツトト滑リ台ガ出来テ參リマシタカラ、思イ切ツテヤツテ御覽ニナリマスカ」
氣ハス、マナイガ、コノ調子デハ試験的ニシテ見ヨウカト云ウ氣ニモナル。

三日。……試シニ頸ノコルセツトヲ箠メテミル。石膏デ出来テイテ、頸カラ頤ヲ突キ上
ゲルヨウニシテアル。箠メテモ痛イコトハナイガ、全ク首ヲ動カスコトガ出来ナイ。右ニ
モ左ニモ下方ニモ向ケル訳ニ行カナイ。ジツト正面ヲ視ツメタマ、デイナケレバナラナイ。
「マルデ地獄ノ責メ道具ダナ」

日曜ナノデ、浄吉モ経助モ婆サンヤ颯子ト一緒ニ集ツテ見物シテイル。

「マアオ爺チャン、可哀ソウニ」

「ソंना恰好ヲシテ何分グライ続ケルンデス」

「幾日グライヤレバイ、ノ」

「オ止メニナツタ方ガヨクハナイ？ オ年寄ニハ残酷ダワ」

ミンナガ周リデガヤ／＼云ツテルノガ聞エル。振り向ケナイカラ顔ハ見エナイ。

結局コルセツトハ止メルコトニシ、滑リ台ニ寝テ頸ノ牽引ダケヲスルコトニスル。所謂グ

リンソン氏式シユリンゲト云ウ奴デアル。最初ハ朝夕十五分ズツ。コレハコルセツトヨリ柔イ布デ頤ヲ吊ルダケデアルカラ、コルセツトホド窮屈デハナイガ、首ヲ動カセナイコトハ同ジデ、天井ヲ睨ンダマ、デアル。

「ハイ、十五分経チマシタ」

看護婦ガ腕時計ヲ見ナガラ云ウ。

「第一回ノ終リ」

経助ガソウ云ツテ廊下ヲ駆ケテ行ツタ。

十日。牽引ヲ始メテ今日デ一週間デアル。ソノ間二十五分ヲ二十分ニ伸バシ、滑リ台ノ傾斜ヲヤ、急ニシテ頤ヲ一層引ツ張り上ゲルヨウニスル。シカシ少シモ効驗ガ現ワレナイ。手ノ苦痛ハ相變ラズデアル。看護婦ノ意見デハ、ヤツパリ二三カ月グライハ続ケナイト駄目カモ知レマセントノコト。予ニハソナ辛抱ハオボツカナイ。夜、皆デ寄り々相談スル。老人ニハコノ療法ハ無理デアルカラ兎ニ角暑中ハ見合ワセテ、何カ他ノ方法ヲ考エタ方ガイ、或ル外人ニ聞イタンデスガアメリカンフアーマシイニ神経痛ノ藥デドルシント云ウノガアルソウデス、根治スルコトハ出来ナイガ、三四錠ズツ一日ニ三四回服用スレバ

必ズ痛ミダケハ取レル、奏効確實デアルト云イマスカラ買ツテ来マシタ、試シテ御覽ニナツタラト颯子ガ云ウ。婆サン曰ク、田園調布ノ鈴木サンニ鍼ヲシテ才貰イニナツタラドウ、鍼デ直ルカモ知レナイカラ頼ンデ見タラト。婆サン電話口デ長イ間シャベツテイル。鈴木氏曰ク、非常ニ忙シイノデ拙宅ヘオ越シ下サルコトヲ望ムガ、往診ノ場合ハ週二三回ニシテ戴キタイ、拝見シナケレバ分ラナイガ、才話ノ様子デハ多分治癒出来ルト思ウ、二三カ月ハカ、ルデシヨウト。鈴木氏ニハ数年前ニ心臓ノ期外収縮ガ長ク続イテドウシテモ止マラナイデ困ツタ時ト、眼眩めまいデ苦シンダ時ニ治癒シテ貰ツタ経験ガアル。依ツテ今回モ来週カラ来診ヲ乞ウコトニスル。

予ハ元来健康ナ体質デアツタ。少年時カラ六三四ニ達スルマデハ、肛門周圍炎ノ手術デ一週間程度入院シタ以外、病氣ラシイ病氣ハシタコトガナカッタ。六三四歳ノ時高血壓症ノ警告ヲ受ケ、六十七八歳ノ時輕微ナ腦溢血デ一カ月程寝タガ、肉体的苦痛ト云ウモノハ知ラナカッタ。ソレヲ知ツタノハ数エ年七十七歳デ喜寿ヲ祝ツテカラデアアル。最初ニ左ノ手カラ肘、次イデ肘カラ肩、次ニ足カラ脚、脚ノ方ハ左右両方デ、日増シニ連動ノ自由ヲ缺クニ至ツタ。コンナ風デ何樂シミニ生キテルノカト、人モ思ウダロウシ、自分デモ思ウコトガアルガ、幸イト云ツテイ、ノカドウカ、不思議ナコトニ食欲ト睡眠ト便通トハ至

ツテ満足ニ行ツテイル。アルコール類ト刺戟物ト塩カライ物トハ禁ジラレテイルガ、食慾ハ常人以上デアル。ビフテキデモ鰻デモ過度ニナラナイ程度ナラ差支エナイトノコトナノデ、何デモオイシク食ベテイル。睡眠モ常ニ寝過ギルホド寝、午睡ヲ合ワセレバ日ニ九時間カ十時間ハ寝ル。便通モ日ニ二回ハアル。従ツテ尿量ガ多ク、夜中ニ二回カ三回ハ起キルガ、ソノタメニ寝ソビレテ眼ガ冴エルナンテコトハ一度モナイ。半分夢ウツ、デ排尿シ、済マセレバ又直ググツスリ寝入ツテシマウ。手ノ痛ミデ眼ガ覺メルコトモタマニハアルガ大概半分ハ寝惚ケテイテ、痛イナト思イナガライツカ寝テシマウ。餘程痛イ時ハノブロンヲ射シテ貰ツテ又直グ寝ル。ソウ云ウコトガ出来ルノデ予ハ今日マデ生キテ来ラレタノデアル。サモナカツタラ疾ツクニ死ンデイタカモ知レナイ。

「手が痛イダノ歩ケナイダノト云イナガラ、結構生活ヲ享樂シテイラツシャルジャアリマセンカ。痛イナンテ嘘デシヨウ」

ト云ウ人モアルガ、嘘デハナイ。タゞ痛イノガ激シイ時トソウデナイ時トアリ、一定ノ状態デ持続セズ、全ク痛マナイ時モアル。天候ヤ湿氣ノ加減デイロくニナルラシイ。

オカシナコトダガ、痛イ時デモ性慾ハ感ジル。痛イ時ノ方ガ一層感ジル、ト云ツタ方ガイ、カモ知レナイ。或ハ又痛イ目ニ遇ワセテクレル異性ノ方ニヨリ一層魅力ヲ感ジ、惹キツ

ケラレル、ト云ツタ方ガイ、カ。

コレモ一種ノ嗜虐的傾向ト云エバ云エヨウ。若イ時カラソウ云ウ傾向ガアツタトハ思ワナイガ、老年ニ及ンデダン／＼トコンナ工合ニナツテ来タ。

コ、ニ同程度ニ美シイ、同程度ニ予ノ趣味ニ叶ツタ異性ガ二人イルトスル。Aハ親切デ正直デ思イ遣リガアリ、Bハ不親切デ嘘ツキデ人ヲ欺スコトガ上手ナ女デアルトスル。ソノ場合ドチラニ餘計惹カレルカト云エバ、近頃ノ予ハAヨリBニ惹カレルコトハ先ズ確カデアル。但シ美シサニ於テAヨリBガ少シデモ劣ツテイタノデハイケナイ。美シサト云ツテモ予ニハ予ノ好ミガアルカラ、顔ヤ体ノ種々ナ点ガソレラニ合致シテイナケレバ駄目ダ。

予ハ鼻ガ長クテ高スギル顔ハ嫌イダ。何ヨリモ足ガ白クテ、華奢デアルコトガ必要ダ。ソノ他サマ／＼ナ美点ガ相互ニ等シイ場合、悪イ性質ノ女ノ方ニ餘計魅セラレル。時ニ依ルト顔ニ一種ノ残虐性ガ現ワレテイル女ガアルガ、ソノナノハ何ヨリ好キダ。ソノ顔ノ女ヲ見ルト、顔ダケデナク、性質モ残虐デアルカノヨウニ思イ、又ソウデアルコトヲ希望スル。昔ノ沢村源之助ノ舞台顔ニハソノ感ジガアツタ。フランス映室ノ「悪魔ノヨウナ女」ノ中ノ女教師ニナツタシモン・シニヨレノ顔、近頃評判ノ炎加世子ノ顔等モソウダ。コレラノ婦人達ハ實際ニハ善良ナ婦人ナノカモ知レナイガ、モシ本當ニ悪人デアリ、ソレト

同棲——ハ出来ナイマデモ、セメテ身近ニ住ミ、接近スルコトガ出来タラドンナニ幸福デアロウカト思ウ。…………

十二日。…………悪イ性質ノ女デモ、ソノ悪サガ露骨ニ見エルノハイケナイ。悪ケレバ悪イホド怜悧デアルコトガ必須条件デアル。悪サニモ限度ガアリ、盜癖、殺人癖等ハ困リモノダケレドモ、ソレモ一概ニハ云エナイ。予ハコノ女ハ枕サガシダト分ツテモ、却テソノタメニ興味ヲ惹カレテ、枕サガシヲ承知ノ上デ關係ヲ結ブ、ソノ誘惑ニ抗シカネルヨウナ氣ガスル。

大学時代ノ予ノ同窓ニ山田湿ト云ウ法学士ガアツタ。大阪ノ市役所ニ勤メテ、疾ウニ故人ニナツタガ、コノ男ノ父ハ古イ弁護士カ代言人デ、明治初年ニ高橋才伝ノ弁護士ヲ勤メタコトガアツタ。ソシテ悴ノ湿ニシバく才伝ノ美シサニツイテ語ツタコトガアルソウダ。ナマメカシイト云ツタライ、ノカ、色ツポイト云ツタライ、ノカ、己ハ今マデニアンナ妖艶ナ女ヲ見タコトガナイ、妖婦ト云ウノハ正シクアンナ女ノコトヲ云ウンダロウナ、アンナ女ニナラ殺サレタツテイ、ト思ツタト、湿ノ父親ハイツモ悴ヲ掴マエテヨクく感ニ耐エタヨウニ云イ暮ラシタソウダ。予ハコレ以上生キナガラエテイタトコロデ格別ノコトモナ

イノダカラ、モシ今ノ世ニオ伝ノヨウナ女ガ現ワレタラ、ムシロソノ女ノ手ニカ、ツテ殺サレタ方ガ幸福カモ知レナイ。少クトモコンナ生殺シノヨウナ手足ノ痛ミヲ忪エナガラ生キテイルヨリ、ヒト思イニ残酷ナ殺サレ方ヲシテ見タクモアル。

予ガ颯子ヲ愛スルノハ、彼女ニイクラカソソナ幻影ヲ感ズルセイデアロウカ。彼女ハチョツト意地ガ悪イ。チョツト皮肉デアアル。ソシテチョツト嘘ツキデアアル。姑ヤ義理ノ姉妹達トアマリ折り合イガ良クナイ。子供ニ対スル愛情ガ薄イ。結婚シタテハソレホドデモナカツタノダガ、コノ三四年目立ツテソソナ風ニナツタ。コレハ幾分予ガケシカケテ、左様ニシムケタ気味合イモアル。彼女ハ本来ソソナニ悪イ性質デハナイ。今デモ本心ハ善良ナノデアロウガ、イツノマニカ偽悪趣味ヲ覚エ、ソレヲ自慢ニスルヨウニナツタ。ソウシタ方ガコノ老人ノ氣ニ入ルコトヲ看テ取ツタカラデアロウ。予ハ何故カ実ノ娘達ヨリモ彼女ノ方ヲヨリ多ク可愛ガリ、彼女ガ彼女達ト仲良クスルノヲ好マナイ。彼女ガ彼女達ニ意地悪ヲスレバスルホド彼女ニ魅セラレル。コンナ心理状態ニナツタノハ最近デアアルガ、ソレガマス／＼極端ニナリツ、アル。病苦ヲ忪エルト云ウコトガ、正常ナ性ノ快樂ガ享受出来ナイト云ウコトガ、人間ノ根性ヲ斯クモヒネクレサセルノデアロウカ。ソウ云エバ、先日家庭内デコンナイザコザガアツタ。

経助ハ既ニ七歳ニナリ小学一年生ニナルノニ、ソノ後アトガ生レナイ。コレハ颯子が自然ナ方法デ生マナイヨウニシテルノデハナイカ、ドウモソウラシイト云ウ疑イヲ、婆サンハ抱イテイルノデアル。予モ恐ラクソウデハナイカト、心中デハ思ツテイルノダガ、ソナコトハナイダロウト、婆サンノ前デハ否定シテイタ。婆サンハ溜リカネテソノコトヲ浄吉ニ訴エルコト再三及ンダラシイガ、

「ソナコトハアリマセンヨ」

ト、浄吉ハ笑イニマギラシテ相手ニシナイ。

「キットソウニ違イナイヨ、アタシニハチャント分ツテイマス」

「アハハハハ、ソナナラ颯子ニ聴イテ御覧ナサイ」

「笑ウ人ガアリマスカ。コレハ真面目ナ話デスヨ。オ前サンガ颯子ニ甘スギルノガイケナインダヨ、スツカリ舐メラレテルンダカラ」

トウ／＼浄吉ニ呼ビツケラレテ颯子が婆サンニ弁明スル段ニナツタ。トキ／＼颯子ノ甲高イ声ガ洩レタ。一時間ホド揉メテイタガ、シマイニ才爺チャン、チョットイラシツテ下サイト、婆サンガ予ヲ呼ビニ来タ。シカシ予ハ行カズニシマツタノデ、委シイ様子ハ知ラナイガ、アトデ聞クト、餘リ嫌味ヲ云ワレタノデ却テ颯子が反撃シタ。

「ワタクシハソソナニ子供ガ好キジャゴザイマセンノ」

トカ、

「死ノ灰ガ降ルツテ云ウノニ沢山生ンダツテ仕様ガナイジャアリマセンカ」

トカ云ツタリシタ。婆サンモナカ〜負ケテハイズ、才前サンハ御亭主ノコトヲワタシノ蔭デハ「浄吉々々」ト呼ビ捨テニシテルジャナイカ、浄吉モ才前サンノコトヲワタシノ前デハ「才前」ト云ツテイルケレド、外ノ人ノ前デハ「君」ト云ツテイルジャナイカ、アレモ才前サンガ亭主ニソウ云ワセテイルンダロウト、飛ンダトコロヘ議論ガ脱線シテ果テシガツカナイ。モウソウナルト婆サンモ颯子モイキリ立ツテ、浄吉デハ手ガツケラレナイ。

「ソソナニワタクシドモガ嫌イナラ、イツソ別居サセテ戴キマシヨウヨ。ネエアナタ、ソウシヨウジヤナイノ」

ソウ云ワレルト婆サンハ二ノ句ガ継ゲナイ。トテモソソナコトヲ予ガ許ス筈ガナイコトヲ、婆サンモ颯子モ知ツテイルカラデアル。

「才爺チャンノ才世話ハ、才婆チャント佐々木サンニ才願イスレバイ、ジャナイノ。ネエアナタ、ソウシマシヨウヨ」

婆サンガスツカリ凹ンダノヲ見テ、颯子ガイヨ〜

 二乗ツテ云ツタ。ソレデ結着ガツイ

テシマツタ。見テイタラサゾ面白カツタロウト、予ハアトデ残念ニ思ツタ。

「モウ入梅モ明ケルンデシヨウネ」

ト、今日モ婆サンガ這入ツテ来タ。先日ノ諍いさかいガマダ頭ニ残ツテイテ、少シイツモヨリ萎しよゲ
テイル。

「今年ハソノ割ニ雨ガ降ラナカツタジャナイカ」

「モウ今日ハ草市デスヨ。ソレデ思イ出シタンデスガ、オ墓ノコトハドウナサルノ」

「ソウ急グコトハナイサ。己ハコノ間モ云ツタ通り、自分ノ墓ハ東京ノ墓地デハ嫌ダ。己ハ江戸ツ子ダガ、近頃ノ東京ハ好キジャナインダ。東京ニ墓ナンカ作ツタラ、ドンナ時ニドンナ都合デドンナ所へ移転サセラレルカ分ツタモンジャナイ。多磨墓地ナンテ東京ノ感ジガシナイ。アンナ所ニ埋メラレタクナインダ」

「ソレハ分ツテマスケレド、京都ニナサルニシタツテ、来月ノ大文字マデニハ決メルツテオツシャツテタデシヨウ」

「マダーカ月アルンダカライ、サ。浄吉ニデモ行ツテ貰ウサ」

「御自分デ御覧ニナラナクツテモイ、ンデスカ」

「コノ暑イノニコノ体デハ行ケソウモナイ。オ彼岸マデ延バスコトニシヨウカ」

予等夫婦ハ二三年前ニ戒名ヲ附ケテ貰ツタ。予ノ戒名ハ琢明院遊觀日聰居士、婆サンノ戒名ハ静院妙光日舜大姉デアルガ、予ハ日蓮宗ガ嫌イナノデ、浄土カ天台ニ変エタイト思ツテイル。日蓮宗ガ嫌イデアル主ナ理由ハ、佛壇ニ、頭ニ綿帽子ヲ載セラレタ泥人形ノヨウナ日蓮上人ノ像ガ飾ツテアツテ、ソレヲ拝マセラレルカラダ。出来レバ京都ノ法然院カ真如堂アタリヘ埋メテ貰イタイ。

「只今」

ト云ツテ、ソコヘ颯子が這入ツテ来タ。午後五時頃デアル。バツタリ婆サント出会ツタノデ、コレモ特別ニ馬鹿丁寧ナオ辞儀ヲシテイル。婆サンハ直グ姿ヲ消シタ。

「今日ハ朝カライナカツタネ、ドコヘ行ツテタンダ」

「方々買イ物ヲシテ廻ツテ、春久サントホテルノグリルデ食事ヲシテ、エトランゼデ服ノ仮縫イヲシテ、ソレカラ又春久サント落子合ツテ有楽座デ『黒イオルフェ』ヲ見タリシテ

………」

「右ノ腕ガエラク日焦^{ひやけ}シテイルネ」

「コレハ昨日逗子ヘドライブシタモンデスカラ」

「ヤハリ春久ト一緒カネ」

「エ、ソウ、春久サンハ駄目ナンデ、往復トモアタシガ運転サセラレチャッタノ」

「一カ所ダケ焦ケテルト白イノガ特ニ目立ツネ」

「右側ニハンドルガ附イテルカラ、一日乗り廻ストコウナルノヨ」

「少し上^{のほ}気セタヨウナ顔ヲシテルネ、興奮シテル見タイダナ」

「ソウカシラ。マサカ興奮モシナイケド、ブレノ・メロハチョット良カッタワ」

「何ダネ、ソレハ」

「『黒イオルフエ』ノ黒人ノ主役ヨ。ギリシャ神話ノオルフエノ伝説ヲモトニシテ、リオ・デ・ジャネイロノカーニヴァルノ時ノ黒人ヲ主役ニシテ作ツタ映畫ナノ。ミンナ黒人ノ俳優バカリ使ツテアルノ」

「ソレガソンナニイ、ノカネ」

「ブレノ・メロツテノハサツカーノ選手上リデ、素人ナンデスツテ。映畫デハ都電ノ運転手ニナツテルノ。運転シナガラトキ、往來ノ女ノ子ヲ見テウインクスルノ。ソノウインクガ凄クイカスノヨ」

「己ガ見タツテ面白クモナサソウダナ」

「アタシノタメニ見テ下サラナイ？」

「才前ガモ一度連レテツテクレルカ」

「アタシガ才供スレバ見テ下サル？」

「ウン」

「エ、何度デモ。——ト申シマスノハネ、アノ顔ヲ見テルト、昔アタシガ鼻根ニシテイ
タレオ・エスピノザヲ思イ出スンデスノ」

「又変ナ名前ガ出テ来タジヤナイカ」

「エスピノザツテノハフライ級世界選手権ノタイトル・マツチニモ出タコトノアル、フィ
リッピンノボクサーナノ。ヤツパリ黒人デ、ブレノ・メロホド美男ジヤナイケレド、ドコ
カ感ジガ似テルノヨ。ウインクスル時ノ感ジガ殊ニ似テルワ。今モエスピノザハイルケレ
ド、モウ昔ホド良クハナイノ。昔ハホントニヨカッタワ。アタシアレヲ思イ出シチャツタ
ワ」

「ボクシングハタツターペンシカ見タコトガナイナ」

コ、へ婆サント看護婦トガ滑リ台ノ時間ガ来タコトヲ知ラセニ来タノデ、颯子ハ一層面当
ガマシク誇張的ニ話シ出シタ。

「エスピノザハセブ島ノ黒人デ左ストレートガ得意ナノ。左ノ腕ガ真ツ直グニ伸ビテ、敵

ヲ打ツト直グ又ソノ腕ヲ引ツ込メル。ソノシユツ、シユツト、伸ビタ腕ヲ引ツ込メル早サト云ツタラナイノ。シユツ、シユツ、ト、トテモ美シイノヨ。攻撃ノ際ニピュー、ピューツト口ヲ鳴ラス癖ガアツテ。相手ノストレートガ這入ルト、普通ハ上体ヲ右カ左ヘウイーピングスルンダケレド、エスピノザハ上体ヲグツト後口ニ反ラセルノ。体ガ妙ニ柔軟ナ感じガスルノヨ」

「ハ、ア、才前ガ春久ヲ鼻屑ニスルノハ、色ノ黒イトコロガ黒人ニ似テルカラダナ」

「春久サンハ胸毛ガ一杯生エテルケレド、黒人ハ毛ガ少イワ。ソレデ全身ニ汗ヲ搔クト、肌ガツル／＼ニ光ツテ非常ニ魅力的ニナルノヨ。アタシ、才爺チャンヲ是非一ペンボクシングニ引ツ張ツテ行クワ」

「ボクサーニハ美男ハ少イダロウナ」

「鼻ガ潰レテル人ガ多イワ」

「レスリングトドッチガイ、カナ」

「レスリングハ多分ニシヨウ的デ、ムヤミニ血ダラケニナツタリスルケレド、真剣味が乏シイワ」

「ボクシングダツテ血ガ出ルンダロウ」

「エ、ソリヤ出ルワヨ。口ヲ打タレテ血ダラケニナツテマウスピースガ三ツニ割レテ飛ンダリスルワ。ダケドレスリングノヨウニワザトジャナイカラ、アンナニ沢山ハ出ナイワ。大概ヘツテイニングト云ツテ、頭ガ相手ノ顔ノドコカニ打ツカッテ出ル場合ガ多イワ。ソレカラ睨ガ切レル場合」

「若奥様ハソソナノヲ見ニイラツシャルンデスカ」

ト、佐々木ガ口ヲ挟ンダ。婆サンハサツキカラ呆レテ突ツ立ツタキリデアル。今ニモ逃ゲ出シソウニシテイル。

「アタシバカリジャナイ、女ガ沢山見ニ来テルワ」

「ワタクシダツタラ氣絶シチマイマスワ」

「血ヲ見ルト多少興奮スルワネ。ソレガ又愉快ナノヨ」

予ハコノ話ノ途中カラ左手ガヒドク痛ムヨウニ感じ始メタ。而モ痛ムノニ溜ラナイ快感ヲ覚エ出シタ。颯子ノ意地ノ悪ソウナ顔ヲ見ルト、イヨ／＼痛ミガ増シ、イヨ／＼快感ガ増シタ。……………

十七日。昨夜盂蘭盆うららノ送り火ヲ済マスト間モナク颯子ハ出カケテ行ツタ。夜ノ遅イ急行デ京都ヘ行き、祇園会ヲ見物スルノダト云ウ。コノ暑イノニ御苦勞ナコトダガ、春久ガ御祭ヲ撮影スルノダト云ツテ昨日カラ行ツテイルノデアル。テレビノ一行ハ京都ホテル、颯子ハ南禅寺ニ泊リ、二十日ノ水曜ニ歸ルト云ツテイル。五子いつトウマク行ク筈ガナイカラ、ドウセホンノ泊メテ貰ウダケダロウ。…………

「軽井沢ヘハイツイラツシャルノ。子供達ガ来ルトウルサクナリマスカラ、早イ方ガヨゴザンスヨ」

ト、婆サンガ云ウ。

「二十日ガ土用ノ入りデスツテ」

「ドウシヨウカナ、今年ハ。——去年ミタイニ長クイルノハ退屈ダナ。二十五日ニ実ハ颯子ト約束ガアルンダ。後樂園ジムニ全日本フライ級タイトルマツチガアルンダ」

「年寄ノ冷水ネ、ソナ所ヘ出カケテ行ツテ怪我デモナサラナケレバイ、ガ」

二十三日。……………日記ヲ書クト云ウコトハ、書クコト自身ニ興味ガアルカラ書クノデアル。

誰ニ読マセルタメデモナイ。視力ガ恐シク衰エタノデ、読書モ思ウニマカセズ、他ニ消閑ノ法モナイカラ、ヒマツブシニイクラデモ書ク氣ニナル。読ミ易イヨウニ毛筆デ大キナ文字デ書ク。人ニ読マレテハ困ルカラ手提金庫ニ入レテアル。金庫ガモウ五箇ホドタマツタ。イズレハ焼イテシマツタ方ガイ、ト思ウガ、遺シテ置クノモ悪クハナイ。時々前ノ日記ヲ取り出シテ見ルト、ヒドク忘レツポクナツテイルノニ驚ク。一年前ノ出来事ガマルデ新シイ事実ノヨウニ感ゼラレ、興味津々盡キルトコロヲ知ラナイ。

去年ノ夏輕井沢へ行ツテイタ留守ニ寢室ト浴室ト便所トヲ作り直サセタコトガアツタ。イクラ忘レツポイト云ツテモ、コノコトハヨク覺エテイル。シカシ去年ノ日記帳ヲ繰ツテ見ルト、コノ出来事ノ記載ガ詳細ヲ缺イテイル。今日ハコノコトヲ少シ委シク書キ留メル必要ガ起ツタノデ、モウ一度コゝニ記ス。

去年ノ夏マデハ、予等夫婦ハ同ジ日本間ノ部屋ニ枕ヲナラベテ寢テイタガ、去年日本間ヲ板敷ニシテベツトヲ二台据エタ。ソシテ一台ハ予ノベツト、他ノ一台ニハ佐々木看護婦ガ寢ルコトニナツタ。婆サンハソレ以前カラモ時々自分ダケ茶ノ間デ寢テイタガ、ベツトニシテカラハ完全ニ別レ、二寢ルヨウニナツタ。予ハ早寢早起キデ、婆サンハ寢坊デ宵ツ張りデアル。予ハ洋式便所ヲ可トスルノニ、婆サンハ日本式デナケレバ困ルト云ウ。ソノ

他イロく醫師ヤ看護婦ノ便宜ナドモ慮ツタ結果デアル。ソレデ寢室ノ右側ニ接シテイタ老夫婦専用ノ便所ヲ、予専用ノモノトシテ椅子式ニ改良シ、寢室ト便所トノ境界ノ壁ヲ剝くリ抜イテ、廊下へ出ナイデモ行ケルヨウニ、行ケくニシタ。寢室ノ左隣ハ浴室デアル。コレモ去年大改造ヲ施シ、水槽カラ何カラ何マデタイル張りニシ、シャワーノ設備ヲシタ。コレハ専ラ颯子ノ註文ニ依ツタノデアル。ソシテ浴室ト寢室ノ間モ行ケくニシタガ、コレハ必要ニ応ジテ浴室ノ内部カラ締マリガ出来ルヨウニシテアル。

ツイデニ記スト、便所ノ右隣ガ予ノ書齋（コノ間モ行ケくニシテアル）、ソノ右ガ看護婦ノ部屋。看護婦ガ予ノ隣ノベッドニ寝ルノハ夜間ダケデ、晝間ハ普通自分ノ部屋ニイル。婆サンハ夜モ晝モ廊下ヲ曲ツタ茶ノ間ノ方ニ引ツ込ンデイテ、殆ド一日テレビヤラジオヲ聞イテイル。用ガナケレバメツタニ出テ来ナイ。浄吉夫婦ト経助ノ寢室ヤ居間ハ二階デアル。別ニ泊リ客ノタメニ寢室附キノ部屋ガ一ト間アル。若夫婦ノ居間ハ可ナリ豪華ニ飾ツテアルラシイガ、階段ノ中途ガ螺旋ニナツテイルノデ、足モトノ悪イ予ハタマニシカ上ツタコトガナイ。

浴室ヲ改造スル時ニ、チョット悶着ガアツタ。婆サンハ、浴槽ハ木製ニ限ル、タイルデハ冷メ易ク、冬ハツメタクテイケナイト云ウ説デアツタガ、コレモ颯子ノサジエツシヨンニ

従ツテ（婆サンニハ颯子ノ意見ト云ウコトヲ内證ニシテ）マイルニシタ。ケレドモコレハ失敗ダツタ。——イヤ、結局ハ成功ダツタノカナ。——ト云ウノハ、マイルニシテ見タラ濡レテイル時ツル／＼滑リ易クツテ、老人ハ危クテ仕方ガナイ。婆サンモ一ペン流シ場デスツテンコロリト鮮カニ転ンダ。予モ浴槽デ足ヲ伸バシテイテ、急ニ起キ上ロウトシテ浴室ノ縁ふちニ手ヲカケタラ、手ガ滑ツテ起キラレナイ。予ハ左ノ手ガ利カナイノデ、コウ云ウ時ニ寔ニ不便ダ。流シ場ニハ木製ノ下司板げすいたヲ敷クコトニシタガ、浴槽ハイカントモスル訳ニハ行カナイ。

トコロデ昨夜コンナコトガアツタ。

佐々木看護婦ハ子持チナノデ、月ニ一ニ回子供ノ顔ヲ見ルタメニ子供ヲ預ケテアル親戚ノ家ニ泊リニ行く。夕刻カラ出カケテ一泊シテ、翌日午前中ニ戻ツテ来ル。佐々木ノイナイ夜ハドウスルカト云ウト、婆サンガ代リニ佐々木ノベッドニ寝ルコトニシテアル。予ハ十時ニハ寝ル習慣デ、寝ル直前ニ入浴シ、浴後直チニ寢室ニ入ル。但シ入浴ノ助手ハ、婆サンハ転ンデカラ以後勤メナイノデ、颯子カ女中ガ勤メルノデアルガ、佐々木ノヨウニ上手ニ親切ニハ助ケテクレナイ。颯子ハ支度ダケハ甲斐々々シイガ、離レタトコロカラ見テイルダケデ、ロクニ何モシテクレナイ。スポンジデ背中ヲザツト流スクライガ関ノ山デアル。

湯カラ上ルト、ウシロカラタオルデ拭キ、ベビーパウダーヲ振りカケ、扇風機ヲカケテクレルガ、決シテ前へハ廻ラナイ。ソレガタシナミナノカ、気味ガ悪イセイナノカ、ドツチダカ分ラナイ。ソシテ最後ニバスローブヲ着セテクレテ、予ヲ寢室へ押し込ンデカラ、自分ハ廊下へ出テ行ツテシマウ。アトハ才婆チヤンノ才役目デ、ワタクシノ係リデハゴザイマセント、云ワンバカリデアル。予ノ心中ハ、タマニハ寢室モ彼女ガ勤メテクレルコトヲ望ンデ已マナイノデアルガ、婆サンガ待チ構エテイルセイカ、颯子ハ殊更ソツケナクスル。婆サンダツテ、他人ノ寢台ノ上ニ寢カサレルコトヲ喜ンデハイナイ。シート掛ケ布団ヲスツカリ取り替エテ、気味悪ソウニ横ニナル。婆サンモ年ノ加減デ尿ガ近イノデアルガ、洋式便所デハ出ルモノガ出ナイト云ツテ、夜中二三回遠クノ日本便所へ通ウ。才蔭デ一ト晩ジユウ満足ニ寝ラレナイト云ツテコボス。イズレ近イウチニ、佐々木ノ留守ノ夜ハ颯子ガ勤メルヨウニナルト、予ハヒソカニ期待シテイル次第デアル。

今日ハ偶然ニソウナツタノデアルガ、午後ノ六時ニ今夜ハ才暇ヲ戴キマスト云ツテ、佐々木ガ子供ノ所へ行ツタ。スルト、夕食ヲ済マシタアトデ、婆サンガ急ニ気分ガ悪クナツテ茶ノ間デ臥テシマツタ。自然入浴ト共ニ寢室ノ役目ガ颯子ニ廻ツタ。入浴ノ助手ヲスル時、彼女ハブリユウデエツフェル塔ノ模様ノ附イタポロシヤツヲ着テ、膝ノトコロマデノトレ

アドルパンツヲ穿イテイルノガ、素晴ラシクスツキリト意氣ニ見エタ。心ナシカ、イツモヨリ念入りニ流シテクレルヨウナ氣ガシタ。首ノ周リダノ肩ダノ腕ダノ、トコロ／＼ニチヨイ／＼手ガ触ツタ。予ヲ寢室ニ送り込ンデシマウト、

「今スグ来マスカラ、チョット待ツテ、ネ。アタシモシャワーヲ浴ビマスカラ」

ト、自分ダケ浴室ヘ引ツ返シタ。予ハ三十分グライ一人デ寢室ニ待タサレテイタ。予ハ妙ニ落着カナイデ、寢台ニ腰掛ケテイタ。ト、ヤガテ彼女ハ行ケ／＼ノ戸口カラ現レタガ、今度ハ鮭色ピンクノサツカーノガウンヲ着テ、支那製ラシイ牡丹ノ刺繡ノアル繻子ノ室内履ヲ穿イテ来タ。

「オ待チ遠サマ」

彼女ガ這入ツテ来ルト同時ニ廊下ノドアーガ開イテ、女中ノオ静ガ二段ニ畳マレル籐椅子ヲカツギ込ンデ来タ。

「オ爺チャン、マダオ休ミニナラナインデスカ」

「今寝ルトコロダ。君ハソソナモノヲ担ギ込マセテドウスルンダ」

予ハ婆サンノイナイ所デハ、颯子ノコトヲ「オ前」ト呼ンダリ「君」ト呼ンダリスル。特ニ意識シテ「君」ト呼ブ場合ガ多イ。自分ノコトハ「己」ト云ツタリ「僕」ト云ツタリス

ルガ、二人キリノ時ハ自然「僕」ガ出ル。颯子ノ方モ二人キリダト変ニ言葉ガゾンザイニナル。ソレガ却テ予ヲ喜バス所以デアルコトヲ心得テイル。

「才爺チャンハ早寝ダケレド、アタシハ当分寝ラレナイカラ、コレニ腰掛ケテ本デモ読ムワ」

彼女ハ籐椅子ヲ二段ニ伸バシテ長椅子ニシ、ソレニ臥コロンデ持ツテ来タ本ヲ廣ゲタ。何かフランス語ノ教科書ラシイ。電燈ノスタンδροヲ、予ニ光線ガ当ラヌヨウニ覆イヲ懸ケテイル。彼女モ佐々木ノベッドヲ嫌ツテ、長椅子デ寝ル積リナノデアロウ。

彼女ガ横ニナツタノデ、予モ横ニナツタ。予ノ寢室ニハ極メテ微カニ、手ニ痛ミヲ与エナイ程度ニ冷房ガ施シテアル。コノ数日来アマリ蒸シ暑ク、湿氣ガ多イノデ、空氣ヲ乾燥サセルタメニモ冷房シタ方ガイ、ト、医師ヤ看護婦ガ云ウノデアル。予ハ寝タフリヲシナガラ、颯子ノガウンノ端カラ覗イテイル支那履ノ小サク尖ツタ尖端ヲ見テイタ。コンナニ繊細ニ尖ツタ足ハ日本人ニハ珍シイ。

「才爺チャン、マダ起キテラツシャルノネ、軒ガ間エテ来ナイワ。オ休ミニナルト直グ間エテ来ルツテ、佐々木サンガ云ツテタケド」

「今日ハドウシタノカ寝ツキガ悪イ」

「アタシガ傍ニイルカラジヤナイ？」

答エズニイルト、クスツト笑ツタ。

「興奮ナスツタラ毒ヨ」

ソシテ又云ツタ。

「興奮サセルトイケナイカラ、アダリンヲ飲マセタゲマシヨウカ」

颯子が予ニコウ云ウ種類ノコケトリヲ云ウノハ始メテデアル。予ハソノ言葉ノタメニ興奮ヲ感ジタ。

「マサカソレニハ及バンサ」

「イ、ワヨ、飲マセタゲルワヨ」

彼女ガ薬ヲ取りニ出テ行ツタ間ニ、予ハ又一ツノ楽シミヲ考エツイタ。

「サア、飲マセチャウ、二錠グライデイ、カ知ラ」

左ノ手ニ小皿ヲ持チ、右手デアダリンノ容器カラ二錠ヲ皿ノ上ニ落スト、次ニ浴室カラコップニ水ヲ運ンデ来タ。

「サア、口ヲアーント開ケテ。アタシガ飲マセタゲルンダカライ、ジヤナイノ」

「皿ナンカニ載セナイデ、君ノ手デ摘マンデ入レテクレナイカナ」

「ジャ、チョット手ヲ洗ツテ来ルワネ」

又浴室へ這入ツテ出テ来タ。

「水ガ零こぼレルヨ、ツイデノコトニ口移シニシテクレナイカナ」

「駄目々々、図ニ乗ツチャ駄目」

パット予ノ口ノ中へ二錠、素早く放り込ンデ器用ニ水ヲ注ギ入レタ。予ハ藥ガ利イタト見セカケテ寝タフリヲスル積リダツタガ、ツイ本当ニ寝テシマツタ。

二十四日。夜中二時頃ト四時頃ニ便所へ行ツタ。颯子ハ果シテ籐椅子ニ寝テイタ。フラン
ス語ノ本ヲ床ニ落シテ、スタンドヲ消シテアツタ。予モアダリンノ利キ目デ、二度便所へ
行ツタコトヲ辛ウジテ記憶シテイル。朝ハ常ノ如ク六時ニ眼覚メタ。

「モウ才眼覚メ？」

朝寝坊ノ彼女ハ当然マダ寝テイルコト、思ツタラ、予ガ身動キヲシタ途端ニ上半身ヲ跳ネ
起シタ。

「何ダ、モウ起キテタノカ」

「アタシコソ昨夜ハ寝ラレナカッタワ」

予ガ窓ノブラインドヲ上ゲルト、寢起キノ顔ヲ見ラレタクナイラシク、慌テ、浴室へ逃ゲテ行ツタ。……………

午後二時頃、予ガ書齋カラ寢室ニ戻ツテ約一時間午睡ヲシ、マダボンヤリトベッドノ中デ眼ヲ開ケテイル時、突然浴室ノ戸ガ半分ホド開イテ颯子ノ首ガ此方へ出タ。首ダケデ他ノ部分ハ見エナイ。ビニールノ帽子ヲ被ツタ顔ガ頭カラビシヨクニ濡レテイル。シャワーノ音ガシャー／＼聞エル。

「今朝ホドハ失礼。今浴ビテルトコロナノ、チヨウド才晝寝ノ時分ダト思ツテ覗イテ見タノ」

「今日ハ日曜ダツタツケナ、浄吉ハイナイノカ」

ソレニハ答エナイテ別ナコトヲ云ツタ。

「アタシシャワーノ時ダツテ、コヽヲ締メタコトハ一度モナイノヨ。イツモコヽハ開ケラレルノヨ」

予ノ入浴ハ午後九時過ギニ決マツテイルカラ、ト云ウ意味ナノカ、予ヲ信用シテイルカラト云ウノカ、見タケレバ見セタゲルカラ這入ツテラツシャイト云ウノカ、老イボレ爺サンノ存在ナンカ全然問題ニシテナイト云ウノカ、何ノタメニワザ／＼ソソナコトヲ断ルノカ

分ラナイ。

「浄吉ハ今日ハイルノヨ、今夜庭デバーベキューヲスルト云ツテ騒イデルノ」

「誰カ来ルノカ」

「春久サント甘利サント、辻堂カラモ誰カ来ルラシイワ」

陸子ハアレ以来当分来ル筈ガナイ。来ルトスレバ子供達ダケダロウ。

.....

二十五日。昨夜ハ大失敗ヲシタ。庭デバーベキューガ始マツタノハ夕刻六時半頃ダツタガ、賑カデ景氣ガヨサソウナノデ、予モツイ若イ者タチノ中ヘ参加スル氣ニナツタ。今時分カラ芝生ノ上ニ坐ツタリシテ、冷エルトイケナイカラオ止シナサイト、婆サンハ頻ニ止メタガ、

「才爺チャン、チョットイラツシヤイヨ」

ト、颯子ガス、メタ。予ハ彼等ノ貪ル羊ノ肉ダノチキンノ手翹てばナドニハ一向食慾ヲ感じナイノデ、ソナモノヲ喰ウ積リハナカツタ。実ハソレヨリモ、春久ト颯子トガドンナ工合

二接触スルカ、ソノ様子が見タカツタノデアルガ、団欒^{まどい}ノ中ニ加ワツテカラ三四十分モシタ時分、次第ニ脚カラ腰ノ周リガ冷エテ来ルノニ心ヅイタ。婆サンカラアンナ注意ヲ受ケタタメニ、却テ神経質ニナツテ、氣ニシテイタセイデモアル。婆サンニ聞イタト見エテ、ヤガテ佐々木マデ心配ソウニ庭へ出テ来テ警告シタ。ソウナルト予ハイツモノ癖^{いこじ}デ依怙^{いこじ}地ニナリ、直グニハ立チ上ロウトシナイ。シカシマス／＼冷エテ来ルノガ感^{かん}ジラレタ。婆サンハコンナ時ハ心得^{こころえ}テイルノデ、決シテ執拗^{しつこ}クハ注^{しゆ}告^こシナイ。佐々木ガヒドク心配スルノデ、又三十分ホド粘^{ねば}ツテカラ漸ク立チ上ツテ部屋ニ歸ツタ。

ダガソレダケデハ済マナカツタ。今曉ニ時頃、予ハ尿道ガ非常ニムズ痒イノデ眼ヲ覺マシタ。急イデ便所ニ走り、排尿シテ見ルト、尿ガ牛乳ノヨウニ白濁シテイル。ベツドニ戻ツテ十五分モ経ツト又尿ヲ覺エル。ムズ痒サモ止マラナイ。コンナコトヲ繰リ返スコト四五回ニ及ンダガ、佐々木ガシノミンヲ四錠ス、メ、尿道ヲ湯タンポデ温メテクレタノデ、ヤツト鎮マリカケル。

数年前カラ予ニハ前立腺（青年時代花柳病ヲ患ツタ頃ニハ摺護腺ト呼ンダモノダガ）肥大症ガアリ、トキ／＼残尿ガ溜ツタリ、尿ガ出ナクナツテカテーテル^{カテーテル}デ導尿シタリシタコトガ二三回アル。尿閉ハ老人ニハシバ／＼起ル現象ダソウダガ、平生デモ一回ノ排尿ニ時

間ガカ、リ、劇場ノ便所ナドデ人ガ大勢ウシロニ列ンデ待ツテイラレルト甚ダ困ル。前立腺肥大ノ手術ハ七十五六歳マデハ可能デアルカラ、思イ切ツテシテ才貰イナサイ、手術シタ後ノ快感ハ何トモ云エナイ、若イ時ノヨウニ尿ガシャ〜ト音ヲ立テ、走ツテ出マス、モウ一度青春時代ニ戻ツタ氣ガシマス、ソウ云ツテクレタ人モアツタガ、困難デ不愉快ナ手術ダカラオ止シナサイト云ウ人モアツタ。ドウシタモノカト迷ツテイルウチニ歳ヲ取り過ギテ、モウ現在デハ手術モ手後レニナツタラシイ。デモ幸イニ一時快方ニ向ツテイタノダガ、昨夜ノ失敗デ又ブリ返シタヨウデアルカラ、当分用心シタ方ガイ、シノミンハ餘リ連用スルト副作用ガアルカラ一回四錠ズツ日二三回、三日以上ハ続ケナイデ下サイ、毎朝怠ラズ尿ノ検査ヲシ、雑菌ガアツタラ、ウバウルシヲ才飲ミナサイト云ワレル。

才蔭デ、今日ノ後樂園ノタイトルマツチハ諦メルコトニスル。あきこ尿道ノ故障ハ今朝ハ一応良クナツタノデ、行ツテ行カレナイコトハナイノダガ、夜ノ外出ナド飛ンデモアリマセント云ツテ、佐々木ガ承知シナイ。

「才爺チャン、才氣ノ毒ネ、アタシハ行ツテ参リマス、アトデ話シタゲルワ」
ソウ云ツテ颯子ハサツサト出テ行ツテシマツタ。

已ムヲ得ズ安静ニシテ鈴木氏ノ鍼ダケシテ貰ウ。二時半カラ四時半マデハ可ナリ長クテ辛

イガ、間デ二十分ホド休憩ガアル。

学校ガ休ミニナツタノデ、経助ハ辻堂ノ子供達ト一緒ニ近々軽井沢ニ行ク豫定。婆サント陸子ガ同行スル。アタシハ来月参リマス、経助ヲヨロシクオ頼ミ申シマスト、颯子ハ云ツテイル。浄吉モ来月ニナツタラ十日間グライ休暇ヲ取ツテ行ク。辻堂ノ千六モ多分ソノ時分ニハ行ケル。春久ハテレビノ仕事ガトテモ忙シイ、美術デザイナ―ハ晝間ハ割ニ時間ノ餘裕ガアルンデスケレド、夜ハ每晚縛ラレテマシテネット云ツテイル。……

二十六日。最近ノ予ノ日課ハ左ノ如クデアル。午前六時前後起床。先ズ便所ニ行ク。排尿ニ際シ、最初ノ数滴ヲ消毒シタ試験管ニ取ル。次ニ硼砂ノ液デ眼ヲ洗ウ。次ニ重曹ノ液デ口腔内ト咽喉部ヲ丁寧ニ含嗽スル。次ニ葉綠素入りコールゲートしぎんデ歯齦しぎんヲ洗ウ。入歯ヲ箒メル。約三十分庭ヲ散歩スル。滑り台ニ臥テ牽引スル。コレモ三十分ニ延ビテイル。次ニ朝食。朝食ダケハ寢室デ取ル。牛乳一合、チーズトトースト一片、野菜ジュース一杯、果物一箇、紅茶一杯。同時ニアリナミン一錠。次ニ書齋デ新聞ヲ見、日記ヲ附ケ、時間ガ餘レバ讀書ナドスルガ、午前中ヲ日記ニ費スコトガ多く、時トスレバ午後ニモ夜間ニモ及ブ。午前十時佐々木ガ書齋ニ来、血壓ヲ測ル。三日ニ一度クライウイタミン五〇ミリヲ注射。

正午食堂デ晝餐、大概素麵一杯ト果物一箇ダケデアル。午後一時カラ二時マデ寢室デ午睡。月、水、金、ノ週二三回、二時半カラ四時半マデ鈴木氏ノ鍼ノ治療。午後五時カラ三十分又牽引スル。六時カラ庭ノ散歩。朝夕ノ散歩ハ佐々木同伴、時ニハ颯子ノコトモアル。六時半晚餐。飯ハ輕ク一杯、才數ハヴァライエテイニ富ンダ方ガイ、ト云ウノデ、毎日イロく取りカエテ品數ガ多イ。老人ト若イ者トハ好ミガ違ウノデ、料理ノ種類ハ家族バラくデアル。時間モバラくノコトガ多イ。食後書齋デラジオヲ聴ク。眼ヲ害スルノデ夜ハ読書セズ、テレビモ殆ド見ナイ。

一昨日ノ日曜日、二十四日ノ午過ぎニ、颯子ガ洩ラシタ言葉ガアツタノヲ予ハ忘レナイ。アノ日ノ午後二時頃、予ガ寢室デ午睡カラ覺メ、マダボンヤリトベッドノ中デ眼ヲ開ケテイタ時、突然浴室ノ戸カラ颯子ガ首ダケヲ此方ヘ出シテ云ツタ。

「アタシシヤワーノ時ダツテ、コノ戸締マリヲシタコトハナイノヨ。イツモコノハ開閉自在ヨ」

故意ニカ偶然ニカ、彼女ノ唇カラ出タコノ一語ハ妙ニ予ノ関心ヲ唆ツタ。ソノ日ハパーベキユー、昨日ハ病氣デ静養中デアツタガ、ソノ間モ予ノ頭ニハ絶エズコノ言葉ガ引ツカ、ツテイタ。今日ノ午後、二時ニ午睡カラ覺メテ一旦書齋ヘ這入ツタ予ハ、三時ニナルト再

ビ寢室へ戻ツテ来タ。颯子ハ近頃家ニイレバ大体イツモコノ時刻ニシャワーヲ浴ビルコトヲ予ハ知ツテイル。予ハ試ミニ浴室ノ戸ヲコツソリト押シテミタ。果シテ戸ニハ締マリガシテナイ。シャワーノ音ガ聞エテイル。

「何カ御用？」

戸ハホンノ僅カ、動クカ動カナイクライニ触レタゞケデアツタガ、早くモ彼女ハ氣ヅイタラシイ。予ハ狼狽シタ。シカシ次ノ瞬間ニ度胸ヲ据エタ。

「イツモ締マリガシテナイト云ツタカラ、ホントカドウカ試シテ見タノサ」

云イナガラ予モ浴室ノ方へ首ダケ出シタ。シャワーヲ浴ビツゝアル彼女ノ全身ハ白地ニ粗イグリーンノ縦縞ノバス・カーテンデ囲ワレテイル。

「嘘デナイコトガ分ツタ？」

「分ツタ」

「何シテルノヨ、ソナ所デ。オ這入ンナサイヨ」

「這入ツテモイゝ？」

「這入リタインデシヨウ」

「別ニ用モナインダケレドネ」

「ソレ／＼、興奮スルト滑ツテ転ブワヨ、落チ着イテ、落チ着イテ」

今ハ下司板ガ上ゲテアツテ、タイル張リノ床ガシャワーノ水デビシヨ／＼ニナツテイル。予ハ足元ニ用心シナガラ闖入シテ、戸ヲウシロデ締メタ。バス・カーテンノ裂ケ目カラ、彼女ハトキ／＼肩ダノ膝ダノ足ノ先ダノヲチラツカセタ。

「ソンナラ用ヲサセタゲルワ」

シャワーノ音ガ止マツタ。彼女ハ予ニ背中ヲ向ケテ上半身ノ一部ヲカーテンノ外ヘ露出シタ。

「ソコニアルタオルヲ取ツテ、背中ヲ拭イテ頂戴。頭カラポタ／＼落チルワヨ」

ビニールノ帽子ヲ脱グ時ニ二三滴予ニモ雫ガカゝツタ。

「ソンナニ恐々、拭カナイデ、モット手ニカヲ入レテシツカリト。ア、才爺チャン左ガ駄目ナノネ、右ノ手デ一生懸命キュー／＼ト擦ツテヨ」

咄嗟ニ予ハタオルノ上カラ両肩ヲ掴ンダ。ソシテ右側ノ肩ノ肉ノ盛り上リニ唇ヲ当テ、舌デ吸ツタ、ト、思ツタ途端ニ左ノ頬ニ

「ピシヤツ」

ト下平手打チヲ喰ツタ。

「才爺チャンノ癖ニ生意気ダワ」

「コノクライハ許シテクレルンダト思ツタンダ」

「ソナナコト絶対ニ許サナイワヨ、浄吉ニ云いっ附ケテヤルカラ」

「御免々々」

「出テツテ頂戴！」

ソウ云ツテカラ、浴ビセテ云ツタ。

「慌テナイデ、慌テナイデ。滑ルトイケナイカラユツクリト」

予ガ戸口マデ辿リ着イタ時、柔イ指ノ先ガ背中ヲ軽ク押シ出スノヲ感じタ。予ハ寢室ノベツトニ腰カケテ一ト休ミシタ。直グソノ後カラ彼女ガ現レタ。例ノサツカーノガウンニ着換エテ立ツテイル。牡丹ノ刺繡ノ履ガ覗イテイル。

「御免ナサイネ、アンナコトシチャツテ」

「イヤ、何デモナイヨ」

「痛カツタ？」

「痛カナカツタガ、チョットビツクリサセラレタヨ」

「アタシ、男ノ人ノ横ツ面ヲ直キニピシャットヤル癖ガアルノヨ、ダモンダカラ、ツイソ

レガ出チャツテ」

「ダロウト思ツタヨ、イロンナ男ニアノ手ヲ使ツテルンダロウ」

「デモオ爺チャンヲ殴ルナンテ勿体ナイワ」

二十八日。 ……………

昨日ハ鍼ノ時間デ駄目。今日ノ午後三時、予ハ又浴室ノ戸ニ耳ヲ当てタ。戸締マリガシテナイ。シャワーノ音ガシテイル。

「イラツシャイ、待ツテタワヨ。一昨日ハ失礼イタシマシタ」

「ソウ来ナケレバナラナイト思ツタ」

「歳ヲ取ルト強イ」

「一昨日張り飛バサレタカラ、何カ弁償シテ貰ツテモイ、ナ」

「冗談ジャナイワ、モウアンナコトハ決シテ致シマセント誓ツテ頂戴」

「頸ニ接吻スルクライ、オ許シガ出タツテヨサソウナモンダノニ」

「頸ハ弱イワ」

「何処ナライ、ノサ」

「何処ダツチ駄目。蛞蝓なめくじニ舐メラレタミタイデ、一日氣持ガ悪カツタワ」

「相手ガ春久ダツタラドウカナ」

グツト、声ヲ吞ンデカラ云ツタ。

「殴ルワヨ、ホントニ。コナイダハ手加減シタゲタノヨ」

「ソナ御遠慮ニハ及バンヨ」

「アタシノ掌てのひらハヨク撓しなウノヨ、ホントニ打ツタラ眼ガ飛ビ出ルホド痛クツテヨ」

「ソレハ寧口望ムトコロ」

「始末ニ悪イ不良老年、ジバイ・テリブル！」

「モウ一度聞クガ、頸ガ駄目ナラ何処ナライ、ノサ」

「膝カラ下ナラ一度ダケ許ス、一度ダケヨ。——舌デ触ラナイデ唇ダケ着ケルノヨ」

膝カラ上ハ顔マデスツカリ隠レテイテ、バス・カーテンノ裂ケ目カラ脛ト足ノ先ダケ出タ。

「医者ガ内診スルミタイダ」

「馬鹿ネ」

「舌ヲ使ワズニ接吻シロナンテ、随分無理ナ註文ダナ」

「接吻ジヤナイモノ、タゞ唇^{クサ}デ触ラセルダケダモノ。オ爺チャンニハソレガ相当ヨ」

「セメテコウシテル間、シヤワーヲ止メテ貰エナイカナ」

「止メル訳ニ行カナイ、触ラレタ傍カラ直グト綺麗ニ流シチャワナイト気味ガ悪い」

予ハタゞ水ヲ吞マサレタ氣ガシタゞケダツタ。

「ソウ云エバ春久サンデ思イ出シタ、オ願イガアルノヨ」

「何サ」

「春久サンガ此ノ頃暑クツテ困ルンデ、トキ／＼コヽノシヤワーヲ浴ビサセテ戴キタイ、来テモイヽカドウカ、伯父サンニ伺ツテクレツテ云ツテルノ」

「放送局ニ風呂場ガナイノカ」

「アルコトハアルンダケド、出演者ノ風呂場ト、出演者以外ノ者ノ風呂場ト別々ニナツテヽ、トテモキタナインデ這入ル氣ニナラナイ、仕方ガナイカラ銀座へ出カケテ東京温泉ニ這入ルンダケド、コヽデ入レテ貰エタラ局カラノ距離モ近イシ、大變助カル。伯父サンニ聴イテミテクレツテ」

「ソナナコト、君ガ勝手ニ計ラツタライヽ、一々僕ニ聴クマデモナイ」

「実ハコナイダ内證^デーペン入レタゲタノヨ、ダケドヤツパリ黙ツテ這入ツチャ悪イツテ云ウノヨ」

「僕ハイ、ヨ、断ルンナラオ婆チャンニ断ンナサイ」

「オ爺チャンカラ仰ツシヤツテヨ、オ婆チャンハアタシ恐イワ」

ソウハ云ツテルガ、颯子ハ内々婆サンヨリモ予ニ氣ガネガアルノデアル。春久ダカラワザく断ル必要ヲ感ジテイルノデアル。……………

二十九日。……………午後二時半鍼ノ治療ガ始マル。予ハ寢台ニ仰臥シ、盲人ノ鈴木氏ハソノ傍ノ椅子ニ腰カケテ治療ヲ施ス。靴カラ鍼ノ匣^{はこ}ヲ取り出シタリ、アルコール^デ消毒シタリスル細カイ作業ハ鈴木氏自身^デスルケレドモ、常ニ弟子ノ一人ガ附キ添ツテウシロニ控エテイル。今日マデノトコロデハ、手ノ冷感モ指先ノ感覺ノ麻痺感モ依然トシテヨクナラナイ。

二三十分シタ時分、突然春久ガ廊下ノドアーカラ這入ツテ来タ。

「伯父サン、チョットオ邪魔サセテ戴キマス。御療治ノ最中ニ失礼ダト存ジマシタケレド、

先日颯チャンカラ才願イシマシタラ御承知下サイマシタソウデ誠ニ有難ウゴザイマス。早速今日カラ戴キニ上リマシタンデ、チョットオ礼ヲ申シ上ゲタイト存ジマシテ」

「ナーニソソナコト、一々断ルニハ及バン。イツデモ来ルガイ、」

「有難ウ存ジマス、才言葉ニ甘エテコレカラチヨク、伺イマス、毎日ト云ウ訳ニモ参リマセンガ。——近頃ハ伯父サン、才見受ケシタトコロ大層才元氣デ」

「ナーニダン、老イ惚レガ激シクナツテネ、毎日颯子ニ叱ラレテバカリイルヨ」

「イヤ、イツマデモ才若イツテ、颯チャンガ感心シテマスガ」

「飛ンデモナイ、今日モコウヤツテ鍼ナンカシテ貰ツテ、辛ウジテ露命ヲツナイデルノサ」

「ソソナコトガアルモンデスカ。マダ、伯父サンハイクラデモ長生キナサイマスナ。——

「イヤ、コレハ才邪魔ヲイタシマシタ、コレカラ伯母サンニ御挨拶ヲシテ忽々退散イタシマス」

「暑イノニ大変ダネ、ユツクリ休ンデ行キナサイ」

「有難ウ存ジマス、ナカ、ソウシテモオラレマセンデ」

春久ガ出テ行ツテカラ暫クスルト、才静ガ二人分ノ茶ト菓子ヲ盆ニ載セテ持ツテ来ル。休憩ノ時間デアル。今日ハキヤスタード・ブディングニツメタイ紅茶ガ運バレテ来ル。休憩

ガ濟ムト再ビ治療ガ続ケラレ、四時半デ終ル。

治療ヲ受ケツ、アル間、予ハ別ノコトヲ考エテイタ。

春久ガシヤワーヲ浴ビニ来サセテクレト云ウノハ、タゞソレダケノコトテナク、何カ魂こんた胆ガアルノデハナイカ。或ハ颯子ノ入レ智慧カトモ思ウ。今日ニシテモ故意ニ予ガ治療中ノ時間ヲ狙ツテ挨拶ニ来タノデハナイカ。ソウスレバ長イ間老人ニ取ツ摺マツテオ相手ヲシナイデモ濟ムト、考エタノデハナイカ。予ハ春久ガ夜間ハ忙シイケレドモ、晝間ハ自由ガ利クト語ツテイタコトガアルノヲ、聞キカジツテイル。トスルト、彼ガシヤワーニ来ルノハ午後カラ夕刻マデノ間、多分颯子ガ浴ビルノト同ジクライナ時間デアロウ。ツマリ予ガ書齋ニイルカ、寢室デ治療ヲ受ケテイル期間ニ来ルコトニナル。彼ガ浴室ニイル時、アスコノドーアハマサカ開ケツ放シニハシテ置カナイダロウ、ソノ時ハ戸締マリヨスルデアロウ。悪イ習慣ヲツケテシマツタト、颯子ハ後悔シテイヤシナイカ。

モウ一ツ氣ニナルコトガアル。明後々日、八月一日ニ、婆サン、経助、辻堂ノ陸子ト子供三人、女中ノ才節ノ七人ガ輕井沢へ出発スル。浄吉ハ二日ニ関西方面へ出カケ、六日ニ帰京シテ七日ノ日曜カラ約十日間、コレモ輕井沢ニ行クト云ウ。ソウスルト颯子ノタメニイロくト都合ナコトガ起リソウデアル。ソノ颯子ハト云ウト、アタシハ来月ニナツテカ

ラトキ／＼二三日グライ輕井沢へ参リマス、佐々木サント静ガ東京ニオリマスコトハオリマスケレドモ、才爺チャンヲオ一人才殘シ申シトクノハ心配デゴザイマスシ、ソレニ輕井沢ハプールノ水ガツメタ過ギテ泳ゲナイカラ困リマスノ、トキ／＼ナライ、ケレド、ズーットイルノハ御免ダワ、アタシヤツパリ海ノ方ガ好キダワ、ト云ツテイル。ソウ聞カサレルト、予モ何トカシテ居殘ル算段ヲシナケレバナラナイ。

「アタシハ一下足才先ニ参リマス、才爺チャンハイツイラツシャルノト、婆サンハ云ウ。

「サア、己ハドウシヨウカナ、折角鍼ヲ始メタシダカラ、モウ少シ続ケテ見ヨウカト思ウ」
「ダツテ、チツトモ利カナイツテ仰ツシヤツテタジヤアリマセンカ。セメテ暑イ間ダケオ止メニナツタラ」

「イヤ、コノ頃イクラカ利イテ来タヨウナ氣ガスルンダ。マダ始メテカラ一カ月ニモナラナインダカラ、今止メルノハ惜シイヨ」

「ソレジャ、今年ハイラツシヤラナイオ積リ？」

「ソウジヤナイヨ、イズレ行クヨ」

ソウ云ツテ婆サンノ訊問ヲ辛ウジテ切り抜ケル。

五日。……………

二時半鈴木氏見エル。直グ治療ガ始マル。三時少シ過ギ休憩時間。オ静ガ茶菓ヲ運ンデ来ル。モカノアイスクリームト冷紅茶デアル。オ静ガ部屋ヲ出テ行コウトスル時、

「今日ハ春久ハ来テイナイノカネ」

ト、何気ナク聞イテミル。

「オイデニナツテイラツシヤイマシタガ、モウオ帰りニナツタヨウデゴザイマス」

ト、多少曖昧ニ答エテ出テ行ク。

盲人ガ物ヲ食ベルノニハ時間ガカゝル。弟子ガ一ト匙ズツユツクリくト、アイスクリームノ塊かたまりヲ口ノ中ヘ入レテヤル。ソノ合間々々ニ紅茶ヲ啜すル。

「チョット失礼イタシマス」

ト、予ハ寢台ヲ下リテ浴室ノ戸ノ前ニ行キ、把手とってヲ廻シテミル。戸ハ締マツテイテ動カナイ。念ノタメ予ハ手洗イニ行ク振りヲシテ便所ニ入り、便所カラ外ノ廊下ニ出、廊下カラ

浴室ノ戸ヲ開ケテミル。開イタ。浴室ニハ誰モイナイ。シカシ春久ノ開襟シャツトズボント靴下ガ籠ニ入レテ脱ギ捨テ、アル。湯殿ノガラス戸ヲ開ケテミル。タシカニ湯殿ハ空ツポデアル。バス・カーテンノ中マデ覗イテミタガ誰モイナイ。タゞ流シ場ノタイルヤ周圍ノ壁ニ夥シク水ガ飛ビ散ツテ濡レテイル。オ静ノ奴、返答ニ困ツテ嘘ヲツイタナ、ダガドコニイルンダロウ。一体颯子ハドコナシ。予ガ食堂ノバアノ方ヘ捜シニ行コウトシタ時、食堂ノ廊下ノ方カラコカコラノ壘トコップヲ二ツ盆ニ載セテ、オ静ガ二階ノ階段ヲ上ツテ行コウトスルノト、パツタリ出会ツタ。

オ静ハ急ニ真ツ青ニナツテ階段ノ上リ口デ立ち止マツタ。盆ヲ支エテイル手ガ震エテイル。予モドギマギシタ。コンナ時間ニ外ノ廊下ヲウロツイテイルノハ予モオカシイ。

「春久ハマダイタンダネ」

予ハ努メテ晴レ／＼ト、気軽ナ風ヲ装ツテ云ツタ。

「ハイ、オ帰りニナツタコト、存ジテオリマシタラ……………」

「ア、ソウカイ」

「……………オニ階デ涼ンデイラツシャイマシタンデ、……………」

コップガ二ツトコカコラノ壘ガ二ツ。二人ハ二階デ「涼ンデ」イルノデアル。服ガ籠ニ捨

テ、アル以上、彼ハシャワーヲ浴ビテカラ浴衣ニ着カエテイルノデアル。シャワーモ一人
 デ浴ビタノカドウカ。二階ニハ泊リ客ノタメノ室モアルガ、ドコデ彼等ハ涼ンデイルノカ。
 斯様ナ場合、浴衣ヲ借りルクライハイ、ガ、階下ノ客間ナリ応接間ナリ茶ノ間ナリ、今ハ
 婆サンモ留守デアルカラ至ルトコロガ空イテイルノニ、二階へ上ルニハ及ブマイ。ツマリ
 彼等ハ、午後二時半カラ四時半マデハ予ガ治療ヲ受ケテイテ寢室カラ出ル筈ガナイト、考
 エタノニ違イナイ。

オ静ガ階段ヲ上ツテ行クノヲ見上ゲテカラ、予ハ直グ寢室へ引キ返シタ。

「ヤ、失礼イタシマシタ」

ソウ云ツテ、又寢台ニ横ニナツタ。ソノ間十分モカ、ラナカツタ。盲人ハヤットアイスク
 リームヲ食ベ終ツタトコロデアル。

再ビ鍼ガ始マル。コレカラ四五十分間、予ハ鈴木氏ニ体ヲ預ケナケレバナラナイ。四時半
 ニナレバ鈴木氏ハ去リ、予ハ書齋ニ戻ル。ソレマデノ間ニソツト二階カラ下リテ消エテナ
 クナレバイ、筈デアツタノニ、彼等ノ方ニモ計算違イガアツタ。思イガケナク予ガ廊下ニ
 現レタリ、マズイコトニハオ静ト打ツカツタリシタ。ガ、モシ予トオ静トガ打ツカラナカ
 ヲツタラ、予ニ知レタコトヲ彼等ハ氣ツカズニイタデアロウ、トスルト、オ静ガ予ト行キ遇

ツタコトハ、マダシモ仕合せダツタト云エル。モット人ノ悪イ邪推ヲスレバ、予ニ疑ワレテイルコトヲ知ツテイル颯子ハ、治療ノ隙間ニ予ガ廊下へ出テ様子ヲ探ルコトモアリ得ルト、推量シタノカモ知レナイ。ソシテ故意ニ予ニソノヨウナ機会ヲ許シ、オ静ニ用事ヲ云イ付ケテ予ト巧ク打ツカルヨウニ豫メ仕組ンダノカモ知レナイ。イズレ老人ニハ知ラセテ置イタ方ガ都合ノイ、コトガアルノダカラ、ソレナラ少シデモ早く知ラセテ因果ヲ含メテヤツタ方ガ功德ニナルト、考エタカモ知レナイ。

「イ、ワヨ、ソシテナニ慌テナイデモ、度胸ヲ据エテ悠々トオ帰ンナサイヨ」
ト、颯子ノ声ガ聞エル氣ガスル。

四時半カラ五時マデ休養。五時カラ五時半マデ牽引。五時半カラ六時マデ休養。ソレマデノ間ニ、恐ラク予ガ治療ヲ済マス以前ニ、二階ノ客ハ帰ツテ行ツタニ違イナイ。颯子モ一緒ニ出テ行ツタノカ、ソレトモ流石ニバツガ悪イノデ一人デ二階ニ引ツ込ンデイルノカ、一向姿ヲ現ワサナイ。今日ハ晝ノ食事ノ時ニ顔ヲ見タキリデアル。(二日以来、予ハ彼女トタツタ二人差向イデ食事スルコトガ出来ルノデアル)六時、佐々木ガ庭ノ散歩ヲ促シニ来ル。予ガ縁側カラ庭へ下リヨウトスルト、

「佐々木サン、今日ハイ、ワヨ、アタシガオ供スルカラ」

ト、不意ニ颯子ガ何処カラカ現ワレタ。

「春久ハイツ帰ツタンダネ」

四阿あづまやデ直グソノ話ニナツタ。

「アレカラ間モナク」

「アレカラトハ？」

「コカコラヲ飲ムト間モナク。ドウセ見ラレチャツタンダカラ、急イデ帰ツタラ却テオカシイツテ云ツタンダケレド」

「アレデ案外気が弱インダナ」

「キット伯父サンニ誤解サレテルニ違イナイカラ、アタシカラヨク弁解シトイテクレツテ散々云ツテタワヨ」

「モウ止ソウヨ、ソんな話」

「誤解シテルナラシテ、モイ、ワ、ダケド下ヨリニ階ノ方ガ風通シガイ、カラ、二階ニ上ゲテ一緒ニコカコラヲ飲ンダケヨ。昔ノ人ハソウ云ウ時ニ直グ変ニ取ルノネ。浄吉ナラ分ツテクレルワ」

「マアイ、サ、ソんなコト。ドツチダツテ構ヤシナイサ」

「構ワナイコトハナイワヨ」

「チヨット云ツトクガ、君ノ方ガ僕ヲ誤解シテヤシナイカ」

「ドウ云ウ風ニ？」

「仮リニ君ガ——仮リニダヨ、——春久トドウ云ウコトガアツタニシタツテ、僕ハソ

レヲ取り上ゲル氣ハナインダ。……………」

颯子ハ怪訝^{けげん}ナ顔ヲシテ黙ツタ。

「僕ハソソナコトヲ婆サンニモ浄吉ニモシヤベリハシナイ。自分ノ胸ニ収メテ置ク」

「才爺チャンハアタシニソソナコトヲシロツテ仰ツシヤルノ？」

「或ハソウカモ知レナイ」

「氣狂イネ」

「ソウカモ知レナイ。ソソナコトヲ今知ツタノカ、君ミタイナ利口ナ人ガ」

「ダケド、ドウ云ウ氣持カラソソナコトヲ考エルノ」

「自分デ恋ノ冒險ヲ樂シムコトガ出来ナクナツタ腹癒^{はらひ}セニ、セメテ他人ニ冒險サセテ、ソ

レヲ見テ樂シム。人間モモウコウナツチャ哀レナモノサ」

「自分ニ希望ガ持テナイカラ焼ケ糞氣味ニナルノネ」

「岡焼キ気味デモアルサ、不便ト思ツテクレ給エ」

「巧ク云ツテルワ。不便ト思ウノハイ、ケレド、才爺チャンヲ楽シマセルタメニ、アタシガ犠牲ニサレルノハ嫌ダワ」

「犠牲ト云ウコトハナイデシヨウ、僕ヲ楽シマセルト同時ニ、君自身モ楽シムンジヤナイカ。僕ノ楽シミヨリ、君ノ楽シミノ方ガズツト大キイ筈ジヤナイカ。ホントニ僕ナンカ哀レナモンサ」

「又頬ツペタヲ打タレナイヨウニ氣ヲ付ケテ頂戴」

「ゴマカシツコナシニシヨウ。尤モ春久ト限ツタコトハナイガネ、甘利デモ誰デモイ、ガネ」

「四阿へ来ルト、キツトコンナ話ニナルノネ、チツト散歩シマシヨウヨ、足ノ運動バカリデナク、頭ニモ毒ダワ。ホラ、佐々木サンガ縁側カラ見テルワヨ」

路ハ二人ガヨウ／＼並ンデ歩ケルホドノ廣サデアル。萩方両側カラ伸ビテイテ歩キニクイ。

「葉ガ繁ツテ、絡ミツクワヨ、アタシニ掴マツテラッシャイ」

「腕ヲ組マセテクレルトイ、ガナ」

「ソんなコト無理ダワヨ、才爺チャンハ背ガ低インダカラ」

予ノ左側ニ並ンデイタ彼女ハ、突然右側ニ廻ツタ。

「ソノステッキヲアタシニ貸シテ。右手デコ、ニ掴マツテラツシヤイ」

ソウ云ツテ彼女ハ左肩ヲ差出シタ、ステッキハ自分ガ受ケ取ツテ、萩ノ枝ヲ拂イ除ケナガラ。……………

六日。……………昨日ノ続キ。

「一体浄吉ハ君ノコトヲドウ思ツテイルノカネ」

「ソレハアタシガ聞キタイクライヨ。オ爺チャンハドウオ思イニナル？」

「僕ニモ分ラン、僕ハアンマリ浄吉ノコトヲ考エナイヨウニシテイル」

「アタシモソウナノ、聞イテモ彼ハ面倒臭ガツテホントノコトヲ云ツテクレナイノ。ダガ要スルニ今デハ愛シテイナイノネ」

「君ニ愛人ガ出来タトシタラドウスル？」

「出来タラ出来タデ仕方ガナイ、ドウゾ御遠慮ナクツテ。——冗談ミタイニ云ツテタケド、案外本氣ラシカッタワ」

「誰デモ女房ニソウ云ワレルト、ソんな負け惜ミヲ云ウモノサ」

「彼ニモ誰カ好キナ人ガアルラシイノヨ、アタシト同ジヨウナ過去ヲ持ツタ、何処カノキヤバレノ人ラシイワ。経助ニサエ会ワシテクレルナラ別レテモイ、ワヨツテ云ツタラ、別レル氣ハナイ、経助モ可哀ソウダガ、ソレヨリ君ガイナクナルト親父ガ泣クノガ可哀ソウダツテ」

「人馬鹿ニシテヤガル」

「アレデオ爺チャンノコトハ何モカモ知ツテルノヨ、アタシハ何モ云ヤシナイケド」

「ヤツパリ親父ノ忤ダカラナ」

「飛ンダトコロデ親孝行ヲスル氣ナノネ」

「ソノ実君ニ未練ガアルノサ、親父ヲ出シニ使ヤガツテ」

予ハ実ノトコロ予ノ長男デアリ卯木家ノ嗣子うつぎデアル浄吉ノコトヲ、殆ド何モ知ルトコロハナイ。大切ナ忤ノコトニツイテコレホド無知ナ父親ハ少イダロウ。彼ガ東大経済学部ヲ卒業シテパシフィック・プラスチック工業株式会社ニ入社シタコトハ知ツテイル。シカシ実際ニドンナ仕事ヲシテイルノカハヨク知ラナイ。何デモ三井化学アタリカラ樹脂原料ヲ買イ入レテ写真フィルム、ポリエチレン被膜、ポリエチレン成型品、バケツダノ、マヨネーヅノチューブダノト云ツタ類ヲ製造スル会社デアルト聞イテイル。工場ハ川崎辺ニアルガ、

本社ハ日本橋ニアツテ、彼ハソコノ營業部ニ勤メテイル。近イウチニ部長ニナレルラシイガサラリーヤボーナスハ今ドノクライ貫ツテイルノカ、予ニハ分ラナイ。彼ハ家督相続人デアルケレドモ、目下ノトコロ予ガコノ家ノ主人デアル。コノ家ノ經濟ハ彼モ幾分カ負擔シテイルヨウデアルガ、依然トシテ大部分ハ予ノ不動産所得ト配当所得ニ依ツテイル。月々ノ家計ハ数年前マデ婆サンガ処理シテイタガ、イツカラカ颯子ガ當ツテイル。婆サンノ説ニ依ルト颯子ハアレデナカク計數ニ委シク、出入ノ商人ノ請求書ナドモ^{ゆるが}忽セニシナイトキ、台所へ行ツテ冷蔵庫ヲ開ケテ調べタリスルノデ、若奥様ト聞クト女中達ハチリチリシテイル。新シ物好キノ颯子ハ去年台所ヘ^{デイス}ポーザーヲ取り附ケタガ、彼女ニ依レバ「マダ食ベラレル筈」ノ薩摩薯ヲ放り込ンダト云ツテ、才節ガヒドク叱ラレテイルノヲ見タコトガアル。

「腐ツテタラ犬ニヤレバイ、ジャナイノ、アナタ達ハ面白ガツテ何デモアレヘ投ゲ込ムンダネ、アンナモノヲ買ワナキヤヨカツタ」

ソウ云ツテ颯子ハ後悔シテイタ。

家庭ノ費用ハ出来ルダケ切り詰メテ女中イジメヲシ、残りハ全部自分ノ^{ふところ}懐ヘ取り込ムラシイ、ミンナニ窮屈ナ思イヲサセテ自分ダケドナ贅沢ヲシテルカ知レタモンジャナイト、

婆サンハ云ツテイル。才静ニ算盤ヲ弾カセテイルコトモアルガ、大概ハ颯子ガ自ラシテイ
ル。税金ハ計理士ニ任セテアルガ、計理士トノ応対ハ彼女ガスル。若奥様トシテノ事務モ
相当忙シイ筈デアルガ、何デモ引キ受ケテ極メテ手早く、イツノ間ニカテキパキト片附ケ
テイル。コンナトコロハ頗ル浄吉ノ氣ニ入ツテイルニ違イナイ。今ヤ彼女ハ卯木家ニ於テ
確乎タル地歩ヲ占メルニ至リ、浄吉ニ取ツテモ、ソウ云ウ意味デ缺クベカラザル存在トナ
ツテイル。

婆サンガ颯子トノ結婚ニ反対シタ當時、

「踊リ子上リナンゾツテ云ウケレド、キツト彼女ハ家政ノ切り盛リナンカモ上手ニヤツテ
行キマスヨ、ソウ云ウ才能ノアルコトヲ僕ハ見抜イテルンデス」

ト浄吉ハ云ツタガ、アノ時ハ恐ラクあてずっぽう当寸法ヲ云ツタノデ、先見ノ明ガアツタ訳デハアル

マイ。妻トシテ家庭ニ入レテ見ルト、案外ニモソウ云ウ才能ヲ發揮シ始メタノデアル。颯
子自身モ自分ニソウ云ウ才能ガアルコトヲ、ソノ時マデハ知ラナカツタコトデアロウ。

実ヲ云ウト予ハ、彼等ノ結婚ヲ許シハシタモノ、ドウセ長クハ続クマイト思ツテイタ。
惚レツポイコトモ惚レツポイガ飽キツポイコトモ飽キツポイノハ親譲リデ、若イ時ノ予ト
同様デアルト考エテイタガ、今日デハ左様ニ簡單ニハ云エナイ。結婚当座ノ浄吉ハ大シタ

打チ込ミ方デアツタガ、今デハソレホドデナイコトハ確カダ。ガ、予ノ眼カラ見ルト、彼女ハ結婚當時ニ比テ現在ノ方ガ一層美シイ。ワガ家ニ来テカラ既二十年近クナルノニ、歲月ヲ経ルホドマス、美シクナリツ、アル。経助ヲ生ンデカラ特ニ際立ツテソウナツタ。今デハ昔ノ踊リ子臭イ感ジハナイ。尤モ、予ト二人キリノ時ニ限ツテワザト昔ノ倅ヲチラツカセルコトハアル。浄吉ト二人キリノ時ニモ、嘗テ愛情コマヤカナリシ時代ニハソソナ風ダツタデアロウガ、今デハソウデモナサソウデアル。ソレヨリ倅ハ寧口彼女ノ経理ノ才ヲ徳トシテ、彼女ヲ失ツテハ不便デアルト考エテイルノデハナイカ。猫ヲカブツテイル時ノ彼女ハ、何処カラ見テモ立派ナ奥様ノ貫祿ヲ備エテイル。言語動作ガキビ、トシテ、目カラ鼻へ抜ケルヨウデ、ソレデイトテ情味モアレバ愛嬌モアツテ人ヲ外ラサナイ。一般カラハソウ見エルニ違イナイノデ、倅モ内々ソレヲ自慢ニシテイル風ガアル。トスルト、ナカ、別レル気ナンカアルマイ、萬一彼女ニ疑ワシイ行為ガアツタトシテモ、見テ見ナイ振リヲスルカモ知レナイ、上手ニ振舞ツテサエクレ、バ。……………

七日。……………浄吉昨夜関西ヨリ帰宅、今朝軽井沢ニ出カケル。……………

八日。……午後一時ヨリ二時マデ午睡、ソノマヽ鈴木氏ノ来診ヲ待ツテイル。ト、浴室ノドアーヲノックシテ、

「チョット、コヽ締メルワヨ」

ト云ウ声ガシタ。

「来ルノカネ彼氏」

「エヽ」

ソウ云ツテ、颯子ガチラリト顔ヲ出シタガ、直グニボタント強イ音ヲ立テ、締メ切ツテシマツタ。ホンノチラリト見タゞケダツタガ、変ニ冷イ無愛想ナ顔ヲシテイタ。自分ガ先ニシャワーヲ浴ビタト見エテ、ビニールノ帽子カラ水ガタラヽ滴レテイタ。……

九日。……午睡ノアト、今日ハ鍼ハ休ミデアルガ、ヤハリ氣ニナルノデ寢室ニイル。

「コヽ締メルワヨ」

ト、今日モノックスル音ガ聞エル。今日ハ昨日ヨリ三十分ホド遅イ。ソシテ彼女ハ全然顔モ出サナイ。午後三時過ギ、予ハソットドアーノ把手ヲ廻シテ見ル。マダ締マツタマヽデ

アル。午後五時牽引ノ時、

「伯父サン、毎度ドウモ有難ウ存ジマス、才蔭テ毎日助カツテオリマス」

ト、春久ガ挨拶シテ通り過ギテ行クノガ聞エル。顔ハ見ルコトガ出来ナイ。ドンナ顔ヲシテアンナ口ヲ利イテルカ見タイ氣ガスル。

六時、庭ノ散歩ノ時、

「颯子ハイマセンカ」

ト、佐々木ニ聞イテ見ル。

「サア、先程ヒルマンガ出テツタヨウデゴザイマスガ」

ト、佐々木ガ才静ニ聞キニ行ツテ戻ツテ来ル。

「ヤツパリ若奥様ハ才出カケニナツタソウデゴザイマス」

.....

十日。.....午後一時ヨリ二時マデ午睡。ソレカラ先ハ八日ト同ジ事件ノ経過ヲ辿ル。...

.....

十一日。………鍼ハ休ミ。シカシ今日ハ九日ト工合ガ違ウ。

「コ、締メルワヨ」

ト云ウ代リニ、

「コ、開イテルワヨ」

ト云ウ声ガシテ、珍シク彼女ガ朗カナ顔ヲ出シタ。シャワーノ音ガシテイル。

「今日ハ来ナイノカネ」

「エ、這入ツテラツシャイ」

云ワレタノデ這入ツテ行ク。早くモ彼女ハバス・カーテンノ中ニ隠レテイタ。

「今日ハ接吻サセタゲルワ」

シャワーノ音ガ止ンダ。カーテンノ蔭カラ脛すねト足ガ出タ。

「何ダイ、又内診ノ恰好カイ」

「ソウヨ、膝カラ上ハ駄目。ソノ代リシャワーヲ止メテ上ゲタジヤナイノ」

「何カノ報酬ノ積リカネ、ソレニシチャ安スギルナ」

「イヤナラオ止シナサイ、無理ニトハ申シマセン」

ソシテ附ケ加エタ。

「今日ハ唇ダケデナクツテモイ、舌ヲ着ケテモイ、」

予ハ七月二十八日ト同ジ姿勢デ、彼女ノ脛脛ノ同ジ位置ヲ唇デ吸ツタ。舌デユックリト味ワウ。ヤ、接吻ニ似タ味ガスル。ソノマ、ズル、ト脛脛カラ踵マデ下リテ行ク。意外ニモ何モ云ワナイ。スルマ、ニサセテイル。舌ハ足ノ甲ニ及ビ、親趾ノ突端ニ及ブ。予ハ跪ひざまずイテ足ヲ持チ上ゲ、親趾ト第二ノ趾ト第三ノ趾トヲ口一杯ニ頬張ル。予ハ土踏マズニ唇ヲ着ケル。濡レタ足ノ裏ガ蠱惑的ニ、顔ノヨウナ表情ヲ浮カベテイル。

「モウイ、デシヨ」

急ニシヤワーガ流レ始メタ。彼女ノ足ノ裏ト予ノ頭ダノ顔ダノヲ水ダラケニシテ。……

五時、佐々木ガ牽引ノ時間ヲ知ラセニ来、

「オヤ、才眼ガ赤ウゴザイマスネ」

ト云ウ。コノ数年来、予ハ白眼ガシバ、充血スルコトガアリ、普通ノ時デモ赤味ガ強クあかみナツテイル。瞳孔ノ周圍ヲ注意シテ見ルト、角膜ノ下ニ赤イ細イ血管ガ異様ニ幾筋モ走ツテイルノガ認メラレル。眼底出血ノ恐レハナイカト、検査シテ貰ツタコトガアルガ、眼底ノ血壓ニモ格別ノコトハナク、予ノ年齢トシテハ相当デアルト云ウ。シカシ、眼ガ血走ツテイル時ハ脈搏モ早く、血壓モ高イコトハ事実デアル。佐々木ハ直グ脈ヲ取ツテ見テ、

「ブルスガ九十以上ゴザイマスネ、ドウカナサイマシタンデスカ」

「イ、ヤ別ニ」

「血壓ヲ測ラシテ戴キマシヨウ」

否応ナシニ書齋ノソフアニ寢カサレル。十分間ノ安静ノ後、右腕ヲゴムノ管デ縛ラレル。血壓計ハ予ニハ見エナイガ、佐々木ノ顔ツキデ大凡ソ察シガツク。

「今才氣持ガ才悪イヨウナコトハゴザイマセンカ」

「氣持ハドウモアリマセンガネ、血壓ガ高インデスカ」

「二百ホドゴザイマス」

彼女ガコンナ風ニ云ウ時ハ大概二百以上ナノデアル。二〇五カ六カ、一〇カ、或ハ二二〇以上アルニ決ツテイル。シカシ最高二四五ニモ達シタ経験ヲ過去ニ数回持ツテイル予ハ、ソノクライナコトデハ医者ガ驚クホドニハ驚カナイ。何カノ拍子デソレツキリニナツテモ仕方ガナイト諦メテモイル。

「今朝ホド測リマシタ時ハ上ガ一四五、下ガ八三デ、至極順調デゴザイマシタノニ、ドウシテ急ニコンナニ上ツタンデゴザイマシヨウ。ドウモ不思議デゴザイマスネ、無理ニカ^{りき}ンデ堅イオ通ジデモナサイマシタカ」

「イ、ヤ」

「何かアツタンジャゴザイマセンカ、ドウモ不思議デゴザイマスネ」

佐々木ハ頻リニ首ヲ傾^{かし}ゲテイル。予ハ口ニハ出サナイガ、原因ハ分リ過ギルホド分ツテイ
ル。サツキノ土踏マズノ感触ガ、マダ唇ニ残ツテイテ忘レヨウトシテモ忘レラレナイ。颯
子ノ三本ノ足ノ趾ヲ口一杯ニ頬張ツタ時、恐ラクアノ時ニ血壓ガ最高ニ達シタニ違イナイ。
カアツト顔ガ火照^{ほて}ツテ血ガ一遍ニ頭ニ騰^{のぼ}ツテ来タノデ、コノ瞬間ニ脳卒中デ死ヌンジャナ
イカ、今死ヌカ、今死ヌカ、ト云ウ氣ガシタコトハ事實デアル。コンナ場合ノアルコトヲ、
カネテ覚悟ハシテイタケレドモ矢張サスガニ「死ヌ」ト思ウト恐クナツタ。ソシテ一生懸
命ニ氣ヲ静メヨウ、興奮シテハナラナイト自分デ自分ニ云イ聞カセタガ、オカシナコトニ、
ソウ思イナガラ、彼女ノ足ヲシヤブルコトハ一向ニ止メナカッタ。止メラレナカッタ。イ
ヤ、止メヨウト思エバ思ウホド、マス／＼氣狂イノヨウニナツテシヤブツタ。死ヌ、死ヌ、
ト思イナガラシヤブツタ。恐怖ト、興奮ト、快感トガ、代ル／＼胸ニ突キ上ゲタ。狭心症
ノ発作ニ似タ痛ミガ激シク胸ヲ窄^しメツケタ。……アレカラ既ニ二時間以上経ツテイイル筈
ダガ、マダ血壓ガ下ラナイト見エル。

「今日ハ牽引ヲオ止メニナツテ、安静ニナスツテイラシツタ方ガヨウゴザイマスネ」

ソウ云ツテ佐々木ハ予ヲ無理ヤリニ寢室へ運び、横臥サセタ。

午後九時又佐々木ガ血壓計ヲ持ツテ這入ツテ来タ。

「モウ一度測ラセテ戴キマス」

結果ハ幸イニモ常態ニ戻ツテイタ。上一五〇餘、下八七。

「ア、コレデヨカッタ、ホントニ安心イタシマシタ。サツキハ上ガ二二三、下ガ一五〇アツタンデゴザイマスヨ」

「ソんなコトモタマニハアルデシヨウナ」

「タマニダツテコンナコトガアツチャ大變デゴザイマス。デモマア、ホンノ一時的ノ現象ダツタンデゴザイマスネ」

ホツトシタノハ佐々木バカリデハナイ。実ヲ云ウト佐々木以上ニ予ノ方ガ「マアヨカッタ」ト、ヒソカニ胸ヲ撫テオロシタ。シカシ同時ニ、コノ調子ナラコレカラ後モ氣狂イ的行為ヲ繰リ返シテモ差支エアルマイ、颯子ノ好キナピンキー・スリラーデハナイガ、コノ程度ノ冒險ハ止メル訳ニ行カナイ、間違ツテ死ンダトシテモ構ウモンカ、ト云ウ氣ニナル。：

……

十二日。……………午後二時過ぎ春久来り、二三時間イタラシイ。夜ノ食事ヲ済マスト直グニ颯子外出スル。スカラ座デマルタン・ラサールノ「スリ」ヲ見、ソレカラプリンホテルノプールニ行クト云ウ。バックレスノ水着カラ抜ケ出シタ真ツ白ナ肩ヤ背中ガナイターノ光線ヲ浴ビル光景ヲ想像スル。……………

十三日。……………午後三時頃、今日モピンキー・スリラーヲ経験スル。但シ今日ハ眼ガ赤クナラナイ。血壓モ普通ラシイ。ヤ、拍子抜ケガシタ感ジ。少シ眼ガ血走ツテ血壓ガ二〇〇ヲ越スクライニ興奮シナイト物足りナイ。

十四日。浄吉一人、夜軽井沢ヨリ帰宅、明日ノ月曜ヨリ出社ノ由。

十六日。颯子、昨日久シ振ニ葉山デ泳イデ来タト云ウ。今年ノ夏ハ才爺チャンノオ守リデ海ヘ行クコトガ出来ナカツタ、ヤツパリ日ニ焦ケテ来ナケレバ駄目ダト云ウ。颯子ノ肌ハ外人ナミニ白皙ナノデ日ニ焦ケタ部分ガ紅潮ヲ呈スル。頸カラ胸ヘカケテV型ニ真紅ノ型

ガ染マリ、水着デ隠サレク腹ノ部分ノ白イコト、云ツタラナイ。今日ハ予ニソレヲ誇示スルタメニ浴室ヘ招イタラシイ。

.....

十七日。今日モ春久ガ来テタラシイ。

十八日：.....今日モピンキー・スリラーデアル。但シ十一日、十三日ト少シ違ウ。今日ハ彼女ガサンダルヒールヲ穿イテ這入ツテ来、ソノマヽシャワーヲ浴ビテイル。

「何デソソナモノ穿イテルンダネ」

「ミュージツクホールノヌウド・シヨウナンカヘ行クト、ミンナ裸デコレヲ穿イテ出テ来ルワ。足氣狂イノオ爺チャンニハ、コレモ魅力ジヤナイ？ トキ／＼足ノ裏ガ見エタリシテ」

ソレハヨカツタガ、ソノアトデ次ノ事件ガアツタ。

「今日ハオ爺チャン、ネツキングサセタゲマシヨウカ」

「ネツキングツテ何ノコトダネ」

「ネツキングヲ知ラナイノ？ コナイダオ爺チャンガシタジヤナイノ」

「頸ニ接吻スルコトカ」

「ソウヨ、ペッティングノ一種ヨ」

「ペッティングツテ何ダネ、ソシナ英語ハ習ツタコトガナイ」

「オ年寄ハ手数ガカ、ツテ困ルワネ、体ジユウヲ可愛ガルコトヨ、ヘビー・ペッティングツテ言葉モアルワ、オ爺チャンニハ現代語カラ教エナキヤナラナイ」

「ジャア、コ、ニキスサセテクレルンダネ」

「有難イトオ思イナサイ」

「三拝九拝スルヨ。ドウ云ウ風ノ吹キ廻シカ、アトガ恐シイナ」

「イ、覚悟ダワ、ソノ積リテイタライ、ワ」

「ジャ、ソレカラ先ニ聞コウジヤナイカ」

「マア兎ニ角、ネツキングヲナサイ」

結局予ノ方ガ誘惑ニ負ケタ。予ハ二十分以上モ所謂ネツキングヲ恣ニシタ。
ほしいま、

「サア勝ツタ、モウイヤダナンテ云ワセヤシナイ」

「何ダネ、君ノ要求ハ」

「ビツクリシテ腰ヲ抜カサナイヨウニ」

「何ダヨ一体」

「コノ間カラ欲シイト思ツテタモノガアルノ」

「ダカラ何ダヨ」

「キヤツツ・アイ」

「キヤツツ・アイ？ 猫眼石カ」

「エ、ソウ、ソレモ小サイノジャ駄目、男ガ籾メルヨウナ大キイノガ欲シイノ。実ハ帝国ホテルノアーケードノ店ニアルノヲ見付ケテアルノヨ、ドウシテモコレニシヨウト思ツテ」

「イクラダ」

「三百萬圓」

「何ダツテ」

「三百萬圓」

「冗談ジャナイ」

「冗談ジャナイワヨ」

「差当リソソナ金ハナイ」

「知ツテルワヨアタシ。チョウドソノクライ都合ガツク筈ヨ。コレニ決メタカラ二三日ウチニ戴キニ上リマスツテ、チャントソウ云ツテ来チャツタ」

「ネツキングガソンナニ高クツクトハ思ワナカツタ」

「ソノ代リ今日ダケデナクツテモイ、コレカライツデモサセタゲル」

「タカガネツキングダカラナ、本当ノ接吻ナラ価値ガアルケド」

「何ヨ、三拝九拝スルツテツタ癖ニ」

「エライコトニナツタナ、婆サンニ見ラレタラドウスル」

「ソンナハマヲスルモンデスカ」

「ソレニシテモ痛イナ、アンマリ年寄ヲイジメナイデクレ」

「ソウ云イナガラ嬉シソウナ顔ヲシテルワ」

事実予ハ嬉シソウナ顔ヲシタラシイ。

.....

十九日。颱風近ヅクトノ報アリ。ソノセイカ手ノ痛ミガ激シク、足ノ運動ガ不自由サヲ増ス。颯子ガ買ツテ来タドルシンヲ三錠ズツ日二三回服用、才蔭デ痛ミハ軽クナル。コレハ

経口剤デアルカラノブロンヨリハ氣持ガイ、シカシアスピリン系統ノ藥ナノデ、甚シク
発汗スルノニハ閉口スル。

午後忽々鈴木氏ヨリ電話、「颱風ガ来ルト困リマスカラ本日ノ鍼ハ休マセテ戴キマス」ト
ノコト。「承知イタシマシタ」ト云ワセテ寢室カラ書齋ニ来ル。途端ニ颯子が這入ツテ来
タ。

「才約束ノモノヲ戴キニ来マシタ、コレカラ銀行へ行ツテ、ソノ足デホテルへ廻リマス」
「颱風ガ来ルゼ、コンナ時ニ行カナイデモイ、ジャナイカ」

「氣ガ変ラナイウチニ戴クモノヲ戴イテ、一刻モ早クアノ石ヲコノ指ニ簞メテ見タイノ」
「僕ハ約束シタ以上、背キヤシナイヨ」

「明日ハ土曜日ダカラ寢坊スルト銀行ニ間ニ合ワナイ、善ハ急ゲツテ云イマスカラネ」
予ハコノ金ニハ別ノ用途ガアツタノデアル。

モト予ノ一家ハ本所割下水ニ数代前カラ住ンデイタガ、父ノ代ノ時本所カラ日本橋区横山
町一丁目ニ移ツタ。ソレハ明治ノ何年頃デアツタカ幼少ノ時テ覺エガナイ。ソシテ大正十
二年ノ大震災ノ後ニ今ノ家ヲ麻布狸穴ニ新築シテ移ツタ。新築シタノハ予ノ父デアツタガ、
父ハ大正十四年、予ガ四十一歳ノ時ニ死ンダ。母ハソレニ後レルコト数年、昭和三年ニ死

ンダ。麻布ノ家ヲ新築シタト云ツタガ、タシカ明治年間政友会ノ長谷場純孝ノ邸宅ガアツ
タ^{あたり}辺ダトカ云イ、前カラ古イ屋敷ガ建ツテイタノデ、ソノ一部ヲ残シテ大部分ヲ改築シタ
ノデアアル。父ト母トハソノ古イ方ノ家ヲ隱居所ニシテ、土地ノ閑静ナノヲ愛シテイタ。戰
災ノ時ニ又モウ一度改築シタガ、隱居所ダケハ奇蹟的ニ火災ヲ免レタノデ、今モナオ父母
アリシ日ノ姿ノマヽニ保存サレテイル。既ニボロヽヽデ使用ニ堪エズ、モハヤ誰モ住ンデ
イナイ。予ハソレヲ取り壊シテ近代建築ニ作り直し、ソコニ今度ハワレヽヽノ隱居所ヲ作
リタイ考デアルガ、ソレニハ今日マデ婆サンガ反対シテイタ。亡キ父母ノ隱栖ノ跡ヲ妄リ
ニ毀^{こぼ}チ去ルノハヨクナイ。少シデモ長ク保存シテ置キタイト云ウ。ソナコトヲ云ツテイ
タラ際限ガナイカラ、予ハ近々ニ婆サンニ無理ニ承諾サセテ壊シ屋ヲ入レヨウト思ツテイ
タノデアツタ。今ノ母屋^{おもや}デモ家族全部ヲ收容スルノニ狭過ギルト云ウコトハナイガ、予ガ
イロヽヽト企^{たくら}ンデイル悪事ヲ実行スルノニハ少シ不便デアアル。新シイ隱居所ヲ作ルト称シ
テ、予ノ寢室ヤ書齋ヲ出来ルダケ婆サンノ寢室カラ遠クニ切り離シ、婆サン専用ノ便所ヲ
彼女ノ寢室ノ隣ニ設ケル。浴室ハ「婆サンノ便利ノタメ」ト称シテ純日本式ノ木製ノモノ
ヲ、コレモ別ニ婆サンノ寢室ニ隣接サセル。予ノ浴室ハ予専用ノタイル張りニシテ、シヤ
ワーノ設備ヲスル。

「隠居所ニ風呂場ヲ二ツ作ルナンテ無駄ナコツチャアリマセンカ、ヨゴザンスヨ、アタシハ母屋デ佐々木サンヤオ静ト一緒ニ這入りマスカラ」

「マアオ前サンモ、ソノクライナ贅沢ハ許サレテモイ、サ、年ヲ取ツタラユツクリ風呂ニデモ漬カルクライガ楽シミダカラネ」

予ハ婆サンガ成ルベク自分ノ部屋ニ閉ジ籠ツテイテ方々家ノ中ヲ歩キ廻ラナイヨウニ工夫シタ。ツイデニ母屋モ改造シテ二階屋ヲ平屋ニ直シタカツタガ、コレハ颯子ニ反対サレタノミナラズ、金ノ用意ガ不足シタ。デ、已ムヲ得ズ、隠居所ダケヲ新築スル積リダツタ。颯子ノ狙ツテイタ三百萬圓ハソノ金ノ一部ナノデアル。

「只今」

ト、颯子ガ早くモ帰ツテ来タ。凱旋將軍ノ如ク意気揚々トシテイル。

「モウ行ツテ来タノカ」

ソレニハ答エズ、黙ツテ掌てのひらノ上ニ一箇ノ石ヲ載セテ見セル。ナルホド見事ナ猫眼ねこめデアル。

予ハ新築ノ隠居所ノ空想ガコノ柔カイ掌ノ上ノ一点ト化シ去ツタコトヲ知ラサレル。

「コレ、何カラツトダ」

予モ掌ニ載セテ見ル。

「十五カラツト」

例ニ依ツテ忽チ左手ノ疾患部ガ甚シク痛ミ始メル。慌テ、ドルシンヲ三錠呑ム。勝チ誇ツタ颯子ノ顔ヲ見ルト、痛イコトガ溜ラナク楽シイ。隠居所ナンカ作ルヨリコノ方ガドンナニヨカツタカ。……………

二十日。颱風十四号イヨク接近、風雨強シ。ニモ拘ラズ、カネテノ豫定ノ通り朝軽井沢ニ立ツ。颯子ト佐々木同伴スル。但シ佐々木ハ二等車デアル。佐々木ハ頻リニコノ天候ヲ氣ヅカツテ、モウ一日才延バシニナツタラト云ツタガ、予モ颯子モ承知シナカツタ。二人トモ妙ニ殺氣ダツテ、颱風ナンカイクラデモ吹ケト思ツテイタ。猫眼石ノ魔力デアル。：

……

二十三日。本日颯子同伴帰京ノ積リテイタトコロ、子供達ノ学校モ始マルノデ、豫定ヲ早メテ明二十四日皆々引揚ゲルコトニスルカラ、明日一緒ニ帰りマシヨウ、モウ一日才延バシナサイト婆サンガ云ウ。颯子ト二人デ旅ヲスル楽シミガ消シ飛ンデシマツタ。

二十五日。今朝カラ又牽引ヲ始メルトコロデアツタガ、結局利キ目ガナイノデ中止ト決定。鍼モ今月一杯デ止メヨウト思ウ。………颯子ハ早速今夜後樂園ジムへ出カケル。

九月一日。本日ハ二百十日デアルガ何事モナイ。浄吉今日ヨリ五日間ノ豫定デ福岡ニ飛ブ。

三日。サスガニ秋ノ気色けはいヲ感ジル。俄雨ガ去ツタ後空ガ快ク晴レル。颯子書齋ニ高粱ト雞頭、玄関ニ七草ヲ活ケル。ツイデニ書齋ノ軸ヲ代エル。荷風散人ノ七絶ノ色紙ヲ表装シタモノ。

ト宅麻溪七值秋

霜餘老樹擁西樓

笑吾十日間中課

掃葉曝書還曬裘

荷風ノ書ト漢詩ハサシテ巧ミデハナイケレドモ、彼ノ小説ハ予ノ愛読書ノ一ツデアル。コノ書ハ昔或ル美術商カラ手ニ入レタモノダガ、荷風ノ書ハ非常ニ偽筆ヲ上手ニ書ク男ガイタソウデアルカラ、コノ幅モ真偽ハサダカデナイ。荷風ハ戦火ニ焼カレル迄コノツイ近

クノ市兵衛町ノペンキ塗リノ木造ノ洋館ニ住ミ、偏奇館ト号シテイタ。「宅ヲ麻溪ニトシ七タビ秋ニ値ウ」ト云ウ所以デアル。

四日。拂曉、午前五時頃ト思ウ、ウトくシナガラ聞イテイルト、何処カデ蟋蟀こおろぎガパイピイト鳴イテイル。パイパイ、パイパイ、ト、カスカナ声デハアルガ、シキリニ聞エル。モウ蟋蟀ノ鳴ク季節デハアルケレドモ、コノ部屋デ聞エルノハオカシイ。コノ家ノ庭ニモ稀ニ蟋蟀ガ鳴クコトハアルガ、コノ寢室ノベッドニ寢テイテ聞エルノハオカシイ。何処カラカ部屋ノ中ニ蟋蟀ガ紛レ込ひそンダノダロウカ。

予ハ凶ラズモ幼年ノ頃ヲ思イ起シタ。割下水ノ家ニ住ンデイタ時分、六ツカ七ツノ頃ダツタゞロウ、乳母ニ抱カレテ寢床ニ横ニナツテイルト、蟋蟀ガヨク縁側ノ外デ鳴イテイタ。庭ノ敷石ノ蔭カ縁ノ下カ何処カニ潜ひそンデイテ、アザヤカナ声デ鳴キ立テル。鈴虫ヤ松虫ノヨウニ沢山ハ集ツテ来ナイ、常ニ必ズ一匹デアル。ガ、ソノ一匹ガ実ニハツキリト、耳ノ奥ヘ沁ミ入ルヨウニ鳴ク。スルト乳母ガ、

「ホラ、督チャン、モウ秋デゴザイマスヨ、蟋蟀ガ鳴イテオリマスヨ」
ト、ソウ云ツタモノデアツタ。

「ホラ、アノ声ヲ聞イテルト、『肩刺セ裾刺セ、肩刺セ裾刺セ』ト云ツテルヨウニ聞エル
 デゴザイマシヨ、モウアノ声ガ聞エ出シタラ秋ナンデゴザイマスヨ」

ソウ云ワレルト、氣ノセイカ寢間着ノ白地ノ単衣ひしえノ筒袖ヲ肌寒イ風ガ冷エノト通り抜
 ケルヨウナ氣ガシタ。予ハ糊ノ硬こわイゴワくシタ単衣ヲ着セラレルノガ嫌イデアツタガ、
 寢間着ニハイツモ甘ツタルイ腐リカ、ツタヨウナ糊ノ匂イガシタ。ソノ匂イト蟋蟀ノ鳴キ
 声ト秋ノ朝ノ肌ザワリトガ、予ノオボロゲナ遠イ記憶ニハ一ツニナツテ残ツテイル。ソシ
 テ七十七歳ノ今デモ明ケ方ニアノピイピイト云ウ蟋蟀ノ声ヲ思イ出スト、アノ糊ノ匂イ、
 アノ乳母ノ物ノ云イ振り、アノゴワくシタ寢間着ノ肌ザワリガ蘇よみがえツテ来ル。半バ夢ノ中
 デ自分ガ今モ割下水ノ家ニイルヨウニ感ジ、寢床ノ中デ乳母ニ抱カレテイルヨウニ感ジル。
 ガ、今朝ハ、ダンく意識ガハッキリシテ来ルニ従イ、ソノピイピイト云ウ声ガ、現ニ佐
 々木看護婦トベツト並ベテイルコノ部屋ノ中デ聞エテイルノニ違イナイコトニ心ヅク。
 ソレニシテモ不思議デアル。コノ室内デ蟋蟀ガ鳴ク筈ガナイ。窓モドアモ締マツテイル
 ノデ、外カラ聞エテ来ル訳モナイ。ケレド確ニピイピイト鳴イテイル。

「オヤ」

ト思ツテ、予ハモウ一遍耳ヲ澄マス。ア、ソウカ、ソウダツタノカト、漸ク悟ル。何度モ

何度モ聞キ直シテミル。ソウダ、確ニコレダ、コレダツタノダ。

予ガ蟋蟀ト聞イタノハ蟋蟀デハナク、予自身ノ呼吸音ダツタノデアル。今朝アタリハ空氣ガ乾燥シ、老人ノ喉ガカラ／＼ニ干涸ビ、風邪ヒキ加減ニナツテイルセイデ、呼吸ガ喉ヲ入ツタリ出タリスル度毎ニパイパイト云ウ音ヲ発スル。喉デスルノカ、鼻ノ奥デスルノカ、何処デスルノカハツキリ分ラナイガ、何処カソノ辺ヲ通り過ギル時ニパイパイト鳴ルノラシイ。ソレガ自分ノ喉ガ鳴ツテイルノダトハ思エナイデ、自分ノ体以外ノトコロカラ鳴ツテ来ルヨウニ聞エル。アンナパイパイシタ可愛イ声ガ自分ノ体カラ出テイルトハ思エズ、ドウシテモ虫ガ鳴イテイルヨウニ聞エル。ダガ試ミニ息ヲ吸ツタリ吐イタリシテミルト、ヤツパリ間違イナクパイパイト鳴ル。面白クナツテ何度モ試シテミル。息ヲ強クスルト音モ強クナリ、マルデ笛デモ吹イテイルヨウニパイパイト鳴ル。

「才眼覚メデイラツシャイマスカ」

ト、佐々木ガ上半身ヲ起シタ。

「君、コノ音ガ何ダカ分ルカネ」

ト、予ハ又喉ヲ鳴ラシテミセタ。

「旦那様ノ呼吸ノ音デゴザイマシヨ」

「へエ、君ハ知ツテタノカネ」

「知ツトリマスワ、毎朝聞イテオリマスモノ」

「へエ、毎朝コンナ音ヲサセテタノカネ」

「旦那様ハ御自分デアンナ音ヲサセナガラ、御存知ナカツタンデゴザイマスカ」

「イヤ、コノ間カラ朝ニナルト聞エテタヨウナ氣ガスルケレド、寝惚ケテタンデ蟋蟀ガ鳴クンダト思ツテタンダ」

「蟋蟀ジャゴザイマセン、旦那様ノ喉カラ出ルンデゴザイマスヨ。旦那様ニ限りマセン、才歳ヲ召スト誰方モ喉ガ干涸ビテ、息ヲナサル度ニ笛ノヨウナ音ガ出ルンデゴザイマスネ。御老人ニハヨクアルコトデゴザイマス」

「ジャ、君ハ前カラ知ツテタノカ」

「ハア、近頃ハ毎朝伺ツテオリマシタ、パイパイツテ、才可愛ラシイオ声デ」

「婆サンニモコノ声ヲ聞カシテヤロウ」

「知ツテラツシヤイマスヨ、ソナナコト」

「颯子ガ聞イタラ笑ウダロウナ」

「若奥様ダツテ御存知ナイコトガアルモンデスカ」

五日。今曉母ノ夢ヲ見ル。親不孝ノ予ニシテハ珍シイコトデアル。多分昨日ノ明ケ方ノ蟋蟀ノ夢ヤ乳母ノ夢ガ跡ヲ引イタノダト思ウ。夢ノ中ニ出テ来タ母ハ、予ノ記憶ニアル最モ美シイ最モ若イ時ノ姿ヲシテイタ。何処ト云ウコトハ明カテナイガ、多分割下水時代ノ彼女ニ違イナイ。外出ノ時ニイツモ着テイタ鼠小紋ニ黒縮緬ノ羽織ヲ着テイタ。コレカラ何処へ出カケヨウトスルノカ、何処ノ部屋ヲ歩イテイルノカヨク分ラナイ。帯ノ間カラ蓆入レト煙管ノ袋ヲ取り出シテ一服吸ツタ様子デアルカラ、茶ノ間ニ坐ツテイタヨウデモアルガ、イツノ間ニカ門外へ出タラシク、素足ニ吾妻下駄ヲ穿イテ歩イテイル。髪ハ銀杏返シ、珊瑚ノ根掛ねかけ、同ジ珊瑚ノ一ツ玉ヲ挿シ、蝶貝ちりばヲ鏤べつこうメタ鼈べつこう甲ノ櫛ヲサシテイル。髪ノ形ガソソナニ委シク見エタノニ顔ハドウモハツキリ見エナイ。昔ノ人デ、母ハ身ノ丈ガ低ク、五尺ソコ〜ダツタノデ、頭バカリ見エタノカモ知レナイ。ソレデモ母ニ違イナイコトハ分ツテイタ。残念ナコトニ予ノ方ヲ見テモクレナカッタシ、口ヲ利イテモクレナカッタ。予モ亦話シカケナカッタ。話シカケレバ叱ラレソウナ氣ガシタノデ黙ツテイタノカモ知レナイ。横網ニ親戚ノ家ガアルノデ、ソコへ行ク途中ナンダロウト思ツタ。ホンノ一分間グライデ、ソレカラアトハ朦朧もうろうトナツテシマッタ。

眼覚メタ後モ、予ハ反^{はんすう}芻スルヨウニ夢ノ中ノ母ノ姿ヲ思イ出シテイタ。明治ノ中期、二
十七八年頃ノ或ル天氣ノイ、日ニ、母ガ我が家ノ門前ヲ歩イテ行キ、幼童ノ予ヲ往來^て見
カケタコトガアルノカモ知レナイ。ソシテソウ云ウ或ル一日ノ印象ガ、コ、ニ蘇ツタノカ
モ知レナイ。ダガオカシイノハ、母ダケガ若キ日ノ姿ヲシテイテ、予ハ現在ノ老人ノマ、
デアル。予ハ母ヨリモ身ノ丈ガ高く、母ヲ眼下ニ見オロシテイル。ソレデイテ矢張自分ヲ
幼童ダト思イ、母ヲ母ダト思ツテイル。ソシテ時ハ明治二十七八年頃ノ割下水ダト思ツテ
イル。コンナトコロガ夢ナノカモ知レナイ。

母ハ自分ノ悴ニ浄吉ト云ウ孫ガ生レタコトハ知ツテイタ。シカシ母ハ浄吉ガ五歳ノ時、昭
和三年ニ死ンダノデ、孫ノトコロヘ嫁ニ來タ颯子ノコトハ知ル訳モナイ。颯子ト浄吉トノ
結婚ヲ、予ノ妻^てサエアンナニ激シク反対シタノデアルカラ、アノ時分マデ母ガ長生キシ
テイタラ、ドンナニ反対シタコトデアロウ。恐ラク二人ノ結婚ハ成立シナカッタニ違イナ
イ。イヤ始メカラ、ダンサー上リトノ結婚ナンテ考エラレモシナカッタ筈ダ。ソレガ成立
シタバカリデナク、母ノ悴^てアル予ガ孫ノ嫁ノ魅力ニ溺レ、彼女ニベッティングヲ許シテ
貰イ、ソノ代償ニ三百萬圓ヲ投ジテ猫眼石ヲ買ツテヤルナンテ事件ガアツタラ、母ハ驚イ
テ氣絶スルダロウ。萬一父ガ生キテイタラ、予モ浄吉モ勘当サレルニ決ツテイル。イヤ、

ソレヨリモ、颯子ノ容貌風姿ヲ見タラ母ハ何ト思ウダロウ。

母ハ若イ時美人ト云ワレタ。予モ美人ト云ワレタ時代ノ彼女ノ姿ヲ記憶シテイル。予ガ十五六歳ニナルマデハ、ナオ彼女ハ昔ノ倂ヲ存シテイタ。ソノ倂ヲ心ニ浮カベテ、今ノ颯子ト比ベテ見ルト、実ニ何ト云ウ相違カ。颯子モ世間カラ美人ト云ワレテイル。浄吉ガ颯子ヲ妻ニシタ重ナ理由モソコニアツタ。ダガコノ二人ノ美人ノ間、明治二十七年ト昭和三十五年トノ間ニ、日本人ノ体格ニ何ト云ウ隔タリガ生ジタコトカ。母モ美シイ足ヲシテイタ。シカシ颯子ノ足ヲ見ルト、ソノ美シサガ全ク違ウ。殆ド同ジ種類ノ人間ノ足、同ジ日本人ノ女ノ足トハ思ワレナイ。母ノ足ハ予ノ掌ノ上ニ載ルクライニ小サク可愛イカツタ。ソシテソノ足ヲ畳表ノ下駄ノ上ニ載セテ、極端ナ内股うちまたデ歩イタ。(ソウ云エバ夢ノ中ノ母ハ黒縮緬ノ羽織ヲ着ナガラ足ダケハ足袋ヲ穿イテイナカツタ。予ニコトサラニ素足ヲ見セルタメダツタロウカ)明治ノ女ハ美人ニ限ラズ、誰デモアンナ風ニ内股デ歩イタ。マルデ鷺鳥ガ歩クヨウナ歩キ方ダツタ。颯子ノ足ハ柳鰈やなぎがれいノヨウニ華奢デ細長イ。普通ノ日本人ノ靴ハ平ベツタクツテアタシノ足ニハ合ワナイト、颯子ハ自慢スル。反対ニ母ノ足ハ幅廣デアル。奈良ノ三月堂ノ不空ふくうけんじやく羅索らさく觀世音菩薩ノ足ヲ見ルト、予ハイツモ母ノ足ヲ思イ出ス。背ノ低サモ皆母ト同ジダツタ。五尺ニ足ラヌ女モ珍シクナカツタ。予モ明治生レデ

アルカラ背ガ低ク、五尺二寸アルカナシダガ、颯子ハ予ヨリモ一寸三分高ク、一六一センチ五ミリアル。

顔ノ化粧ノ方法モ昔ハ甚シク違ツテモイタシ、簡單デモアツタ。既婚ノ女、大概数工年十八九歳以上ハスベテ眉ヲ剃リ齒ヲ黒ク染メテイタ。明治モ中期以後ニナレバコノ習慣ハ次第ニ廢レタガ、予ノ幼少時代マデハソウデアツタ。齒ヲ染メル時ハ特有ナ鉄漿かねノ臭イガシタコトヲ予ハ今デモ覚エテイル。ソノ母ヲ今ノ颯子ガ見タラ何ト感ジルダロウ。髪ヲパーマネントニシ、耳ニイヤリングヲ下ゲ、唇ヲコーラル・ピンクダノパール・ピンクダノコーヒー・ブラウンダノニ塗り、眉まゆニ黛ずみ、まぶたニアイ・シヤドウヲ着ケ、フオールス・アイラツシユデ附ケ睫ヲ着ケ、ソレデモ足りナイデマスカラーデ睫ヲ長ク見セヨウトスル。晝間ハターク・ブラウンノ鉛筆デ、夜ハ墨ニアイ・シヤドウヲ交ゼテ眼張リヲスル。爪ノ化粧モコノ伝デ、詳細ニ書イタラソノ煩ニ堪エナイ。同ジ日本人ノ女ガ六十餘年ノ歲月ノ間ニ斯クモ變遷スルモノデアロウカ。思エバ予ハ随分長イ月日ヲ生キタモノヨ、数限りモナイ移リ變リヲ經驗シタモノヨト、自ラ驚カザルヲ得ナイ。母ハ明治十六年ニ生ンダ我ガ子ノ督助ガ、ナオモコノ世ニ生存シテイテ、コノ颯子ノヨウナ女、而モ彼女ノ義理ノ孫、彼女ノ孫ノ正妻デアル女——ニ浅マシキ魅力ヲ感ジ、彼女ニイジメラレルコトヲ樂シミ、自

分ノ妻、自分ノ子供達ヲ犠牲ニシテモ彼女ノ愛ヲ得ヨウトスルノヲ、何ト思ウデアロウカ。母ノ亡クナツタ昭和三年カラ数エテ三十三年後ニ、悴ガコノヨウナ狂人ニナリ、コノヨウナ嫁ガ我が家ニ入り込ムニ至ツタコトヲ、夢ニモ考エタゞロウカ。イヤ、予自身デスラ、コンナコトニナロウトハ思イモ寄ラナカッタ。

.....

十二日。.....午後四時頃、婆サント陸子^{くが}ガ這入ツテ来ル。陸子ヲコノ部屋デ見ルノハ久シ振デアル。七月十九日ニ予ノ拒絶ニ会ツテカラ、彼女ハスツカリ予ニ愛想ヲ盡カシテイタ。婆サンヤ経助ト輕井沢ヘ立ツ時モ、ワザトコ、ヘ寄ラナイデ上野駅デ落ち合ツタ。先日輕井沢デハ努メテ予ト顔ヲ合ワサナイヨウニシテイタ。ソレガ、婆サント連レ立ツテ這入ツテ来タノハ何カ仔細ガアルノデアル。

「コノ間ジユウハ子供達ガ長イコト御厄介ニナリマシテ」

「何カ用カネ」

予ハイキナリ、ズバリト聞イタ。

「イ、エ別ニ.....」

「ソウカイ、子供達モ大層元氣ラシカツタネ」

「有難ウゴザイマス、才蔭様デ今年モ大喜ビデ」

「不斷メツタニ見ナイセイカ、三人トモ見違エルホド大キクナツタネ」
 コ、デ婆サンガ口ヲ挟ンダ。

「ソレハソウト、陸子ガ面白イコトヲ聞イテ来マシタンデ、才爺チャンニモ才耳ニ入レテ置キタイト思イマシテネ」

「ア、ソウ」

又何カイヤナコトヲ云イニ来ヤガツタト思ツテイルト、

「才爺チャン油谷サンヲ覚エテラツシャルデシヨウ」

「ブラジルヘ行ツタ油谷ノコトカ」

「アノ油谷サンノ息子サンヲ御存知？ 浄吉ノ結婚ノ時父ノ代理ダト云ツテ御夫婦デ出席シテ下スツタ——」

「ソんなコト覚エテイルモンカ。ソレガドウシタンダ」

「アタシモ覚エテナインダケレド、銚田トハ仕事ノ関係カラ近頃懇意ニオナリニナツテ、時々才目ニカ、ルコトガアルンデスツテ」

「ダカラサ、ソレガドウシタト云ウノサ」

「イ、エネ、ソノ油谷サンが先週ノ日曜ニ御近所マデ参リマシタカラツテ、御夫婦デ鉢田ノトコロヘオ寄りニナツタンデスツテ。今考エルトアノ奥サン大層オシヤベリナ方ダツタカラ、ワザ／＼コレガ云イタクツテ寄ツタンジヤナイカツテ、陸子ハ云ウンデスガネ」

「コレトハ何サ」

「マア、コレカラ先ハ陸子ニオ聞キニナツテ下サイ」

安樂椅子ニ腰カケテイル予ノ面前ニ並ンデ立ツテイタ二人ハ、コ、デ「ドツコイシヨ」トソファニ腰ヲ据エタ。ソシテ、颯子ト四ツシカ違ワナイノニ、モウイ、加減中年婆サンニナツテイル陸子ガ、アトヲ引キ受ケテ続ケタ。油谷ノ嫁ノコトヲオシヤベリダナンテ云ウガ、彼女モオシヤベリデハ引ケヲ取ラナイ。

「コノ間、アタシ達ガ軽井沢カラ帰ツテ来タ明クル日ノ晩、先月ノ二十五日ノ晩ニ、後樂園ジムニ東洋フエザ―級タイトル・マツチガアツタデシヨウ？」

「ソナナコト知ルモンカ」

「マ、アツタンデスヨ。全日本バンタム一位ノ坂本春夫ガタイノバンタム一位ノシリノイ・ルクプラクリスヲノック・アウトシテ初代チャンピオンガ生レタアノ晩デスヨ、――」

ソノシリノイ・ルクプラクリスト云ウ名ヲ陸子ハ流暢ニペラ／＼ト云ツテ退ケタ。予ナシカニハ到底一度デハ覺エキレナイシ、一ト息ニハ云イ切レナイ。舌ヲ嚙ンデシマウ。流石オシヤベリハ違ツタモンダ。

「——油谷サン夫婦ハ少シ早メニ出カケテ行ツテ前座ノ試合カラ見テタンダソウデスガ、リングサイドノ奥サンノ右隣ノ席ガ二ツ、最初ハ空イテタンダソウデス。ト、タイトル・マツチガ始マロウトスル時大層スマートナ奥サンガ一人、片手ニベージュノハンドバッグヲ持ツテ、片手ニ自動車ノキーヲ振り廻シナガラ這入ツテ来テ隣ニ腰カケタンダソウデス。ソレヲ誰ダト思イマス？」

「……………」

「油谷サンノ奥サンハ結婚ノ時ニ颯チヤンニオ目ニカ、ツタキリナンデ、アレカラモウ七八年ニナル、ダカラ先^{さきさま}様ハアタシノ顔ナンカ忘レテラツシャルノモ無理ハナイ、アノ大勢ノ中デスカラ、アタシミタイナモン始メツカラ眼中ニオアリニナラナカツタロウ、ケレドアタシノ方ジャ決シテ忘レツコアリマセン、何シロアノ方ハ一度見タラ忘レラレナイ世ニモオ綺麗ナオ方デスシ、アノ時分ヨリ又一倍オ美シクナツテラツシャルンデスモノツテ、ソウ云ウンデス。デモ黙ツテイチャ悪イト思ツテ、卯木サンノ若奥様ジャイラツシヤイマ

センカツテ、声ヲカケヨウト思ツタラ、ソノ時モウ一人、知ラナイ男ノ方ガ割り込ンデ来テ颯チャンノ隣ニ掛ケタンダソウデス、ソシテオ知り合イト見エテ仲好ク颯チャント話シ出シタンデ、ツイ御挨拶ヲ申シソビレタト云ウンデス」

「……………」

「マアソレハイ、——イ、コトハアリマセンケレドモ、ソノ話ハオ婆チャンカラ仰ツシャツテ戴クトシテ、——」

「イ、コトナンカアルモンデスカ」
ト、コ、デ又婆サンガ口ヲ挟ンダ。

「ソレハオ婆チャンカラ仰ツシャツテ下サイ、アタシハ遠慮イタシマス。ソレヨリ油谷サ
ンノ奥サンガ何ヨリ先ニ眼ニ附イタノハ、颯チャンノ指ニ光ツテイタキヤツツ・アイダ
ト云ウンデス。チョウド自分ノ右隣ニイラシツタカラ、左ノ指ニ箆メテイラシツタノガハツ
キリ見エタ。奥サンノ見タトコロデハキヤツツ・アイト云ツタツテアンナ大キナ立派ナ石
ハ、ソナニザラニアルモンジヤナイ、恐ラク十五カラツト以上アルコトハ確カダト云ウ
ンデス。今マデ颯チャンガソナ石ヲ持ツテタノヲ、オ婆チャンモ見タコトハナイト仰ツ
シャイマスシ、アタシモ知りマセンケレドモ、イツアンナモノヲ買ツタンデゴザイマシヨ

ウネ」

「……………」

「ソウ云エバ岸サンガ総理大臣ダツタ時、佛印カ何処カデキヤツツ・アイヲ買ツテ問題ニナツタコトガアリマシタツケネ。新聞ニハアノ時ノ石ガ二百萬圓ト書イテマシタネ。佛印アタリハ寶石ノ値ガ安インデスカラ、佛印デ二百萬圓ダツタラ日本へ持ツテ来レバ倍以上ニナルデシヨウ。トスルト颯チャンノ石ダツテ餘程ノモノデシヨウネ」

「ソナモノヲ誰ガイツノ間ニ買ツテオヤリニナツタンデシヨウ」
ト、コゝデ又婆サンガ一言シタ。

「何シロアマリ立派ナ石デ凄ク光ルモンデスカラ、油谷サンノ奥サンモ目ヲ圓クシテ何度モジロく見タンデシヨウネ、ソレデ颯チャンモ氣ガ差シタト見エテハンドバッグカラレースノ手袋ヲ取り出シテ箆メタト云ウンデス、トコロガソレデ隠サレルドコロカレース越シニ却テ光ルノガ目立ツタ、ソレト云ウノガ、ソノ手袋ガ恐ラク佛蘭西製ノ手編ミノレースデ、而モ黒ノ手袋ナンデス、——黒ダト中ノ寶石ノ光ルノガ一層ヨク目立ツンデ、或ハ颯チャンハソノ効果ヲ考エテワザト箆メタノカモ知レマセン。ソナ細カイトコロマデ、ヨクマア觀察ナサイマシタワネツテ云ツタラ、ソリヤアタシノ右隣ニイテ左ノ手ニ箆メテ

ラツシャルンダカラ、イクラデモ觀察出来マシタ、アノ晩ハボクシングヨリアノレース越
シノ指ノ方ニ氣ヲ取ラレテ試合ヲ見損イマシタツテ、奥サンハ仰ツシャルンデス」

.....

4

十三日。昨日ノ続キ。

「ネエオ爺チャン、颯子ガソンナモノヲ持ツテタ筈ハアリマセンガ、……………」
婆サンノ追及ハコゝへ来テ俄ニ急デアル。

「……………」

「ネエ、イツ買ツテオヤリニナツタンデス」

「イツダツテイ、ジヤナイカ」

「イ、コトハアリマセンヨ、第一オ爺チャンニシタツテソ
ンナオ金ヲドウシテ持ツテラシ
ツタンデス、陸子ニハ出銭ガ多クツテ困ルツテ仰ツシヤツタ癖ニ」

「……………」

「出錢ト云ウノハソソナコトダツタンデスカ」

「ソソナコトサ」

婆サンモ陸子モ呆レテ言葉モ出ナイト云ウ顔付。

「颯子ニ出シテヤル金ハアツテモ陸子ニ出ス金ハナイツテコトサ」

コウ先ズ度胆ヲ抜イテヤツタガ、咄嗟ニ巧イ口実ガ浮カシダ。

「才婆チャンハ己ガ隠居所ヲ取り潰シテ建テ直スト云ツタラ、ソレニ反対シタジヤナイカ」

「エ、反対シマシタトモ。アナタミタイナ親不孝ナ料簡ニ誰ガ賛成スルモンデスカ」

「サレバサ、全生院様モ止観院様モ何ト云ウ孝行ナ嫁よめじよ女ダロウト、草葉ノ蔭テオ前サン

ノコトヲオ喜ビニナツテルダロウヨ。ソコデソノ用意ニ取ツテ置イタ金ガ浮イタ訳サ」

「浮イタニシタツテ何モ颯子ニアシモノヲ買ツテオヤリニナルコトハナイデシヨウ」

「イ、ジヤナイカ、ホカノ者ニ買ツテヤルンジヤナイ、大事ナ嫁ニ宝石ヲ買ツテヤルンダ、佛様ダツテイ、コトヲシテヤツタ、感心ナ悴せまダツテオ褒メニナルサ」

「建テ直シノ費用ナラソレダケツテコトハナイデシヨウ、マダ餘分ガアルデシヨウ」

「ア、アルトモサ、宝石ノ金ハソノ一部サ」

「ジャアソノ餘分ハ何ニナルノ」

「何ニシヨウト己ノ勝手ダ、餘計ナ干涉ハシテ貰イタクナイ」

「デモ何ニ才使イニナル才積リカ、参考ノタメニ伺ツテ置キタイノモンデスネ」

「サア、何カラ拵こしらエテヤロウカナ。庭ニプールガアツタライ、ナツテ云ツテタカラ、先ズプールヲ作ツテヤルカナ、ソウシタラドンナニ喜ブダロウナ」

婆サンハ何モ云ワナイ。黙ツテ眼ヲ圓クシテイル。

「プールツテソソナニ早く作レルンデシヨウカ、モウ秋ジャアリマセンカ」
ト、陸子ガ云ウ。

「コンクリートヲ乾カスマデニ時間ガカ、ルンデ、今カラ工事ヲ始メテモ完成スルノニ四カ月グライカ、ルソウダ。颯子ガスツカリ調べテ来タンダ」

「出来上ルト冬ニナリマスネ」

「ダカラ格別急グコトハナイ、ユツクリ取りカ、ツテ来年ノ三四月頃ニ完成スレバイ、ンダガ、チツトデモ早く完成サセテ喜ブ顔ガ見タインデネ」

コレデ陸子モ黙ツテシマウ。

「ソレニ颯子ハ普通ノ個人ノ家庭ニアルヨウナ狭インジャイヤダ、少クトモ縦二十メートル、幅十五六メートル欲シイ。テナイト得意ノシンクロナイズド・スウイミやングガ演リニ

クイ。一人デソレヲ演ツテ見セテ己ニ見セタイツテ云ウンダヨ。己ニソレヲ見セルノガ目的デプールヲ作ルヨウナモノナンダ」

「ソレデモソレハイ、コトデゴザイマスワネ、自分ノ家ニプールガ出来タラ経チヤンダツテ喜ブデシヨウシ、……………」

陸子ガ云ウト婆サンガ云ツタ。

「経助ノコトナンゾ考エテヤルヨウナマ、ジヤナインダカラネ、学校ノ宿題ダツテアルバイトノ学生ニ任セツキリナンダカラ。オ爺チヤンダツテソウナンダカラ、ウチノ子供ハ可哀ソウダヨ」

「ダケドプールガ出来タ以上ハ経チヤンダツテ飛ビ込ミマスヨ。辻堂ノ子供達モセイ／＼使ワシテ戴キマスワ」

「ソウダトモサ、イクラデモ這入りニ来ルガイ、」

飛ンダトコロデ敵ヲ取ラレル。マサカ経助ヤ辻堂ノ河童共ニ這入ルナト云ウ訳ニモ行カナイ。シカシ七月ハ下旬マデ学校ガアルシ、八月ニナレバ軽井沢へ追ッ拂ツテシマウ。問題ハ寧口春久デアル。

「トコロデプールヲ作ル費用ハドノクライカ、ルンデス」

当然コノ質問ガ来ルコトヲ覚悟シテイタノダツタガ、大婆サンモ小婆サンモツイ取り紛レテコノ大切ナ質問ヲスルコトヲ忘レテシマツタ。予ハホツトシタ。ソレバカリデハナイ、婆サント陸子ノ意図スルトコロハ、コンナ工合ニジワ／＼ト攻メ立テ、先ズキヤツツ・アイノ件ヲ白状サセテ予ヲグウノ音モ出ナイヨウニサセ、ソレカラ颯子ト春久トノ関係ニ言及スル積リダツタニ違イナイガ、ソウナルト事件ガ深刻過ギルノデ迂闊ナコトハ云イ出セズ、躊躇シテイルトコロヘ持つテ来テ予ノ高飛車ナ云イ方ガ尋常デナイタメニ、結局云イソビレテシマツタラシイ。シカシイズレハ問題ニセズニハ置カナイダロウガ。……十三日ハ大安デアル。夕刻カラ浄吉夫婦ハ友人ノ結婚式ニ出カケル。夫婦揃ツテ外出スルコトハ近頃珍シイ。浄吉ハタキシード、颯子ハ訪問着。九月ト云ツテモマダ暑イノデ洋装ニスレバイ、ノニ、ナゼカ颯子ハ和服デアル。コレモ近頃珍シイ。白ノ一ひとこし越縮緬ノ裾模様ニ凶案化シタ樹木ノ枝ヲ黒ノ濃淡デ現ワシ、周囲ヲ淡イブルーデ影ノヨウニ絵取ツタモノヲ着テイル。襪ニモブルーノ裏ガチラツイテイル。

「ドウ、才爺チャン、見テ戴キニ来マシタノヨ」

「ソツチヲ向イテ御覽、グルット一ト廻リ廻ツテ御覽」

帯ハ紹綴ろつづれノ袋帯。淡イコバルトニ少シ銀系ヲアシラツタ地色ニ、黄ガカツタ糸ト金系デ

乾山風ノ陶畫ヲ織リ出シタモノ。ヤ、小サイ目ニ締メテ、垂レヲ普通ヨリ長イ目ニ垂ラシ
 テイル。帯揚ゲハ紹ノ生地ニ白ト薄イピンクノ暈シぼか。帯締メハ金ト銀トヲ繩ノヨウニ撚よッ
 タモノ。指環ハ琅玕ノ翡翠。白ノビーズノハンドバッグノ小サイノヲ左手ニ抱エテイル。

「和服モタマニハ悪クナイナ。イヤリングヤネックレスヲシテナイトコロガ氣ガ利イテル
 ネ」

「オ爺チャンナカ〜分ルノネ」

颯子ノ後カラオ静ガ草履ノ箱ヲ持ツテ這入ツテ来、草履ヲ取り出シテ彼女ノ前ニ揃エル。
 スリッパヲ穿イテ来タ颯子ハ、ワザト予ノ眼ノ前デ草履ヲ穿イテ見セル。草履ハ銀ノ綴つテ
 三段ノ高サノモノ、鼻緒ノ裏ダケニピンクガ使ツテアル。草履ガ新調ナノデナカ〜、趾ノ
 股ニ喰イ込マナイ。オ静ガシャガンデ手伝イナガラ汗ヲ搔ク。ヤット穿ケテ一ト足ニタ足
 歩イテ見セル。彼女ハ足袋ヲ穿イタ時ニ踝くるぶしノ突起ガ目立タナイノガ自慢ナノデアル。多分
 ソノタメニ和服ヲ着、ソレヲ見セルベク予ノ面前ニ現ワレタノデアル。…………

十六日。コノトコロ毎日暑熱ガツゞク。九月モ中旬ダト云ウノニコノ暑サハ異常じょうじょうデアル。
 ソノセイカドウカ脚ガ非常ニ重ク且浮腫むくンデイル。浮腫ふしゅハ脛ヨリモ足ノ甲ガ一層甚ダシク、

趾ノ根モトニ近イ辺ヲ指テ押シテ見ルト、恐ロシイホド深ク凹ム。ソシテイツマデモ凹ミガ戻ラナイ。左足ノ第四趾ト第五趾ガ全ク麻痺シテイル。ソシテ裏側ガ葡萄ノ実ノヨウニ腫レ上ツテイル。重イノハ脹脛ヤ踝ノ上アタリモヒドイガ、足ノ裏ガ一番ヒドイ。何カ鉄板ノヨウナ重味ノアルモノガ足ノ裏へペツタリ貼り着イテイル感ジデアル。コレハ左足ダケデナク、左右両方デアル。歩クト両脚ノ脛ガ妙ナ工合ニ纏もつレ合ツテ歩ケナイヨウニナル。下駄ヲ穿コウトシテ縁側カラ下リル時、一遍ニスラ〜ト下駄ガ穿ケタコトハナイ。必ズヨロケテ沓脱石ニ足ヲ落シ、時ニハ地ベタヲ踏ミ、足ノ裏ヲ汚よごス。斯様ナ各種ノ傾向ハ前々カラアツタケレドモ最近特ニ顕著デアル。佐々木ガ心配シテ毎日予ヲ仰向ケニ臥カセ、膝ヲ交互ニ組ミ合ワサセテ脚氣ノ検査ヲシテイルガ、脚氣デモナイラシイ。

「杉田先生ニ来テ戴イテ綿密ニ調べテ戴カナケリヤ。心電図モ暫ク取りマセンカラ、取ツテ見ル必要ガゴザイマスネ。ドウモコノ浮腫ミ方ハ氣ニナリマス」ト云ツテイル。

今朝又一ツノ事件ガアツタ。佐々木ニ手ヲ曳カレテ庭ヲ散歩シテイルト、囿イノ中ノ犬舎ニ入レテアル筈ノコリコリガドウシタ間違イカ飛ビ出シテ来テ突然予ニ跳リカゝツタ。コリコリノ方デハ戯レル積リナノダガ、思イモカケヌモノガ飛ビ着イテ来タノデ予ハ驚イタ。マ

ルデ猛獸ガ現ワレタヨウナ氣ガシタ。抵抗スル隙モナク簡單ニ予ハ押し倒サレテ芝生ニ仰向ケニナツタ。大シテ痛クハナカツタガ、後頭部ヲ打ツタノガズシント腦ニ響イタ。起キ上ロウトシタガ直グニハ起キ上レズ、杖ヲ拾ツテ縋リナガラ立チ上ルマデニ数分ヲ要シタ。犬ハ予ヲ倒シテカラ次ニ佐々木ニ戯レカゝツタ。佐々木ガキヤアゝ云ウノヲ聞イテ、颯子ガネグリジエノマ、駈ケ付ケテ来、

「レスリー、コレ！」

ト、チョット叱ツテ睨ミツケルト、コリーハ忽チ従順ニナリ、颯子ノアトカラ尾ヲ振ツテ犬舎ノ方へ行ツテシマツタ。

「ドコモオ怪我ハゴザイマセンデシタカ」

立チ上ツタ予ノ浴衣ノ裾ヲ拂イナガラ佐々木ガ云ツタ。

「怪我ハナカツタガ、アンナ大キナモノニ飛ビ着カレルト、ヨボくノ老人ハドウニモナランネ」

「オ倒レニナツタノガ芝生ノ上ダツタノデ本当ニヨウゴザイマシタ」

予モ淨吉モ元来犬好きノ方ナノデ前ニモ犬ヲ飼ツタコトハアル。シカシエアデールダノダツチフンドダノスピッツダノ、主トシテ小柄ナ犬バカリ飼ツテイタ。大キナ犬ヲ飼ウヨウ

二ナツタノハ浄吉ガ嫁ヲ迎エテカラデアル。何デモ結婚後半年バカリ過ギテカラ、「ボルゾイ」ヲ飼ツテ見タイ」ト浄吉ガ云イ出シテ間モナク素晴ラシイノヲ一匹見付ケテ来タ。ソシテ訓練師ヲ雇ツテ毎日怠ラズ訓練シタ。食事ノ世話、入浴ノ世話、ブラツシングノ世話ナド手ガカ、ルコト夥シイノデ、婆サンカラ女中達マデ不平ガ絶エナカッタガ、何ト云ツテモ浄吉ガ実行サセタコトハ当時ノ日記ニ記シテアル。ガ、後カラ考エルト、ソレハ浄吉ノ意志デハナク、颯子ガ夫ニセビリツイタ結果ナノデアツタガ、最初ハソウト氣ガ付カナカッタ。二年後ニソノボルゾイハテンパーデ脳症ニ罹ツテ死ンダガ、今度ハ颯子ガ正体ヲ現ワシテボルゾイノ代リニグレイハウンドヲ飼ツテ見タイト自分カラ云イ出シ、犬屋ニ注文シ搜シテ来サセタ。彼女ハソノ犬ヲクーパート名付ケテ寵愛スルコト一方ナラズ、野村ニ運轉サセテクーパート相乗りデ街ヲ乗り廻シタリ、ソコヲ曳ツ張ツテ歩イタリシタノデ、若奥様ハ経助坊チャンヨリクーパーノ方ヲオ可愛ガリニナルンテ云ワレタモノダガ、ソノグレイハウンドハ老犬ヲ掴マサレタモノラシク、間モナクフライリアデ水ガ溜ツテ死ンダ。ソシテ三度目ニ求メタノガ今度ノコリーデアル。血統書ニ依ルトコノ犬ノ父ハロンドン生レデレスリート云ウ名ダツタノデ、ソノ仔モ同ジ名デ呼バレルコト二ナツタ。コレヲノコトモ当時ノ日記ニ委シク書イタ筈デアル。レスリーモ颯子ノ寵愛ヲ蒙ルコトク

パーニ劣ラナイノデアルガ、陸子アタリガ密カニ婆サンニ焚キツケタト見エテ、コリーノヨウナ大キナ犬ハ飼ワナイ方ガイ、ト云ウ意見ガ、二三年前カラ家庭内ニポツ／＼擡頭シ始メテイタ。

ソノ理由ハ外デモナイ。二三年前マデハオ爺チャンモマダ足腰ガイクラカ達者グツタカラ、大キナ犬ニ飛ビ着カレテモ心配ナコトハナカツタガ、今日デハ事情ガ違ウ。犬ドコロカ猫ニ飛ビ着カレタツテ呆氣あっけナクコケテシマウダロウ。ウチノ庭ダツテ芝生バカリデハナイ、少シハ坂道モアルシ段々ヤ飛石モアル。ソナトコロデ押し倒サレテ若シ打チドコロガ悪カツタラドソナコトニナルカ。現ニ誰々サンノ所ノ老人ハ、チヨツトシエパードガ足元ニ絡ミ着イタゞケデ転ンデ大怪我ヲシ、三カ月モ入院シテ未ダニギブスヲ箆メテイル。ダカラコリーハ止メルヨウニオ爺チャンカラ仰ツシヤツテヨ、アタシモソレトナク云ウンダケレド、アタシガ云ツタンジヤ颯子ハ聴イテクレナインデスカラト、婆サンハ訴エルノデアル。

「シカシアンナニ可愛ガツテルモノヲ、止セト云ウノモ可哀ソウダシ、……………」

「ソソナコトヲ仰ツシヤツテモ御自分ノ体ニハ代エラレマセンヨ」

「第一止サセルニシタツテ、アンナズウタイノモノヲドウ処分シタライ、ンダ」

「誰カ犬好きノ人デ貰イ手ガアリマスヨ、キット」

「仔犬ナラ兎ニ角、アンナニ大キクナツタノハ飼イニクイモンダゼ、ソレニ己ダツテレス
リーハ嫌イジャナインダ」

「才爺チャンハ颯子ニグツト睨マレルノガ恐インデシヨウ、今ニ大怪我ヲナスツテモイ、
ンデスカ」

「ジャア才前サンガ云ツテヤツタライ、ジャナイカ、ソレデ颯子ガ承知スルモンナラ己ハ
文句ヲ云ワナイカラ」

ダガ実ノトコロ、今トナツテハ婆サンモ云エナイノデアル。ソレデナクテモ「若奥様」ノ
権力ガ日ニ日ニ「御隠居様」ヲ凌ギツ、アルノニ、犬一匹ノ処置ノ問題ガ因ニナツテド
ン大喧嘩ニナルカモ知レナイ、ソレヲ思ウトウツカリ戦端ヲ開ク訳ニ行カナイ。

本当ノコトヲ云エバ、予モレスリーガ餘リ好きデハナイノデアル。ヨク考エルト、颯子ノ
手前好きヲ装ツテイルニ過ギナイノダト云ウコトニ、自分デモ氣ガ付クコトガアル。彼女
ガレスリート相乗リシナガラ出テ行ツタリスルノヲ見カケルト、何トナクイ、氣持ハシナ
イ。淨吉トノ相乗リナラ当然ノコトダシ、春久トデモ仕方ガナイト諦メルガ、犬デハ嫉妬
モ出来ナイダケニ腹立タシイ。ソノ癖コノ犬ハ顔立ガ貴族的デ、一種ノ「ブルナ」感ジガス

ル。黒人臭イ春久ナンカヨリ容貌秀麗ト云エルカモ知レナイ。颯子ハソレヲ自分ノ座席ノ隣ニスワラセ、ピツタリ体ヲ寄セ着ケテ乗ル。ソシテ首ツ玉ハ齧リ着キ、頬ヲ擦リ寄セテ走ラセル。アレデハ往来ノ人ガ見テモ氣ガ悪カロウ。

「外デハアンマリアンナ真似ハナサイマセン、且那ガ御覽ニナツテイラツシヤル時ニヨクアンナ真似ヲナサルンデス」

ト野村ハ云ウガ、ソウダトスレバ、コレモ予ヲ擲揄スル積リナノカモ知レナイ。

ソウ云エバ予ハ颯子ニ媚ビル氣持カラ、彼女ノ前デ心ニモナクレスリーニ優シイ言葉ヲカケテヤリ、困イノ外カラ菓子ヲ投ゲテヤツタコトガアツタ。スルト颯子ハ真顔ニナツテ予ヲ叱ツタ。

「何ナサルノヨオ爺チャン、勝手ニオ菓子ナンゾ遣ラナイデ頂戴。——ホレ御覽ナサイ、チャント訓練ガ行キ届イテルカラ、オ爺チャンノオ遣リニナツタモノナンゾ食ベヤシナイワ」

ソウ云ツテ彼女ハ自分ダケ困イノ中へ這入ツテ行ツテ、ワザトコレ見ヨガシニレスリーヲ愛撫シテ見セ、接吻デモシカネマジク頬擦リヲシテ、

「妬やケルデシヨ」

ト云ワンバカリニ、ニヤリト笑ツタコトガアツタノヲ思イ出ス。

彼女ノ喜ビヲ買ワンガタメニ負傷ヲシテモ惜シイトハ思ワナイ、ソノ負傷ガ原因デ死ヲ招イタトシテモ、ムシロ望ムトコロデアル。ダガ、彼女ニ踏ミ殺サレルノデハナク、彼女ノ犬ニ踏ミ殺サレルノデハ遣リ切レナイ。……

午後二時杉田氏来診スル。今日デナクテモヨカツタノダガ、犬ノ事件ヲ早速佐々木ガ知ラセタノデアル。

「エライ目ニ才会イニナリマシタソウデ」

「ナアニ何デモアリマセンヨ」

「兎ニ角見セテ戴キマシヨウ」

臥カサレテ手ヤ足腰ヲ委シク検査サレル。肩ヤ肘ヤ膝頭ガ^{りゆうまち}儂麻質ノヨウニ痛ムノハ前カラノコトデレスリーノセイデハナイ。幸イニシテレスリーニハ何ノ被害モ受ケナカツタラシイ。杉田氏ハ心臟ヲ何度モ打診シテ見、背中ヲ調べ、深呼吸ヲサセ、携帯用ノ心電計デ心電図ヲ取り、

「格別御心配ナコトハナイト思イマスガ、帰りマシテカラ後程結果ヲ御報告申シマス」
ト云ツテ帰ツテ行ツタ。

夜ニナツテ報告ガアツタ。

「心電図ノ結果ハ矢張格別ノコトハアリマセン。御老人ノコトデスカラ多少ノ変化ハ已ムヲ得マセンガ、コノ前測ツタ時ト比ベテ異状ハアリマセン。ソレヨリ一度腎臓ノ検査ヲシテ見ル必要ガアリマスナ」ト云ウ。

二十四日。佐々木ガ今日ノ夕方カラ子供ニ会イニ行カシテクレト云ウ。先月行カシタキリナノデ許サナイ訳ニ行カナイ。明日午前中ニハ戻ルノデアルガ、生憎明日ハ日曜デアル。土曜カラ日曜ニカケテノ方ガ、落ちてイテ子供ニ会エルノデ佐々木ニハ都合ガイ、ノダガ、コチラハ颯子ガ何ト云ウカ、聞イテ見ル必要ガアル。婆サンハ七月以来佐々木ノ代理ハ御免蒙ムルト云ツテイル。

「イ、ジャナイノ、折角楽シミニシテルンダカラ佐々木サンヲ行カシテオヤンナサイヨ」

「君ハソレデイ、ノカネ」

「何デソナコトヲオ聞キニナルノ？」

「明日ハ日曜ダゼ」

「エ、分ツテルワ、ソレガ何ダツテ云ウノ？」

「君ハドウデモイ、ツテ云ウカモ知レナイケレド、浄吉ハコノトコロ旅行バカリシテタジヤナイカ」

「ソレガ何ナノ？」

「タマノ土曜日曜ニ家ニイルンダカラネ」

「ダカラ何ナノヨ」

「タマニハユツクリ自分ノ家デ女房ト一緒ニ朝寝坊ヲシタイダロウヨ」

「不良爺サンデモ時ニハ忤ニ孝行スル氣ガアルノネ」

「罪亡ボシニネ」

「餘計ナオ世話ダワ、浄吉ノ方ジヤ有難迷惑ダツテ云ウワ」

「ドウダカネ」

「イ、ワヨ、ソンナ心配ヲシテ下サラナイデモ。チャント今夜ハ佐々木サンノ代理ヲシテ上ゲルワ。才爺チャンハ早起キナンダカラ、ソレカラ彼ノ所へ行クワ」

「寝込ミニ蹠ン込ンデ眼ヲ覺マサセルノモ可哀ソウダナ」

「ナアニ寝ナイデ待ツテルデシヨウヨ」

「コイツハヤラレタ」

夜九時半入浴、十時就寝。例ニ依ツテ彼女ノタメニオ静ガ籐ノ寝椅子ヲ運ンデ来ル。

「又ソソナモノニ寝ルノカイ」

「何デモイ、カラオ爺チャンハ黙ツテオ休ミナサイ」

「籐椅子ナンゾジャ風邪ヲ引クヨ」

「風邪ヲ引カナイヨウニ毛布ヲ沢山持ツテ来サセルノ。オ静ガ萬事心得テルカラオ静ニ任シテ置ケバイ、ノ」

「風邪ヲ引カシチャ浄吉ニ済マナイカラナ。——イヤ、浄吉ニダケジャナイ」

「ウルサイワネ、又アダリンガ欲シイッテ顔ネ」

「二錠ジャ利カナイカモ知レナイ」

「嘘仰ツシャイ、先月モ二錠ガ直グ利イチャツテ、飲ンダト思ツタラモウ死ンダヨウニ寝テラシツタワ、口ヲアングリ開ケテ涎よだれヲ垂ラシテ」

「嚙ダラシノナイ顔ツキヲシテタゞロウナ」

「御想像ニ任セルワ、ダケドオ爺チャン、アタシト寝ル時ハナゼ入レ齒ヲオ外シはずニナラナイノ、イツモ外シテオ休ミニナルコトグライ知ツテルワヨ」

「夜寝ル時ハ外シテル方ガ楽ナンダガ、外スト餘リ老醜ヲ極メタ顔ニナルンデネ。婆サンヤ佐々木ニナラ見ラレテモイ、ケレド」

「アタシハ見タコトガナイト思ツテラッシャルノ」

「アルノカネ」

「去年瘰癧けいれんヲ起シタ時、半日モ昏睡シテラシツタジャナイノ」

「アノ時見タノカ」

「入レ齒ナンゾ、アツタツテナクツタツテ同ジコトダワ、隠スダケオカシイ」

「隠ス気ナンカナインダガ、人ニ不愉快ヲ与エタクナイト思ツテネ」

「外サナケレバ隠セルト思ウノガオカシイ」

「ジャア外ス。——ホラ、見テクレ、コンナ顔ダ。——」

予ハ寢台カラ立チ上ツテ彼女ノ前ニ行キ、面ト向ツテ先ズ顎あごつき附ノ総入レ齒ヲ上下共ニ外

シ、ナイト・テーブルノ入レ齒ノ箱ノ中ニ入レタ。ソシテワザト上下ノ齒齦はぐきヲ強ク噛ミ合

ワセ、顔ノ寸法ヲ出来ルダケ縮メテ見セタ。鼻ガペシャンコニナツテ唇ノ上ニブラ下ツタ。

チンパンジーデモコノ顔ニ比レバ優シダ。予ハ上下ノ齒齦ヲ何度モパク／＼ト離シタリ

合ワシタリシテ黄色イ舌ヲ口腔デベロ／＼サセ、思イキリグロナザマヲシテ見セタ。颯子

ハジツトソノ顔ヲ見ツメテイタガ、ナイト・テーブルノ抽斗カラ手鏡ヲ出シテソレヲ予ニ突キ付ケテ云ツタ。

「ソナ顔、アタシニ見セタツテ何デモナイワ、ソレヨリ自分デ自分ノ顔ヲヨク見タコトガオアリニナルノ？ ナケレバ見セテ上ゲマシヨウ。——ホラ、コンナ顔ヨ」
ソウ云ツテ予ノ顔ノ前ニ鏡ヲ支エタ。

「ドウ？ コノ顔ハ？」

「何トモ云エナイ老醜ナ顔ダ」

予ハ鏡ノ中ノ顔ヲ見テカラ、次ニ颯子ノ容姿ヲ見ル。ドウシテモコレラノ二ツガ同ジ種類ノ生物ノモノトハ信ジラレナイ。鏡ノ中ノ顔ヲ醜惡ト思エバ思ウホド、イヨ／＼颯子ト云ウ生物ガ限リモナク優秀ニ見エル。予ハ鏡ノ中ノ顔ガモツト醜惡デアツテクレタラ、颯子ガ尚コノ上ニモ優秀ニ見エタゞロウニト残念ニ思ウ。

「サア寝マシヨウヨオ爺チャン、早くソツチへ行ツテ頂戴」

「アダリンヲ持ツテ来テ貰イタイナ」

予ハ予ノ寢台へ戻リナガラ云ツタ。

「今夜モオ休ミニナレナイノ？」

「君ト一緒ダトイツモ興奮サセラレル」

「アンナ顔ヲ見テ興奮スルコトハナイデシヨウ」

「アノ顔ヲ見タ上デ君ノ顔ヲ見ルト、溜ラナク興奮スル。コノ心理ハ君ニハ分ルマイ」

「分ラナイワネ」

「ツマリ、僕ガ醜惡デアレバアルダケ、君ガ途方モナク美シク見エルツテコトサ」

予ノ言葉ヲ上ノ空デ聞イテ彼女ハアダリンヲ取りニ行ツタ。ソシテアメリカ煙草ノクール
ヲ一本指ニ挟ンデ戻ツテ来タ。

「サ、口ヲアーント開イテ。習慣ニナルトイケナイカラ今夜モ二錠ヨ」

「口移シニシテクレナイカナ」

「ソノ顔ヲ考エテモノヲ仰ツシヤイ」

ソレデモ手デ摘マンデ入レテクレル。

「ヘエ、君ハイツカラ煙草ヲ吸ウンダ」

「近頃トキ／＼二階デ内證デ吸ツテルノ」

手ノ中デライターガ光ル。

「吸イタクモナイケド、コレモアクセサリーノ一種ネ。今夜ハ今ノ口直シ」

二十八日。……雨ノ日ハ手足ノ工合ノ悪サガ一層ヒドク、雨ガ降り出ス前ノ日アタリカラ豫感ガアルノダガ、今日ハ朝起キルトキカラ手ノ痺^{しび}レ加減モ脚ノ浮腫ミ加減モ甚ダシイ。雨デ庭ニハ出ラレナイガ、廊下ヲ散歩スルダケデモ容易デナイ。直グヨチノシテ倒レソウニナルノデ、縁側カラ落ちヤシナイカト心配デアル。手ノ痺レハ肘カラ肩ノ辺ニマデ及ビ、コノマ、半身不随ニナリハシナイカト思ウ。夕刻、六時頃カラ手ノ冷エ方ガ一層激シクナル。マルデ氷ノ中ヘ漬ケタヨウニ無感覺ニナツテイル。イヤ、無感覺ト云ツタケレドモ、冷エ方モコレホドニナルト、痛ミト似タモノヲ覚エル。ソノ癖他人ガ触ルトツメタクナイ、普通ノ温カイ手ヲシテイルト云ウ。当人ダケガ耐工難クツメタク感じルノデアアル。前ニモ度々コンナツメタサノ経験ヲシタコトガアルガ、ソシテ大体真冬ノ寒中ニソウナルコトガ多イノダガ、必ズシモ冬トハ限ラナイ。デモ今日ノヨウニ、九月中ニコンナコトガアルノモ珍シイ。前ノ経験ニ従エバ、コウ冷エル時ハ大キナタオルヲ熱湯ニ浸シテ手ノ先カラ腕全体ヲ包ミ、又ソノ上カラ厚地ノ本ネルデ包ミ、又ソノ上ニ白金懷炉ヲ二箇所グライ当テル。ソレデモ十分間グライデ冷エテシマウノデ、枕元ニ熱湯ヲ運ンデ

置イテタオルヲ熱シ直シテハ包ム。ソウ云ウ処置ヲ五六遍繰リ返ス。湯ガサメルノデ藥罐ニ入レタ熱湯ヲ絶エズ運び入レテ洗面器ニ注グ。今日モコノ方法ヲ繰リ返シテ漸クイクラカ冷エ込ミガ減ジル。

5

二十九日。昨夜ヤ、長時間湯ニ漬カツタ才蔭^{やわ}デ手ノ痛ミ少シ和ギ安眠スルコトヲ得タ。ガ、明ケ方眼ガ覺メテ見ルト又痛ミ出シテイルノニ心ツク。雨ハ止ンデ空ハ綺麗ニ晴レ上ツテイル。体ガ丈夫デサエアレバコンナ秋日和ノ日ハドンナニ爽快デアロウ、予モ四五年前マデハソノ爽快味ヲ満喫シテイタノニト思ウト、クヤシクモ忌マ^くシイ。ドルシン^{三錠}服用。

午前十時血壓ヲ測ル。上一〇五、下五八ニ降下。佐々木ニス、メラレテクラツカ^{二個}ニクラフトチーズ少量ヲ添エテ食ベ、紅茶一杯飲ム。ソシテ約二十分後モ一度測ツテ見ル。上一五八、下九二ニ上ツテイル。短時間内ニ血壓ノ變動ガカヨウニ激シイノハヨロシクナイ。

「ソナニ詰メテ書キ物ヲナサラナイ方ガヨクハゴザイマセンカ、又痛ミ出スト心配デゴザイマス」

予ガ日記ヲツケテイルノヲ見テ佐々木ガ云ウ。日記ノ内容ヲ読マセハシナイガ、コウ頻繁ニ看護婦ノ必要ガ起ルト、佐々木ニハ或ル程度察知サレテモ仕方ガナイ。今ニ墨グライハ磨ツテ貰ウヨウニナルカモ知レナイ。

「少シハ痛クツテモコンナコトヲシテイル方ガ氣ガ紛レルヨ、痛クテ溜ラナクナツタラ止メル、今ノウチハ仕事シテイル方ガイ、アツチへ行ツテ、クレ給エ」

午後一時ヨリ午睡、一時間ホドトロくトスル。覺メテ見タラ汗ヲビツシヨリ搔イテイル。「コレデハ風邪ヲオ引キニナリマス」

佐々木ガ又這入ツテ来テ汗デ濡レテイルガ、ゼノ肌着ヲ着カエサセル。額モ頸ノ周リモ氣味悪クベトくニナツテイル。

「ドルシンモイ、ガ、コウ汗ヲ搔イチャ遣り切レナイ、何カ外ノ藥ハナイカナ」
午後五時杉田氏来診。藥ガ切レタセイカ又激痛ガ始マル。

「ドルシンハ汗ガ出テイヤダツテ仰ツシャルンデス」
佐々木ガ杉田氏ニ訴エテイル。

「困リマシタナ、ドウモ。タビ／＼申シ上ゲル通り、コノオ痛ミハ腦中枢カラノ原因ガ二分、他ノ六七分ハ頸椎ノ生理的變化ニ依ル神經痛ト云ウコトニ、レントゲン検査ノ結果診斷ガツイテオリマス。コレヲ直スニハギプスベツドカ牽引法デ神經ノ壓迫ヲ取り除クヨリ外ハナインデスガ、ソレニハ三四カ月ノ御辛抱ガ必要ナンデス。シカシ御老人ノコトデスカラソノ御辛抱ガ辛イト仰ツシャルノモ無理ハアリマセン。デスガソウナルト藥デ一時ヲ糊塗ナサルヨリ方法ハゴザイマセン。藥ハイロ／＼ゴザイマスカラ、ドルシンモオイヤ、ノブロンモオイヤデシタラ、取り敢エズパロチンノ注射デモシテ見マシヨウ、一時ノ苦痛ハ凌ゲルト存ジマス」

注射ノ結果ヤ、輕快ニ赴ク。……………

十月一日。引キ続キ手ノ痛ミ去ラズ、痛ミハ小指ト薬指トガ最モ激シク、親指ノ方へ行クホド輕カツタノデアルガ、漸次五本ノ指全体ニ及ビツ、アル。掌ダケデナク、手頸ノ方ニカケテ、小指ニツゞク尺骨ノ茎状突起、及ビ橈骨ノ突起マデ痛ミ、手頸ヲグルリト廻ソウトスルト殊ニ痛ンデ巧ク廻ラナイ。麻痺ハ手首ガ最モヒドク、手ノ廻ラナイ感じモ何処マデガ麻痺デ何処マデガ痛ミト云ツテイ、カ區別ガツカナイ。午後ト夜間トパロチンヲ二回

注射スル。……………

二日。痛ミ止マズ、佐々木ガ杉田氏ト相談シテザルソブロカノンヲ注射。……………

四日。ノブロンノ注射ハイヤナノデ座薬ヲ試ミル、餘リ効果ナシ。……………

九日。四日以後本日マデ殆ド痛ミ続ケナノデ日記ヲツケル元氣モナカッタ。寢室ニ横臥シタキリデ佐々木ガ毎日附キ、リデ看護シテイタ。今日ハソレデモヤ、元氣ナノデ少シ書ク氣ニナル。過去五日間ニ実ニイロ／＼ノ薬ヲ打ツタリ飲ンダリシタ。ピラビタール、イルガピリン、又シテモパロチン、イルガピリン座薬、ドリデン、プロバリン、ノクターン等々、服用シタ様々ノ薬ノ名ヲ佐々木ニ教エテ貰ツタガ、マダコノ外ニモアツタカ知レナイ。トテモ一度デハ覚エキレナイ。ドリデントプロバリントノクターントハ鎮痙劑デハナク睡眠劑デアル。アンナニ寝ツキノヨカツタ予モ、コノトコロ痛苦ノタメニ寝ツカレズ、各種ノ睡眠劑ヲ用イテイル。婆サント浄吉ガトキ／＼見舞ニ来タ。

五日ノ午後、最モ痛ミノ激シカッタ日デアツタ、婆サンガ始メテ病室ヲ覗イテ云ツタ。

「颯子ハ伺ツタモノカドウカ、ドウシタライ、デシヨウツテ云ツテルンデスガ、……………」

「伺ツタライ、ジャナイカ、コンナ時コソオ前サンノ顔ヲ御覽ニナツタラ、イクラカデモ痛ミヲオ忘レニナルヨツテ云ツテヤツタンデスガネ」

「馬鹿」

イキナリ予ハ怒鳴ツタ。ドウ云ウ訳デ怒鳴ル氣ニナツタノカ、予自身ニモ分ラナカツタ。コンナ情^{なざけ}ナイ姿ノトコロヲ彼女ニ見ラレテハ極マリガ悪い、ト、思ツタ途端ニコノ言葉ガ出タノデアルガ、正直ヲ云ウト来テ貰イタクナイコトモナカツタ。

「へー、颯子ガ伺ツテハ悪いンデスカ」

「颯子バカリジヤナイ、陸子^{くが}ナンゾ見舞ニ来ヤガツタラ承知シナイゾ」

「ソリヤ分ツテマスヨ、イクラ痛イト仰ツシャツテモ手ノコトダカラ心配ハナイ、オ前サンハ遠慮シナサイツテ、コナイダモ陸子ヲ追イ返シタンデス。陸子ハ泣イテマシタガネ」

「何ヲ泣クコトガアルンダ」

「五子^{いっ}モ出テ来ルツテ云ツテマシタカラ固ク止メテアルンデス。デスガ颯子ハイ、ジャアリマセンカ、ドウシテ颯子ヲオ嫌イニナルンデス」

「馬鹿々々々々、嫌イダナンテ誰ガ云ツタ、嫌イドコロカ好キ過ギルンダ、好キ過ギルカラコンナ時ニ会イタクナインダ」

「マア、ソウ云ウモンデゴザイマスカネエ、ソレハ氣ガツカナイコトヲ申シマシタガ、ソ
ンナニオ怒リニナラナイデ下サイ、怒ルノガ一番体ニ障リマスカラ」

婆サンハ赤ン坊ヲ宥^{なだ}メルヨウナ口調デ云ツテ、這ウ／＼ノ体デ出テ行ツテシマツタ。予ハ
婆サンニ突然急所ヲ突カレタノデ、明カニ狼狽シテ照レ隠シニ怒ツタノデアツタ。婆サン
ガ行ツテシマツテカラ一人デ静カニ考エテ見ルト、アンナニ怒ラナイデモヨカツタ、颯子
ガ婆サンカラ聞イテドンナ風ニ取ツタカト、シキリニ氣ニナツテ仕様ガナカツタ。予ノ腹
ノ中ヲ隅カラ隅マデ見抜イテイル彼女デアルカラ、マサカ悪ク取りハシマイト思ウガ、：

……

「ソウダ、ヤツパリ会ツタ方ガイ、カナ、二三日ウチニ機会ヲ窺^{うかが}ツテ何トカ巧ク持チカケ
テ見タラ、……………」

今日ノ午後、フト予ハ考エタ。手ハ又今夜アタリカラ痛ミ出スニ決マツテイル、——痛
ミ出スノヲ期待シテイルヨウデアルガ、——ソノ最モ痛イ時ヲ狙ツテ颯子ヲ呼び入レル。
「颯子々々、痛イヨ、痛イヨ、助ケテオクレヨウ！」ト、予ハ子供ノヨウニ泣キ喚^{わめ}ク。颯

子が呆レテ這入ツテ来ル。「コノ爺サン、本氣デコンナニ泣イテルノカ知ラ、何ヲタクラ
ンデルカ知レタモンジヤナイ」ト用心シナガラ、ウワベハ驚イタ風ヲシテ空ツトボケテ這
入ツテ来ル。「己ハ颯子ニダケ用ガアルンダ、外ノ人間ニナンカ用ハナインダ！」ト、予
ハ又喚イテ佐々木ヲ追ツ拂ツテシマウ。二人キリニナツタトコロデ、サテドンナ風ニ切り
出シタモンカナ。

「痛インダヨウ、助ケテオクレヨウ！」

「ハイ、ハイ、才爺チャン、アタシニドウシロツテ仰ツシヤルノヨ、何デモスルカラ仰ツ
シヤツテヨ」

ト、ソウ来テクレ、バ締メタモンダガ、迂闊ニソウハ云イソウモナイ。ソコロ何トカ口説
キ落ス法ハナイカナ。

「接吻シテクレ、バ痛イノヲ忘レルヨウ」

「足ナンカジヤ駄目ダヨウ」

「ネツキングデモ駄目ダヨウ」

「ホントノ接吻デナクツチャイヤダヨウ」

コンナ工合ニ散々駄々ヲ捏ネテ泣キ声ヲ立テ、悲鳴ヲ上ゲテ見タラドウカ。サシモノ彼女

モ仕方ナク折レテ来ヤシナイカ。二三日ウチニ一ツ実行シテ見ルカナ。「最モ痛イ時ヲ狙ツテ」ト云ツタガ、本当ニ痛イ時デナクテモイ、痛イ振りヲシテヤレバイ、タゞコノ髯ダケハ剃ツテ置キタイナ。四五日剃ツテイナイノデ顔ジユウ髯ダラケニナツテイル。コノ方ガ病人臭クテ却テ効果的ナンダガ、接吻ノ場合ヲ考エルト、コンナニ髯ボウくトシテイタンジャ都合ガ悪イ。入レ齒ハ矢張外シテ置コウ。ソシテ口中ハ目立タヌヨウニ清潔ニシテ置コウ。……………

ナンカント云ツテルウチニ、今日モ夕方カラ痛ミ出シタ。モウ何モ書ケナイ。……………筆ヲ放リ出シテ佐々木ヲ呼ブ。……………

十日。イルガピリン一筒〇・五CC注射。久シ振ニ眩暈ヲ覚ユ。天井ガグルく廻リ一本ノ柱ガ二三本ニ入り乱レテ見エル。五分間グライ続イテ平常ニ復スル。項部ニ重壓感ガアル。ルミナル〇・一ヲ三分服シテ眠ル。

十一日。苦痛昨日ト大差ナシ。本日ハノブロンノ座薬ヲ用イル。……………

十二日。ドルシン三錠服用。例ニ依ツテ汗ガビツシヨリ出ル。……

十三日。今朝ハ少シ楽デアル。コノ間ニ急イデ昨夜ノ出来事ヲ書イテ置コウ。

夜八時浄吉ガ病室ヲ覗イタ。彼モコノトコロ努メテ宵ノウチニ帰ルヨウニシテイル。

「ドウデスカ、少シハイ、方デスカ」

「イ、ドコロカ、マス、悪クナル一方ダ」

「ダツテ、髯ナンカ剃ツテサツパリシテルジャアリマセンカ」

予ハ実ノトコロ、手ガ痛ムノデ剃刀ヲ使ウノモ不自由ナンダガ、ソレヲ恠エテ今朝剃ツタバカリデアル。

「髯ヲ剃ルンダツテ容易ナコツチャナインダ。ソレデモアンマリ生ヤシテ置クト尚更病人ジミルンデネ」

「颯子ニ剃ラシタライ、ジャナイデスカ」

浄吉ノ奴、ドウ云ウ積リデコンナコトヲ云ツタノカ。予ガ髯ヲ剃ツタノニ心ヅイテ、早くモ何カヲ察シタノカ。一体彼ハ家庭内デ颯子ガ安ツポク取り扱ワレルコトヲ好マナイ。ソレハ自分ノ女房ハ踊リ子上リダト云ウ負^ひケ目ガアルタメニ、自然ソウナツタノデアアルガ、

ソレガ一層「若奥様」ヲ増長サセル結果ニナツタ。尤モ彼女ヲソウサセタノニハ予ニモ責任ガナイコトハナイガ、浄吉ノ奴ハ亭主ノ癖ニ最初カラ彼女ニ一目置クヨウナ素振ヲ見セテイタ。二人キリノ時ハドウカ知ラナイガ、他人ノ前デハ殊更ソソナ風ニシテイタ。ソノ彼ガ、イクラ親父ノ髯ダカラト云ツテ、大事ナ女房ニ本氣デ剃ラセル氣ガアルンダロウカ。

「女ノ人ニコンナ所ヲ触さわラセルノハイヤダヨ」

予ハワザトソウ云ツテヤツタ。シカシ椅子ニ仰向ケニナツテ彼女ニ顔ヲ剃ツテ貰ツタラ、彼女ノアノ鼻ノ孔ガ奥ノ奥マデヨク見エルダロウナ、薄イ鼻ノ肉ガ紅ク透キ徹ツテ見エタリスルノハ悪クナイナト、ソソナコトモ考エタ。

「颯子ハ電気剃刀ヲ使ウノガ巧インデスヨ、僕モ病氣ノ時ニヤラシタコトガアルンデス」

「ヘエ、才前颯子ニソソナコトヲサセルノカ」

「サセマストモ、サセルノニ不思議ハナイジャアリマセンカ」

「颯子ガソソナコトヲ大人おとなシクサセラレテルトハ思ワナカツタ」

「髯剃リニ限ラズ、何デモイ、カラ颯子ヲ使ツテ下サイヨ、何デモサセマスヨ」

「ドウダカナ、才前己ニハソソナコトヲ云ウケレド、面ト向ツテ颯子ニソソナ命令ヲ下スカネ？ 何デモ親父ノ云ウ通りニシロツテ」

「ヨゴザンストモ、キツト申シツケトキマスヨ」……………

彼ガ彼女ニドンナコトヲドンナ風ニ云イツケタノカ知ラナイ、ソノ晩ノ十時過ギニ颯子がヒヨツコリ這入ツテ来タ。

「来テハイケナイツテ仰ツシヤツタケレド、浄吉ガ行ケツテ云ウカラ来タワ」

「浄吉ハドウシタンダ」

「今又何処カへ出テツタワ、チョット飲ンデ来ルツテ」

「浄吉ガコ、へ君ヲ連レテ来テ、僕ノ眼ノ前デ君ニ命令スルトコロヲ見タイト思ツタンダガナ」

「命令ナンカ出来ヤシナイワ、工合ガ悪イカラ逃ゲチャツタノヨ。——ダケド話ハ伺イマシタ、アンタナンカイタラ邪魔ダカラ何処カへ行ツテラツシヤイツテ、追イ出シタノヨ」

「ソレデモイ、ダガモウ一人邪魔ナ人間ガイル」

「ハイ、ハイ、分ツトリマス」

ソウ云ツテ佐々木モ早速氣ヲ利カシタ。

途端ニ合図シタミタイニ手ノ痛ミガ加ワツタ。尺骨ト橈骨ノ莖状突起カラ五本ノ指ノ尖端ヘカケテ手ガ一本ノ棒ノ塊ノヨウニ突ツ張り、掌ノ内側ト外側トガチリ／＼トコキザミニ

小サク細カク痛ミ出シタ。蟻走感ト云ウノニ似テイルガ、アンナ生ヤサシイモノデハナク、モット強ク激シイ痛ミデアル。ソシテチヨウド糠味噌ノ中へ突ツ込ンダヨウニ手ガツメタイ。ツメタクテ而モ痛イ。ツメタイ餘リ無感覺ニナツテイテ、ソレデイテ痛イ。コノ辺ノ氣持ハ当人デナケレバ分ラナイ。医者ニモドンナニ説明シテモ吞ミ込メナイラシイ。

「颯ちゃん！ 痛イヨウ！」

ト、覚エズ叫ビ声ガ出タ。ヤツパリコンナ声ハ本当ニ痛イノデナケレバ出ナイ。痛イ振りヲシタンデハ斯克ノ如ク真ニ迫ツタ声ハ出ナイ。第一彼女ヲ「颯ちゃん」ナンテ呼ンダコトハ一度モナイノニ、ソレガ自然ニ出タ。ソウ呼ベタコトガ予ニハ嬉シクツテ溜ラナカッタ。痛イナガラ嬉シカッタ。

「颯ちゃん、颯ちゃん、痛イヨウ！」

マルデ十三四ノ徒ツ子ノ声ニナツタ。ワザトデハナイ、ヒトリデニソンナ声ニナツタ。

「颯ちゃん、颯ちゃん、颯ちゃんタラヨウ！」

ソウ云ツテイルウチニ予ハワア〜ト泣キ出シタ。眼カラハダラシナク涙ガ流れ出シ、鼻カラハ水ツ洩ガ、口カラハ涎ガダラ〜ト流れ出シタ。ワア、ワア、ワア、——予ハ芝居ヲシテルンジヤナイ、「颯ちゃん」ト叫ンダ拍子ニ俄ニ自分ガ腕白盛りノ駄々子ニ返

ツテ止メドモナク泣キ喚キ出シ、制シヨウトシテモ制シキレナクナツタノデアル。ア、己ハ實際氣ガ狂^{ちが}ツタンジヤナイカナ、コレガ氣狂イト云ウモンジヤナイカナ？

「ワア、ワア、ワア」

氣ガ狂ツタラ狂ツタテイ、モウドウナツタツテ構ウモンカ、予ハソウ思ツタガ、困ツタコトニ、ソウ思ツタ瞬間ニ急ニハット自省心ガ湧キ、氣狂イニナルノガ恐クナツタ。ソシテソレカラバ明カニ芝居ニナリ、故意ニ駄々ツ子ノ真似ヲシ出シタ。

「颯チャン、颯チャン、ワア、ワア、ワア、——」

「オ止シナサイヨ、オ爺チャン」

サツキカラ少シ薄氣味悪ソウニ黙ツテジツト予ノ表情ヲ見ツメテイタ颯子ハ、偶然眼ト眼ガ打ツカリアツタラ、咄嗟ニ予ノ心ノ變化ヲ看テ取ツタラシイ。

「氣狂イノ真似ナンカシテルト今ニホントノ氣狂イニナルワヨ」

予ノ耳元ヘ口ヲ寄セテ、ヘンニ落チツイタ、冷笑ヲ含ンダ低イ声デ云ツタ。

「ソんな馬鹿々々シイ真似ガ出来ルト云ウノガ、モウ氣狂イニナリカケテル證拠ヨ」
声ノ調子ニ、頭カラ水ヲ浴ビセルヨウナ皮肉ナモノガアツタ。

「フ、ン、アタシニ何ヲサセヨウツテ仰ツシャルノヨ。ソんな泣キ声ヲ出スウチハ何モシ

タゲナイワヨ」

「ジャア泣クノヲ止メル」

予ハイツモノ予ニナツテ、ケロリトシテ云ツタ。

「当り前ヨ、アタシ強情ツ張りダカラ、ソナ芝居ヲサレルト尚更依怙地ニナルワ」

モウコレ以上クダ〜シク書クノハ止メル。接吻ニハ遂ニ逃ゲラレテシマツタ。口ト口ト合ワセナイデ、互ニ一センチホド離レテ、アーント口ヲ開ケサセテ、予ノ口ノ中へ唾液ヲ一滴ポタリト垂ラシ込ンデクレタゞケ。

「サ、コレデイ、デシヨ、コレデイヤナラ勝手ニナサイ」

「痛い、痛い、痛いコトハ本当ナンダヨ」

「コレデイクラカ直ツタ筈ヨ」

「痛い、痛い」

「又ソナ声ヲ出ス！ アタシ彼方へ逃ゲテクカラ、一人デ勝手ニ泣イテラツシヤイ」

「ネエ颯子、コレカラ時々『颯チャン』ト呼バシテオクレヨ」

「馬鹿ラシイ」

「颯チャン」

「甘ツタレ坊主ノ嘘ツキ坊主、誰ガソノ手ニ載ルモンデスカ」
プリ／＼怒ツテ行ツテシマツタ。

十五日。…………今夜ハバルビタール○・三、プロムラール○・三服用。睡眠剤モ時々イロ／＼取り代エテ使ワナイト直グ利カナクナル。ルミナルハ予ニハサツパリ効果ガナイ。

十七日。杉田氏ノ意見デ東大梶浦内科ノ梶浦博士ニ来診ヲ乞ウタラト云ウコトニナリ、本日午後博士来ル。博士ニハ数年前脳溢血発作ノ時モ数回来診ヲ乞ウタコトガアリ顔見知りデアル。杉田氏ヨリソノ後ノ経過ニツキ詳細ナ説明ガアリ、頸椎ヤ腰椎ノレントゲン写真ヲ見テ貰ウ。博士曰ク、私ハ専門ガ違ウノデ左手ノ痛ミノ原因ガソコニアルコトニ確信ハ持テナイガ、恐ラク虎ノ門病院ノ整形外科ノ所見ガ正シイノダト思ウ、ツイテハ一応コノ写真ヲ大学ヘ持ツテ帰ツテ専門ノ人ニ見テ貰ツタ上デハツキリシタ御返事ヲシヨウ、シカシ専門デナイ私ガ見テモ、左手ノ神経ノ支配スルトコロニ変型ガアルコトハ確實デアルト思ワレル、故ニギプスモイヤ、ベッドモイヤ、牽引法モイヤ、ト云ウコトデアレバ、他ニ神

經ノ壓迫ヲ除去スル方法ハナイノデアルカラ、大体杉田氏ノ取ツタヨウナ一時的処置ニ依ルヨリ仕方ガアルマイ、藥ハ矢張パロチンノ注射ガ一番イ、デシヨウ、イルガピリンハ悪イ副作用ガアルカラ、コレハ止メテ下サイ、ナド、云ワレル。ソシテ頗ル綿密ナル診察ノ後、レントゲン写真ヲ借りテ歸ラレル。

十九日。博士ヨリ杉田氏ニ電話アリ、大学ノ整形科ノ所見モ虎ノ門病院ト全ク同一ナル由ヲ知ラセテ来ル。

夜八時半頃、ノックヲセズニ恐ルくドーアヲ開ケル者ガアル。

「誰？」

ト云ツテモ返事ガナイ。

「誰？」

二度云ウト、微カナ足音ガシテ寢間着ヲ着夕經助ガ這入ツテ来タ。

「何ダネ今時分、何シニ来タンダ」

「才爺チャン、手ガ痛イノ？」

「ソナナコト、子供ガ心配シナイデモイ、才前モウ寢ル時間ジャナイカ」

「僕寝テタンダヨ、内證^デソツト見ニ来タンダヨ」

「オ休ミ、オ休ミ、子供ガ餘計ナ……………」

コ、マデ云ツタト思ツタラ、ドウシタ加減カ声ガ鼻ノ奥^デ詰マツテ不意ニ涙ガバラ／＼ト落チタ。ツイ数日前コノ子ノ母ノ前^デ泣イタ涙トハ性質ノ違ツタ涙^デアル。アノ時ハワア／＼ト仰山ニ流レ出タガ、今日ノハポツリト、ホンノ一ト垂ラシ、眼ノ縁ニ落チタゞケ^デアル。予ハソノ涙ヲゴマカスタメニ慌テ、眼鏡ヲ取ツテカケタガ、忽チ眼鏡ガ曇ツタノ^デ一層工合ガ悪カツタ。モウ子供ニモ隠シヨウガナカツタ。

コノ間ノ涙ハ氣ガ狂^{ちが}ツタ證^カト思ツタガ、今日ノコノ涙ハ何ノ證^カトダロウ。コノ間ノ涙ハ豫期シナイ^デモナカツタ涙^ダガ、今日ノ涙ハ少シモ豫期シテイナカツタ涙^デアル。予ハ颯子ト同様ニ偽悪趣味ガアリ、男ノ癖ニ泣クナンテ見ツトモナイト思ツテイルノダガ、ソノ実案外涙脆クツテ、屁^デモナイコトニ訳モナク涙ガ出ル。ソレヲ又何トカシテ人ニ知ラレマイトスル。若イ時カラ女房ナドニ始終意地悪ヲ云イツゞケテ悪党ガツテイタガ、ソノ女房ニ泣カレルト、カラツキシ意気地ガナク負ケテシマウ。ダカラ一^ニ生懸命ニソノ泣キドコロヲ女房ノ奴ニ知ラセナイヨウニシテ来タ。ト云ウト、イカニモ善人臭ク聞エルガ、涙脆ク、情ニ脆イ癖ニ、本心ハヒネクレテ薄情極マル人間ナノ^デアル。ソウ云ウ男ナノ^デア

ルガ、イタイケナ子供ガ突然現レテ、コンナ優シイ言葉ヲカケラレルト、モウ溜ラナイ、拭イテモ拭イテモ眼鏡ガ濡レテ来ル。

「オ爺チャン、シツカリシトクレヨ、我慢シテレバ直キニナオルヨ」

予ハ涙ト泣キ声トヲ胡麻化スタメニ頭カラ掛布団ヲスツポリト被ツタ。佐々木ニ感ツカレタデアロウト思ウト、何ヨリ癩ダツタ。

「ア、直キナオルヨ、……早ク二階へ行ツテオ寝、……」

予ハソウ云ツタ積リダツタガ、「早ク二階へ」アタリカラハ妙ナ濁^{だみごえ}声ニナツテ何ヲ云ツテルノカ自分デモ分ラナカツタ。真ツ暗ナ布団ノ闇ノ中デ涙ガ堰^{せき}ヲ切ツタヨウニパラ／＼バラ／＼ト頬ヲ伝ワル。経助ノ奴、イツマデコ、ニイヤガルンダ、サツサト二階へ行ツチマヤガレ、糞忌マ／＼シイ！ト思ウ程ナオ涙ガ出ル。

三十分ホド経ツテ、スツカリ涙ガ乾キ、ツテカラ、予ハ布団カラ顔ヲ出シタ。モウ経助ハイナクナツテイタ。

「経助坊チャンハイジラシイコトヲ仰ツシヤイマスノネ」

ト、佐々木ガ云ツタ。

「オ小サク^{ちい}ツテイラツシヤルノニ、ヤツパリオ爺チャンノコトヲ心配ナスツテイラツシヤ

ルンデゴザイマスネ」

「子供ノ癪ニ變ニマセテイヤガツテ小生意氣テイヤナ奴ダ。己ハアンナノハ大嫌イダ」

「マア、ソナコトヲ仰ツシヤツテ」

「子供ハ病室へ寄越スナツテ云ツトイタノニ、勝手ニ這入ツテキヤガツテ。子供ハモツト子供ラシクスルモンダ」

イ、歳ヲシテコンナ子供ニタワイモナク泣カサレタコトニ、予ハ腹ガ立ツテ溜ラナカッタ。ヒヨツトスルト、コンナコトニ涙ガ出ルノハ、イクラ涙脆イニシテモ尋常デナイ、モウ死期ガ近イセイジヤナイノカナト云ウ氣ガスル。

.....

二十一日。本日佐々木カラ耳寄りノ話ヲ聞ク。佐々木ガ云ウノニ、自分ハ昔PQ病院ニ勤務シテイタコトガアツタガ、昨日午後一時間ノオ暇ヲ戴イテ齒ノ治療ノタメ品川マデ参リマシタラ、ソノ歯科医院デ偶然PQ病院時代ノ福島博士ト云ウ整形外科ノ先生ニ出会ツタ。ソシテ二十分バカリ待タサレテイル間ニ同博士ト談話ヲ交シタ。博士ガ君ハ今何シテイイルカト問ウノデ、コレ〜云ウオ邸デ御病人ノ看護ヲシテイマス答エタラ、ソナコトカ

ラ旦那様ノ手ノ才痛ミノコトガ話ニ出タ。何カヨイ治療法ハナイモノデシヨウカ、御老人
 デイラツシャルノデ、牽引法ソノ他手数ノカ、ル面倒ナ方法ハオイヤナンデスガ、ト云ツ
 タトコロ、ソレニハ方法ガナイコトハナイト、博士ガ云ワレタ。ソレハ危険ヲ伴ウ、頗ル
 ムズカシイ、技巧ヲ要スル方法ナノデ、普通ノ医師ニハ出来ナイシ、又シヨウトモシナイ
 ガ、僕ナラ出来ル、キツト巧クヤツテ見セル、ソノ病氣ハ多分病名ヲ頸肩腕症候群ト称ス
 ルモノト考エラレル、第六番目ノ頸椎ニ故障ガアルモノトスレバ、ソコノ交感神経ヲ遮断
 スルタメニ横突起ノ周リニキシロカインヲ注射スル、ソウスレバ手ノ痛ミハ直チニ除去サ
 レル、タゞ頸部ノ神経ハ頸ノ大動脈ノ後部ヲ通ツテイルノデ、ソノ動脈ニ触レナイヨウニ
 注射針ヲ神経ニ射シ込ムコトガ至難ナノデアル、萬一動脈ヲ傷ツケルヨウナコトガアツタ
 ラ大変デアル、動脈ノミナラス、頸部ニハ無数ノ毛細血管ガ走ツテイルカラ、モシ過ツテ
 ソレラノドレカ一ツノ血管内ニキシロカインガ這入ツタリスレバ、或ハ空氣ガ這入ツタ
 ケデモ、患者ハ忽チ呼吸困難ニ陥ル、左様ナ恐レガアル故ニ一般ノ医師ハコノ方法ヲ用イ
 ナイノデアルガ、シカシ私ハコノ冒険ヲ敢テシテ今日マデタビ／＼コノ治療法ヲ多数ノ患
 者ニ試ミ、一回ノ失敗モナク成功シテイルカラ、私ナラ大丈夫出来ルト云ウ確信ヲ持ツテ
 イル、ト、博士ハ云ワレタ。ソレハ幾日モ日数ガカ、ルノデスカト云ウト、イヤ、タツタ

一日、ソレモ一二分間デ済ム、尤モソノ前二一応レントゲン写真ヲ取ル必要ガアルガ、ソレトテモ二三十分アレバ足リル、神経ヲ遮断スルノデアルカラ、成功スレバ苦痛ハソノ場デ即座ニ消エ、僅カ半日ノ辛抱デスツカリ輕快ナ氣持ニナツテ歸ツテ行カレル、トソウ云ウ話ナンデスガ、一ト思イニヤツテ才貫イニナル氣ハゴザイマセンカ、ト云ウノデアアル。

「ソノ福島博士ト云ウ人ハ信用ノ置ケル人カネ」

「エ、勿論デゴザイマストモ、アノPQ病院ノ整形科ニ勤務シテイラツシヤル先生デスカラ間違イハゴザイマセン。東大出身ノ医学博士デ、私モ随分古クカラ存ジ上ゲテオリマス」

「大丈夫カナア本当ニ、モシヤリ損ツタラドンナコトニナルカナア」

「アノ先生ガア、仰ツシヤルナラ間違イハナイト存ジマスガ、何ナラモウ一度才目ニカ、ツテ委シク聞イテ参リマシヨウカ」

「實際ソンナコトガ出来ルンナラ、コンナ巧イ話ハナイガ」

取り敢エズ杉田氏ノ意見ヲ叩クト、「ヘーエ、ソンナ器用ナコトガ出来ルモンデスカナア、出来タラマルデかみわざ神業ミタイナモンデスナア」

ト、アブナガツテ餘リ賛成ハシテクレナイ。

二十二日。佐々木ガPQ病院へ行き、博士ニ会ツテ委シク聞イテ来テケレル。イロく専門的ナ説明ガアツタガ、詳細ナコトハ予ニハ分ラナイ。ガ、昨日モ申シ上ゲタヨウニ博士ハ今マデニ何十人トナクコノ患者ヲ扱イ、コノ方法デ簡単ニ成功シテイルノデ、ソナナ神業ナンテ云ワレル程ノムズカシイモノトハ思ツテイナイ、患者モ格別不安ガツタリ恐レタリシタ者ハナカツタ、皆気軽ニ注射シテ貰イ、直グ良クナツテ大喜ビデ帰ツテ行ク。ケレドモ不安ニ才思イニナルナラ、萬々一ノ場合ニ備エテ麻酔ドクターニ附キ添ツテ貰イ、酸素吸入ノ用意ヲ整エテ置イテモイ、ツマリ、過ツテ薬液ヤ空氣ガ血管ニ這入ツタラ、早速気管内ニチューブヲ入レテ酸素ヲ送ルヨウニスル、普通ノ患者ニハソナナ用意ヲシタコトハナイガ、ソレデモ間違イハナカツタノデアル、シカシ御老人ガ注射ヲ才受ケニナルト云ウナラ、今回ハソレダケノ準備ヲシテ取りカ、ルカラ御心配ハ御無用デアル、ト云ツテオラレルト云ウ。

「ドウナサイマスカ、博士モ決シテ無理ニス、メテハオラレマセン、才氣ガ向カナケレバ才止メニナツタ方ガヨロシイト云ツテオラレマスカラ、マアヨク才考エニナリマシテ、――」

コノ間ノ晩、子供ニ不意討チヲ喰ツテ泣カサレタコトガ未ダニ胸ニ残ツテイ、コンナ場合

二何トナクアレガ不吉ノ前兆ノヨウニ思イ出サレル。アノ晩アンナ涙ガ出タノハ、ヤツパ
リ心ニ死ノ豫感ガ萌^{きざ}シテイタカラナノダ。無鉄砲ノヨウデ、実ハ甚ダ臆病デ用心深イ筈ノ
予ガ、佐々木ノ言葉ニソ、ノカサレテ頻リニ左様ナ危険ナ注射ヲシテ貰イタク感^んジルノハ、
ドウモタゞゴトデナイヨウニ思エル。結局注射ガ原因デ、息ガ詰マツテ死又運命ニアルノ
デハナイカ。

ダガ、予ハモト／＼イツ死ンデモイ、積リデハナカツタノカ、疾ウカラ死ノ覚悟ガ出来テ
イタ筈デハナカツタノカ、現ニコノ夏虎ノ門病院デ頸椎ノ癌カモ知レナイト云ワレタ時、
附添イノ婆サンヤ佐々木ハ顔色ヲ変エタガ、予ハ全ク平氣ダツタ、コンナニモ平氣デイラ
レルモノカト我ナガラ意外ニ感^んジタホドダツタ、予ノ人生モイヨ／＼コレデ終ルノカナト、
却テホツトシタクライダツタ、ダトスレバ、コレヲ機会ニ運試シヲシテ見テモヨクハナイ
カ、萬一運ガナカツタトコロデ何ヲ惜シガルコトガアルンダ、コンナニ手ガ痛ンデ朝晩苦
シガツテイタンジャ、颯子ノ顔ヲ見タトコロデ何ノ楽シイコトモナイシ、颯子モ病人扱イ
ニシテ真面目ニ相手ニシテクレナイ、コンナ有様デ生キテイタツテ何ノ甲斐ガアロウ、颯
子ノコトヲ考エルト、運ヲ天ニ任シテドウシテゞモ生キタイ、ソレデナカツタラ生キテイ
タツテ仕様ガナイ。……………

二十三日。痛ミハ相變ラズデアル。ドリデンヲ飲ンデ見タガ寝タト思ウト直キニ覺メル。
 ザルプロ（ザルソプロカノン）ヲ注射シテ貰ウ。

六時頃眼覺メテ昨日ノ問題ヲ又考エル。

死ハ一向恐クナイ、ダガ、予ハ今コノ瞬間ニ死ニ直面シテイルノダト思ウト、——死ガ
 コノ刹那ニ予ノ眼前ニ迫ツテイルノダト思ウト、——ソウ思ウソノコトガ恐イ。出来レ
 バイツモノコノ部屋デ、コノ寝台ニ安ラカニ横タワツテ、親類縁者ニ取りマカレテ、（イ
 ヤ、親類縁者ナドイテクレナイ方ガイ、カナ、取り分け颯子ハイナイ方ガイ、カナ、「颯
 チャン、長イ間世話ニナツタネ」ナンテ別レノ挨拶ヲスルノハ悲シイダロウナ、又涙ガ出
 ルダロウシ、ソウシタラ颯子ダツテ義理ニモ泣イテ見セナケリヤナルマイ、何ダカ極きまリガ
 悪クツテ死ヌニモ死ニ憎イ、予ガ死ヌ時ハイツソ彼女ハ薄情ニ予ノコトナンゾ忘レチマツ
 テ、夢中ニナツテボクシングデモ見テ、クレルカ、プールヘ飛ビ込ンデシンクロナイズド
 ・スウイミングデモシテ、クレタ方ガイ、ア、ソノスウイミングノ姿モ来年ノ夏マデ生
 キラレナケレバ、トウ／＼見ラレナイノカナ）イツ死ンダトモ分ラナイヨウニ、眠ルガ如
 ク死ンデ行キタイ。知りモシナイPQ病院ノベッドナンカニ運バレテ、ドンナニ偉イ博士

タチカハ知ラナイガ、会ツタコトモナイ整形外科ノ先生ダノ麻醉ドクターダノレントゲン科ノ先生ダノ二囲マレテ、サモ大層ラシク取り扱ワレテ、息ガ詰マツテ死ニカヽツタリスルノハイヤダナ。モウソノ緊迫シタ雰囲気ニ包マレルダケデモ死ニハシナイカナ。呼吸困難ニ陥ツテ息ガハアハア云イ出シ、次第二人事不省ニナリ、気管内ニチューブヲ差シ入レラレル時ノ心持ハドンナダロウナ。死ハ恐レナイガ死ニ伴ウ苦痛ト緊迫感ト恐怖感トハ御免ダナ。定メシソノ刹那ニハ七十年來ノ生涯ニ積ミ重ネタ悪事ノ数々ガ走馬燈ノヨウニ次々ト現レルダロウナ、アヽ貴様ハアンナコトモシタ、コンナコトモシタ、ソレデテ樂ニ死ノウナンテ虫ガヨスギル、今苦シムノハ当リ前ダ、ザマア見ヤガレ、——ドコカデソナ声モ聞エル。ヤツパリPQ病院ハ止メタ方ガイ、カナ。……………

今日ハ日曜デアル。曇ツテ雨ガ降ツテイル。考エアグネテ又佐々木ニ相談スル。ソレデハ兎ニ角、私ガ明日ノ月曜ニ東大梶浦内科ニ梶浦先生ヲオ訪ネシテ先生ガ何ト仰ツシヤルカ伺ツテ見マシヨウカ、福島博士ノ仰ツシヤツタコトヲ私カラ詳細ニ申シ上ゲテ、先生ガ何ト仰ツシヤルカ伺ツテ参リマシヨウ、ソシテ先生ガソノ注射ヲシテオ貰イナサイト仰ツシヤツタラシテ貰ウ、ソシテソナコトハ絶対ニオ止メナサイト仰ツシヤツタラ止メル、ソウナスツタラ如何デスト云ウ。デハマアソウシヨウト云ウコトニナル。

二十四日。夕刻佐々木帰ツテ来ル。報告ニ曰ク、プロフェツサー梶浦ノ仰ツシヤルニハ、私ハPQ病院ノ福島ナル人ヲ知ラナイ、且私ハ専門外デアルカラソノ可否ニツイテ立チ入ツタ意見ヲ述ベル資格ハナイ、シカシソノ人ガ東大出身ノ博士デアリ、PQ病院ニ勤務シテオラレル人物デアルナラ、先ズ信用シテ差支エナイ、決シテ出鱈目ヤインチキデハアルマイ、モシ成功シナカツタ場合ニモ必ズ間違イガ起ラナイヨウニ萬全ノ策ヲ講ジタ上デ取リカゝルニ違イナイ、ダカラ同博士ヲ信賴シテヤツテ才貰イニナツタラドウカト。予ハ内々プロフェツサーガ不賛成ヲ唱エテクレタライ、ソウシタラ却テ氣ガ楽ニナルト思ツテイタノダガ、コウナツタラ仕方ガナイ、ヤツパリ危険ニ晒サレル運命ニアルノカナ、ドウシテモソレヲ免カレル訳ニ行カナイノカナ、ソウ思イナガラ、マダ何トカシテ止メル口実ガアルモノナラト云ウ氣ガシテイタガ、ツイグズくニ決マツテシマツタ。

二十五日。

「佐々木サンカラ伺イマシタガ、大丈夫デスカ才爺チャン、才痛イコトハ才痛イデシヨウガ、ソナナコトヲナサラナイデモ今ニキツト直リマスヨ」

婆サンハ氣ガ氣デナイラシイ。

「ヤリ損ツタツテ死ニハシナイヨ」

「死ニハシナイデモ、氣絶シテ今ニモ死ニソウニオナリニナツタリシタラ、ソレヲ見テルダケデモイヤダワ」

「コンナ思イヲシテ生キテルクライナラ死ンダツテイ、サ」

予ハ殊更ニ悲壮ラシク云ウ。

「イツナサルノ」

「病院ノ方ハイツデモイラツシャイト云ツテルンダ、ソウ決マツタラ早イ方ガイ、明日行ク」

「マアオ待チナサイ、アナタハイツモ性せつ急かちナンダカラ」

婆サンハ出テ行ツタト思ウト、高島易断ノ曆ヲ持ツテ戻ツテ来タ。

「明日ハ先負、明後日ハ佛滅、二十八日ガ大安デ『たいら』デス、二十八日ニオ決メナサイヨ」

「曆ナンゾ当テニナルモンカ、佛滅デモ何デモ早イ方ガイ、」
無論婆サンガ反对スルコトヲ承知デ云ウ。

「イ、エイケマセン、二十八日ニ決メテ下サイ、アタシモソノ日ハツイテ行キマス」

「婆サンナンゾ来ナイデモイ、」

「イ、エ参リマス」

「ソウシテ戴キマシタ方が、私モ安心デゴザイマス」

ト、佐々木マデガ云ウ。

.....

二十七日。佛滅ノ日デアル。「此の日移転開店其他何事にも凶」トアル。明日ハ婆サン、佐々木、杉田医師等ガ附添イ午後二時P Q病院ニ行キ、三時ニ注射ガアル筈。生憎本日モ早朝カラ激痛アリピラビタール注射。夕刻又激痛。座薬ノブロンヲ用イ、夜ニ及ビオスピタンヲ注射。コノ薬ハ始メテアル。モヒデハナイガコレモ一種ノ麻薬デアルト云ウ。幸イニ痛ミガ和ギ安眠スル。コレヨリ以後数日間ハ執筆ニ堪エズ、数日後佐々木ノ病床日誌ニ依ツテ記入スル。

二十八日。午前六時目覚メル。イヨク運命ノ日。シキリニ胸騒ギガシ、興奮ヲ覚エル。

ナルベク安静ニト云ウノデ、寢室ニ横臥シタキリデアル。朝モ晝モ食事ヲコ、ハ運ンデ貰ウ。中華料理ノ東坡肉トシボウニョガ喰イタイト云ツテ笑ワレル。

「ソナ食欲ガオアリニナレバ安心デゴザイマスネ」

ト、佐々木ガ云ウ。勿論本氣デ食ウ氣ハナイ、ツケ景氣ニ云ツタゞケデアル。晝食ハ濃厚ミルク一杯、トースト一片、スパニツシユオムレツ一個、デリシヤス一個、紅茶一杯。食堂へ出レバ颯子ノ顔ガ見ラレルカモ知レナイト思ツタノダガ、

「出テハイケマセン」

ト止メラレテ、オトナシク云ウコトヲ聴ク。食後三十分午睡、流石ニウマク寝ラレナカタ。

一時半杉田氏来ル。簡單ニ血壓ヲ測リ、診察スル。二時出発。杉田氏ノ左隣ニ予、ソノ隣ニ婆サン、運転手ノ隣ニ佐々木ガ乗ル。車ガ軋リ出ソウトスル時颯子ノヒルマンモ軋リ出シテ来ル。

「オヤ、才爺チャン何処へ才出カケ？」

ト、車ヲ止メテ颯子ガ云ウ。

「ウン、チョットPQ病院マデ注射シテ貰イニ。一時間グライデ直グ帰ル」

「才婆チャンモ御一緒？」

「才婆チャンハ胃痛カモ知レナイカラ、ツイデニ行ツテ見テ貰オウツテ云ツテルノサ、才婆チャンノハ神経ダヨ」

「ドウセソウニ決マツテマスワ」

「君」

ト云イカケテ予ハ云イ直ス。

「才前ハ何処ヘ？」

「有樂座へ行キマスノ、失礼シチャウワネ」

ソウ云エバシヤワーノ季節ガ過ギテカラ、長イコト春久ノ奴姿ヲ見セナイガト、チラト思
ウ。

「今月ハ何ダネ」

「チャプリンノ『独裁者』」

一ト足先ニヒルマンガ走り出シテ消エテ行ツタ。

今日ノコトハ何モ云ウナト云ツテアルノデ、颯子ハ知ラナイ筈ニナツテイル。ダケド恐ラ
クハ婆サンカ佐々木ガ知ラシタニ違イナイ。彼女ハワザト空ツトボケテイルノダロウ。ソ

シテソレトナク予ヲ力ツケルタメニコノ時期ヲ待ツテ出テ来タノダロウ。或ハ婆サンノ云イ付ケカモ知レナイ。マア何ニシテモ彼女ノ顔ヲ見ラレタノハ悪クナイ。空ツトボケルノガ名人デアルカラ、彼女ハ例ノ如ク得々トシテ有楽座へ出カケテ行ツタ。——コ、イラガ婆サンノ心ツカイカト思ウト、胸ガ一杯ニナル。

約束ノ時刻ニ到着。直チニ×××号室ニ運バレル。「卯木督助殿」ト記シタ名札ガ掛ケテアル。今日一日ダケコ、ニ入院シタ形式ニシテアルラシイ。病人用ノ運搬車ニ乗セラレテコックリートノ長イ廊下ヲレントゲン室ニ連レテ行カレル。杉田氏、佐々木看護婦、婆サンマデ附イテ来ル。婆サンハ足ガ鈍のろイノデ運搬車ニ追イ付コウトハア、云ツテイル。斯様ノ場合ヲ考エテ予ハ和服デ来タ。婆サンガ手伝ツテ衣類ヲ脱ガセ素ツ裸ニスル。堅イツル、シタ板ノ上ニ臥カサレテイロ、ノ形ニ体ヲ彎曲サセルベク命ゼラレル。ソノ上ニ大型ノ写真ノ暗箱あんばこノヨウナ機械ガ天井カラ降りテ来テ予ノ姿勢ノ上ニ巧ク出会ウヨウニ加減スル。大キナ複雑ナ部分ヲ持ツタ機械ヲ遠クカラ操作スルノデ、一ミリ違ツテモ工合ガ悪ク、ナカ、注文ノ対象ノ上ニ持ツテ来ラレナイデ調節ニ時間ガカ、ル。十月末ナノデ、冷メタイ板ガ少シ寒イシ、手ノ痛ミモ続イテイルノダガ、不思議ト緊張シテイルセイカ、寒クモ痛クモ感ジナイ。最初ニ左腕ヲ下ニシテ臥、次ニ右腕ヲ下ニシテ臥、横向キ、

背中、頸ト、各種類撮ラレル。ソノタビゴトニ暗箱ノ調節ガアリ、可ナリ面倒デアル。レントゲン線ガ通過スル刹那ノ一瞬間ハ呼吸ヲ止メテ下サイト云ワレル。大体虎ノ門病院ノ時ト同ジデアツタ。

又×××号室ニ戻ツテベッドニ横タワル。レントゲン写真ノ現像ガ濡レタフィルムノマ、直グ持ツテ来ラレル。福島博士ガソレヲ仔細ニ観察シタ上デ、

「ソレデハ注射イタシマス」

ト云ウ。博士ハ既ニキシロカインヲ注入シタ注射針ヲ手ニ持ツテイル。

「起キテコチラヘ来テ立ツテ戴キマシヨウ、ソノ方ガ注射シ易ウゴザイマス」

「承知シマシタ」

予ハ寝台ヲ下リ、特ニ勇マシク、シツカリシタ足ドリデ博士ノ立ツテイル明ルイ窓際ノ方ヘ歩ヲ運び、博士ト向イアツテ立ツ。

「デハコレカライタシマス、別ニ痛クモ何トモゴザイマセンカラ御心配ナク」

「心配ハシテオリマセン、ドウゾ御遠慮ナク」

「ヨロシユウゴザイマスナ」

針ガ頸部ニ射シ込マレルノガ感ジラレタ。何ダ、コンナコトカ、痛クモ痒クモナイ、ト云

ウ氣ガシタ。多分顔色モ變ツテイナカツタロウシ、体モ顫エ^{ふる}テイナカツタ。平然トシテイ
ルノガ自分ニモ分ツタ。「死ンダツテ何ダ」ト思ツテイタガ、死ニソウナ氣ハシナカツタ。
博士ハ一遍注射針ヲ局部ニ射シ入レテ試ミニ針ヲ引イテ見ル。コレハキシロカインノ場合
ニ限ラズ、何ノ注射デモ、タトエバウイタミンノ注射ノ場合デモ、藥液ヲ血管ノ中へ注入
シナイヨウニ、一応注射ニ先立ツテ注射針ヲ外へ引イテ見、血液ガ混入シタカドウカヲ念
ノタメニ慥^{たしか}メテ見ルノガ常識ニナツテイル。用心探イ醫師ハ必ズソレダケノ注意ヲ怠ラナ
イ。福島博士モ殊ニ重大ナ場合デアルカラ当然ソレダケノ手順ヲ踏ンダ訳デアル。ト、途
端ニ博士ハ、

「ア、コレハイケナイ」

ト、俄ニガツカリシタヨウニ云ツタ。

「今マデ患者ニ何回トナクコノ注射ヲシテルンデスガ、血管ニ触レタコトハ一度モナイノ
ニ、今日ハドウカシテルンデスナ。御覽下サイ、コノ通り血ガ交ツテイマス、何処カノ毛
細血管ヲ突イタンデシヨウナ」

「スルト、ドウシマスカ、モウ一度ヤリ直スンデスカ」

「イヤ、コンナ失敗シタ時ハ止メタ方ガイ、ト思イマス、誠ニ才氣ノ毒デスガ、明日モウ

一度出直シテ戴キマシヨウ、明日コソ失敗シナイヨウニシマス、失敗ナンゾ一度モシタコトハナインダケレド」

予ハ何カシラ安心シ、マア今日ハ助カツタト胸ヲ撫_レテオロシタ。運命ガ一日延ビタ。ダガ明日ノコトヲ考エルト、イツソ今直グヤリ直シテ貫ツテ伸ルカ反ルカヲ一挙ニ決シテシマイタクモアツタ。

「アンマリ大事ヲ取り過ギルンダワ、アノクライ血ガ出タツテ、何モソソナニ恐ガラナイデヤツテ下サル訳ニ行カナイノカシラ」
ト、佐々木ガヒソ〜声デ云ツタ。

「イヤ、ソコガアノ方ノ偉イトコロデスヨ、麻酔_ドクター_マデ呼ンデ十分ノ用意ヲシテカゝツタンダカラ、誰_デモヤツテシマイタクナルトコロダガ、僅カ一滴ノ血ヲ見タゞケデモ大事ヲ取ツテ中止スルト云ウコトハ、ナカ〜出来憎イコトデス。ソコヲ止メタノハ医師トシテ実ニ立派ナ心ガケト云ハナケレバナラナイ。医師ハ皆アレダケノ心ガケガナケレバイケナイ。僕ハ大イニ教エラレマシタヨ」

ト、杉田氏ハ云ツタ。

明日ヲ約シテ忽々ニ引キ上げ帰宅スル。車ノ中デモ杉田氏ハ頻ニ博士ノ態度ヲ賞讃シテ已

マナイ、佐々木ハ「思イ切ツテヤツテシマエバヨカッタんジャナイデシヨウカ」ヲ繰リ返ス。要スルニ餘リ大事ヲ取り過ギタノガ失敗ノ原因ダツタ、萬々一ノ場合ニ備エテ仰山ナ準備ナドヲセズ、イツモノヨウニ手輕ニ考エテスレバヨカツタ、博士自身ガ神經過敏ニナツテイタノガイケナカツタノダ、ト云ウ点デハ二人ノ意見ガ一致スル。

「頸動脈ノ傍ヲ突クナンテ危イコツテスヨ、アタシハ始メカラ不賛成ダツタンデス、明日モイツソオ止メニナツタラ」

ト、婆サンハ云ツタ。

帰宅シテ見ルト、颯子ハマダ歸ツテイナイラシイ。經助ガ犬小屋ノ前デレスリニ戯レテイル。

予ハ又寢室デ夜食ヲ取り、安靜ニスベク命ゼラレル。手ガ又痛ミ出ス。

二十九日。本日モ昨日ノ時刻ニ出カケル。同行者モ全部同ジ。不幸ニシテ經過モ昨日ト同様。今日モ過ツテ血管ヲ突キ、注射器ニ血ガ混入スル。周到ナ用意ヲシタゞケニ、博士ノ落胆ハ甚ダシイ。却テ予等ガ氣ノ毒ニナル。皆デ相談ノ結果、コウケチガ附イタ以上、誠ニ残念デアルケレドモ、兎ニ角コノ注射ハ一ト先ズ打チ切りニシタ方ガヨクハナイカト云

ウコトニナル。明日来テ又モ失敗ト云ウヨウナコトガアツテハ困ルノデ、博士モモウ一度ト云ウ氣ハナイラシイ。予モ今度コソ本当ニ安堵シ、ホツトスル。

午後四時帰宅スル。床ノ活ケ花ガ変エテアル。雁来紅ニ貴船菊ガ琅玕斎ノ籠ニ挿シテアル。今日ハ京都ノ花ノ先生ガ来タノデアロウ。ソシテ颯子ガコノ老人ノタメニ心ヅクシヲ示シタノデアロウカ。ソレトモコノ花ガ、ヒヨツトスルト枕花ニナルカモ知レナイト考エテ特ニ念ヲ入レテ活ケタノデモアロウカ。長イコト掛ケツパナシニシテアツタ荷風ノ色紙モ掛ケ変エテアル。囃ハ浪華逸民菅楯彦ノ作デアアル。非常ニ細長イ畫面デ、燈台ニ燈明ガ点ツテイル囃デアアル。楯彦ハヨク漢詩ヤ和歌ヲ書キ添エル癖ガアルガ、コレニモ萬葉ノ和歌ガ一首縦ニ一行ニ添エテアル。

吾^{せこ}か勢^{せこ}子^こはいつく遊^ゆくらんおき津^つものなはりのやまを氣^け布^ふか古^こゆるん

6

九日。PQ病院以来十日ニナル。ソノウチニヨクナリマスヨト婆サンハ云ツタガ、ドウヤラコウヤラ少シ樂ニナリカケテ来タ。専ラシ^シングレ^レラントセ^セデ^デスト^トデ^デ凌^リイ^イデ^デ来^来タガ、自然

ソノ時期が来タノカ、売薬^デモイクラカ利キ目ガアツタノガ不思議ダ。現金ナモノデ、コノ程度ナラ墓地ヲ見ツケニ行ケソウナ氣ガシテ来タ。コノ春以来氣ニナツテイタノダガ、イツソコノ際京都市行キヲ決行シヨウカト思ウ。……………

十日。……………

「少シヨクナルト直グソレダカラオ爺チャンハ困リマスヨ、モウ暫ク様子ヲ見テカラニナスツタラドウ？ 汽車ノ中ナンゾデ痛ミ出シタラドウナサルンデス」

「モウ大概大丈夫ダヨ、十一月モ今日デ十日ダ、グズくシテルト京都ノ冬ハ早イカラネ」
「何モ今年ニ限ツタコトハナイ ज्याアリマセンカ、来年ノ春マデオ待チニナツタラ」

「ホカノコト、違ウカラネ、ソナ悠長ナコトヲ云ツチャイラレナイヨ、今度行ツタラコレガ京都ノ見納メニナルカモ知レン」

「又ソナナイヤナコトヲ仰ツシヤル。——誰ヲ連レテイラツシヤルオ積リ？」

「佐々木ト二人ジャ心細イカラ、颯子ニ附キ合ツテ貰オウカ」

予ノ京都市行キノ主タル目的ハ実ハコノニアル。墓地搜シハ寧ロ口実^デアル。

「南禅寺ヘハオ泊リニナラナイノ？」

「看護婦附キテ泊ツタリスルト手数ヲカケルコトニナルカラナ。ソレニ颯子モイルコトダシ、——颯子ハ南禅寺へ泊ルノハ懲りくダカラ、ソレダケハ堪忍かにシテクレト云ツテルンダ」

「ドツチニシタツテ颯子が行ツタラ又喧嘩デスヨ」

「掴ミ合イデモ始メテクレタラ面白イサ」

婆サントソソナ遣り取りヲスル。

「南禅寺ツテ云エバ永観堂ノ紅葉ガ綺麗デシヨウネ、アタシガアレヲ見テカラモウ何年ニナルカ知ラ」

「永観堂ハマダ早イヨ、高尾ヤ槇ノ尾ガチョウド見頃ダガ、己モコノ脚ジャ行ケソウモノイ」

.....

十二日。.....第二こだまデ午後二時三十分出発。婆サントオ静ト野村ガ見送ル。窓際ニ予、ソノ隣ニ颯子、通路ヲ隔テ、佐々木、ト云ウ目算デアツタガ、動き出シテ見ルト窓際ハ風ガスウくスルカラト云ワレテ颯子ト入レ代り、通路ニ寄ツタ方ノ席ニ掛ケサセラレ

ル。生憎手ノ痛ミガ少シ強イ。喉^{のど}ガ渴クカラトボーイニ茶ヲ持ツテ来サセ、コンナ時ノ用意ニポケツトニ忍バセテ来タセテスヲ二錠、颯子ニモ佐々木ニモ見ラレヌヨウニ、ソツト口へ放り込ム。二人ニ知ラレルト、アトガウルサイカラデアル。血壓ハ出発直前二測ツタ時ハ上ガ一五四、下ガ九三デアツタガ、乗車後予ハ明ラカニ興奮シテイルコトヲ密カニ感^ジル。傍ニ邪魔者ガイルコトハイルガ、何カ月ブリカデ颯子ト席ヲ並ベルコトガ出来タコト、颯子ノ服装ガ今日ハ妙ニ挑発的ニ見エルコト、ナドガ原因カモ知レナイ。(地味ナス
| | ツヲ着テイルガ、ブラウスガ派手ナノト、フランス製ラシイ模造寶石ノ五聯ノネツクレ
スヲ頸カラ胸へ垂ラシテイル。コノ種類ノネツクレスハ国産品ニモシバ^く見受ケルガ、
背後ノ後頭部ニ附イテイル留^{とめがね}金ニイロ^くナ寶石ガ鏤^{ちりば}メテアツテ、コノ真似ガ国産品デ
ハ出来ナイノデアル) 血壓ノ高い時ハ頻尿ニナル癖ガアルガ、頻尿ニナツタト思ウト、逆
ニソノタメニ一層血壓ガ上ル。ドツチガ原因デ、ドツチガ結果トモ云エナイ。横浜ヲ通過
スルマデニ一回、熱海ヲ通過スルマデニ又一回便所ニ通ウ。席カラ便所ガ遠イノデ辿リ着
クマデ二度々ヨロケテ倒レソウニナル。佐々木ガ附イテ来テハラ^くスル。排尿ニ手間ガ
カ^ハルノデ、二回目ノ時ハ丹那トンネルヲ通り抜ケテモマダ用ガ済マナイ。ヤツトノコト
デ出テ見タラ三島ニ近クナツテイタ。席ニ戻ル時危ク転ビソウニナリ、居合セタ人ノ肩エ

掴マツテ助ケラレル。

「オ高インジャナイデシヨウカ」

席ニ着クト佐々木ガ云ウ。ソシテ早速近寄ツテ来、脈ヲ取ツテ見ヨウトスル。予ガ腹立タシソウニ拂イ退ケル。

コンナコトヲ繰リ返シツ、午後八時三十分京都有着。五子、菊太郎、京二郎、ホームニ出迎エテイル。

「オ姉サン、皆サンオ揃イデ恐レ入リマス」

颯子ガ柄ニナクオ世辞ヲ云ウ。

「ナアニ、明日日曜ナンデミンナ遊ンデイルンデスヨ」

京都駅ハ下リノ時ハブリツジヲ沢山登ラナケレバナラナイノデ、コレガ甚ダ億劫おっくうデアル。

「オ爺チャン、階段ハ僕ガ負おぶツテアゲマスヨ」

菊太郎ガ予ノ前ニシヤガンデ背中ヲ向ケル。

「冗談云ウナヨ、マダソンナヨボくジャナイヨ」

ソウハ云ツタガ、佐々木ガ腰ヲ押シテケレル。瘦セ我慢ヲシテ踊リ場デ休マズ、一氣ニ上ツタノデ、苦シソウニ息ガハズム。皆氣遣ワシゲニ予ノ顔ヲ見テイル。

「今度ハ幾日グライイラツシャルノ？」

「サア、ドウシテモ一週間ハカ、ルダロウナ。オ前ノ所ヘモイズレ一晩ハ厄介ニナルガネ、今日ハ取り敢エズ京都ホテルニ泊ルヨ」

餘計ナオシヤベリガ始マラヌウチニト、急イデ車ニ乗ル。城山一家ハ別ノ車デ後カラホテルヘ附イテ来ル。

シングルベッド二台ノ部屋ト一台ノ部屋トガ隣リ合ツテイル。コレハ予ガ豫メ左様ニ注文シテ置イタノデアル。

「佐々木サン、君ハ隣ニ寝テクレ給エ、僕ハ颯チャント此方デ寝ルヨ」

「颯チャン」ト云ウ呼び方ヲ殊更五子達ノイル前デ使ツテ見ル。五子ガ異様ナ顔ツキヲシテイル。

「アタシ一人デ寝カシテ戴クワ、オ爺チャンハ佐々木サントオ休ミナサイヨ」

「ナゼサ、一緒ニ寝テクレタツテイ、ジャナイカ、東京デモ時々ソウシテクレテルジャナイカ」

五子ニ聞カセルタメニ予ハワザト云ウ。

「隣ニ佐々木サンガ寝テ、クレ、バ何カアツタツテ安心ジャナイカ、ネエ、颯チャンハコ

ツチデ寝テオクレヨ」

「煙草ガ吸エナイノガ困ルワ」

「吸ツタライ、サ、イクラデモ吸ツテオクレ」

「ソナナコトヲシタラ佐々木サンニ叱ラレチャウワ」

「オ咳ガヒドクツテイラツシヤイマスカラネ」

ト、佐々木ガアトヲ引キ受ケル。

「ソバデ煙草ヲオ吸イニナツタラ、ゴホン／＼オ咳ガ止マラナクナリマスヨ」

「ボーイサン、ソノトランクヲコツチノ部屋ヘ運ンデ頂戴」

颯子ハ構ワズサツサト隣室ヘ這入ツテ行ツテシマウ。

「手ハモウスツカリオ直リニナツタンデスカ」

来ルトイキナリ氣ヲ吞マレタ形デ眼ヲ白黒サセテイタ五子ハ、コ、デ辛ウジテ嘴ヲ入レル。

「直ツテナンゾイルモンカ、今デモ始終痛ムンダ」

「マア、ソウナンデスカ、オ婆チャンノオ手紙ニハ、オ直リニナツタト書イテアリマシタ

ノニ」

「オ婆チャンニハソウ云ツテアルノサ、ソウシナイト出シテクレナイカラネ」

颯子ハダスターコートヲ脱ギ、手早くブラウスヲ改メテネツクレスヲ三聯ノ真珠ニ取り換エ、顔ヲ直シテ出テ来ル。

「アタシオ腹ガ減ツテルノヨオ爺チヤン、早く食堂ヘ行キマシヨウヨ」

五子達ハ濟ンデイルト云ウノデ三人デテーブルニ就ク。颯子ノタメニライン・ワインヲ抜ク。生牡蠣ノ好きナ彼女ハコゝノハ的^{まじやわん}矢湾ノ牡蠣ダカラ安全ダト称シテ相当ニ貪ル。食後ロビーデ五子達ト一時間ホド雑談ヲ交エル。

「食事ノ後ダカラ一本グライイ、デシヨ佐々木サン、コゝナラソンナ籠^{こも}リヤシナイワ」
颯子ハハンドバッグカラ愛用ノクールヲ一本取り出シテ吸ウ。イツモハ直^じカニ口ニ銜^{くわ}エルノニ今日ハ珍シクホールダーヲ用イテイル。細長イ真紅ノ色ヲシタホールダーデアル。豫メホールダーノ色ト調和スルヨウニマニキュアモ常ヨリ紅ク染メテイル。唇ノルージユモ同様デアル。指ガ際立ツテ真ツ白イ。紅ト白トノコノ対照ヲ五子ノ前デ見セビラカスノガ目的ダツタノデアロウカ。

十三日。午前十時南禅寺下河原町二城山家ヲ訪ウ。颯子ト佐々木同伴スル。予ガコノ家ヲ訪ウノハコレデ二回目デアルト云ウガ、最初ニ訪ウタノハイツノコトデアツタカ殆ド記憶

ガナイ。城山家ハモト吉田山ニ住ンデオリ、当時ハシバ〱来往シタ覺エガアルガ、主人桑造ノ死後遺族ガコ、ニ移ツテカラハメツタニ訪ネナイヨウニナツタ。今日ハ日曜デ、百貨店勤務中ノ菊太郎ハ不在ダケレドモ、京大工科ニ通学中ノ京二郎ハ家ニイタ。颯子ハオ爺チャンノ墓地搜シノオ供ヲシテモ詰マラナイカラ、アタシハ御免蒙リタイ、コレカラ四条通りヘ出カケテ「キリハタ」ヤ高島屋デ買物ヲシ、午後ハ高雄方面ヘ紅葉見物ニ行キタイノダガ一人ボツチデハ仕様ガナイ、誰カ案内ヲシテクレナイカシラト云ウ。墓地搜シヨリハソノ方ガ優シダ、私ガ御案内シマシヨウト京二郎ガ云ウ。ソコデ相談一決シテ颯子ト京二郎ガ先ズ出発。予、五子、佐々木ノ三人ハ瓢亭ノ半月弁当デ晝食ノ後、鹿ヶ谷ノ法然院カラ始メテ黒谷ノ真如堂、一乗寺ノ曼殊院^{あたり}辺ヲドライブスルコトニ決メル。夜ハ嵯峨ノ吉兆ニ颯子達ノ一行モ菊太郎モ参加シテ、晚餐ヲ共ニスル手筈デアル。

予ノ先祖ハ遠イ昔ハ江州商人ノ出ラシイガ、四五代前カラ江戸ニ住ミ、予モ本所割下水ニ生レタノデ、生粹ノ江戸ツ子デアアルニ違イナイ、ガ、ニモ拘ワラズ予ハ近頃ノ東京ガ面白クナイ。京都ノ方ガ昔ノ東京ヲ思イ出サセル趣ガアツテ却テナツカシイ。今ノ東京ヲコンナ浅マシイ乱脈ナ都会ニシタノハ誰ノ所業^{しわざ}ダ、ミンナ田舎者ノ、ポット出ノ、百姓上リノ、昔ノ東京ノ好サヲ知ラナイ政治家ト称スル人間共ノシタコトデハナイカ。日本橋ヤ、鰐橋

ヤ、築地橋ヤ、柳橋ノ、アノ綺麗ダツタ河ヲ、才齒黒溝ノヨウニシチマツタノハミンナ奴等デハナイカ。隅田川ニ白魚ガ泳イデタ時代ノアルコトヲ知ラナイ奴等ノ仕種^{しぐさ}デハナイカ。死ンデシマエバ何処ニ埋メラレタツテ構ワナイヨウナモノダケレドモ、今ノ東京ノヨウナ不愉快ナ、自分ニ何ノ因縁モナクナツテシマツタ土地ニ埋メラレルノハイヤダ。出来レバ父ヤ母ヤ祖父ヤ祖母タチノ墓モ、何処カ東京デナイ所ヘ持ツテ来チマイタイクライダ。祖父母ヤ父母ニシタトコロデ、昔最初ニ埋メラレタ場所ニ埋メラレテイル訳デハナイ。祖父母ノ墓ハ深川ノ小名木川^{おなぎ}近クノ或ル法華寺ニアツタノダガ、ソノ後間モナクアノ辺ニ帯ガ工場地帯ニナツタ、メニ寺ハ浅草ノ龍泉寺町ニ移リ、ソコモ大地震デ焼カレタノデ、今デハ多磨墓地ニ移ツテイル。ダカラ佛様達ハ東京ニ置イトカレルト、骨ニナツテカラモ始終アツチコツチヘ逃ゲ回ラナケレバナラナイ。ソウ云ウ点デハ何ト云ツテモ京都ガ一番安全デアル。先祖代々江戸ツ子ダト云ツテモ、五六代先ノコトハ分リハシナイ。予ノ家モ遠イノ、先祖ハイズレ京都アタリカラ出タモノト思ウ。兎ニ角京都ニ埋メテ貰エバ東京ノ人モ始終遊ビニ来ル。「ア、コ、ニアノ爺サンノ墓ガアツタツケナ」ト、通りスガリニ立チ寄ツテ線香ノ一本モ手向ケテクレル。江戸ツ子ニ一向由縁^{ゆかり}ノナイ北多磨郡ノ多磨墓地ナンゾニ葬ムラレルヨリ遙カニ優シダ。

「ソウ云ウ意味カラハ法然院ガ一番適當ジヤナイデシヨウカ」
ト、曼殊院ノ階段ヲ下リナガラ五子ガ云ウ。

「曼殊院トナルト散歩ノツイデニ立チ寄ルニハ遠過ギマスシ、黒谷ニシタツテワザ／＼デ
ナケレバアノ坂ノ上マデオ詣リニ行キハシマセンカラネ」

「己モソナ気ガスルンダガネ」

「法然院ナラ今デハ街ノ真ン中デ、市電ガ直グ傍ヲ通ツテマスシ、疏水ノ桜ガ咲ク時分ニ
ハ一層賑カデスシ、ソレテイテ一步寺ノ境内ヘ這入ルトアノ通り森閑トシテ心ガ自然静マ
リマスシ、アスコニ限ルト思イマスワ」

「己モ法華ハ嫌イダカラ浄土宗ニ変エテモイ、ンダガ、墓地ハ分ケテ貰エルダロウカ」

「アタシモ時々法然院ヘ散歩ニ行クンデ、和尚サント懇意ダモンデスカラ、コナイダ聞イ
テ見タンデスガ、才望ミナラ墓地ヲオ分ケ致シマス、浄土宗ト限ツタコトハアリマセン、
日蓮宗デモ結構デスツテ云ツテマシタガネ」

墓地捜シハソレデ中止シテ大徳寺カラ北野へ出、御室カラ釈迦堂前、天龍寺前ヲ経テ吉兆
ニ到着、マダ時刻ガ早過ギルノデ颯子達モ菊太郎モ来テイナイ。暫ク別室ニ寝間ヲ取ツテ
貰ツテ休息スル。ソウコウスルウチ菊太郎ガ先ズ到着。次イデ六時半過ギ颯子等到着。一

旦京都ホテルへ戻ツテ出直シテ来タノダト云ウ。

「大分才待チニナツテ?」

「待ツタヨ大分。ホテルへ戻ツテ何シテタンダ」

「寒クナリソウダカラ着換エテ来タノヨ、才爺チャンモ氣ヲオ付ケニナラナイト風邪ヲ引クワヨ」

四条通りデ買ツテ来タノヲ早速着テ見タカツタノダロウ、白ノブラウスニ、ブリユーニ銀ノラメガ繡イ込ンデアルセーターヲ着テイル。指環モ取り換エテ、何ト思ツタカ問題ノキヤツツアイヲ箆メテ来テイル。

「墓地ハ決ツタンデスカ」

「大体法然院ト決ツタ、才寺ノ方デモ承知ダソウダ」

「ソレハヨカツタワネ、ジャ、イツ東京へオ帰りニナル?」

「馬鹿云イナサイ、コレカラ才寺ノ石屋ヲ呼ンデ、墓ノ様式ニツイテイロく相談シナケリヤナラナイ、ソウ簡単ニ決メラレヤシナイヨ」

「才爺チャン川勝サンノ石造美術ノ本ヲ開イテ頻リニ調べテラシツタジャナイノ、墓ハヤツパリ五輪ノ塔ニ限ルツテ仰ツシヤツテタワネ」

「又少シ考エガ變ツテネ、五輪デナクツテモイ、ヨウナ氣ガシテ来タ」

「アタシナンカニハ何ガイ、ンダカ分ラナイワ、ドウセアタシニハ關係ノナイコトダケレド」

「ソウデナイヨ、君——」

ト云イカケテ云イ直ス、

「才前サンニモ大イニ關係ノアルコトダヨ」

「アタシニドンナ關係ガアルノヨ」

「今ニ關係ノアルコトガ分ルヨ」

「何シロ早く決メテ貰ツテ早く東京へ歸リタイワ」

「何デ歸リヲ急グンダネ、ボクシボクングカネ」

「マアソンナトコロネ」

五子、菊太郎、京二郎、佐々木、四人ノ眼ガ期セズシテ颯子ノ左ノ薬指ニ集マル。颯子ハ平然トシテ悪ビレタ様子モナイ。膝ノ上ニキヤツツアイヲ煌きらめカシツ、座布団ノ上ニ横ツ坐リニ坐ツタマ、デアル。

「叔母サン、ソレガキヤツツアイツテ云ウ石イシデスカ」

座ガ白ケルトデモ思ツタノカ、菊太郎ガ突然云ツタ。

「エ、ソウヨ」

「ソナ石ガ何百萬圓モスルンデスカ」

「ソナ石トハ失礼ネ、コレガ三百万圓ヨ」

「才爺チャンニ三百万圓出サセルナンテ、叔母サンハ凄腕ダナア」

「チョット菊太郎サン、才願イダカラソノ『叔母サン』ハ止シテ頂戴。菊チャンダツテモウ子供ジャアインダカラ、アタシヲ叔母サン扱イニスル資格ハナイワ、アタシト二ツカ三ツシカ違ワナイ癖ニ」

「ジャア何テツタライ、ンデス、三ツ違イデモ叔母サンハ叔母サンダカラナ」

「『叔母サン』ヲ止メテ『颯チャン』ト仰ツシヤイ、菊チャンモ京チャンモソウ呼ンデヨ、ソウシナケレバ返事シナイカラ」

「叔母サンハ——アレ又『叔母サン』ガ出チマツタ、——叔母サンハソレデイ、カモ知レナイケレド、浄吉叔父サンニ怒ラレヤシナイカナ」

「浄吉ガ怒ルモンデスカ、怒ツタラアタシガ怒ツテヤルワ」

「才爺チャンハ『颯チャン』デモイ、ケレド、ウチノ子供達ニソウ呼バセルノハドウデシ

ヨウカネ、中ヲ取ツテ『颯子サン』ニシマシヨウヨ、ソレガイ、ワ」ト、五子ガ苦イ顔ヲスル。

酒ヲ厳シク禁ジラレテイル予、下戸ノ五子、少シハ行ケル筈ナノニ慎ンデイル佐々木ヲ除イテ、颯子、菊太郎兄弟ノ三人デ調子ガ弾ミ、九時近ク食事ガ終ル。颯子一人五子達ヲ南禅寺ヘ送り届ケテホテルヘ帰り、予ト佐々木トハ夜ガ晚イカラト云ウノデ、吉兆ニ泊ル。

十四日。午前八時頃起床。釈迦堂傍ノ嵯峨豆腐ヲ取り寄セテ朝食ヲ喫スル。別ニビニールノ袋ニ包ンダ豆腐ヲ土産ニ持チ、十時頃五子ヲ誘ツテ法然院ヲ訪問。颯子ハ今日ハ花見小路ノオ茶屋ヘ電話シテ、コノ夏春久ト一緒ノ時ニ友達ニナツタ祇園ノ藝者ヲ二三人招キ、晝食ヲ共ニシテカラ京極ノS・Y・京映ヘ行き、夜ハキヤバレヘ引ツ張ツテ行ツテ皆デ踊ルノダト云ウ。予ハ五子ノ紹介デ法然院ノ住職ニ面会、直チニ墓地ノ候補地ヲ見セテ貰ウ。境内ノ幽邃ナコトハ真ニ五子ノ言ニ背カズ、前ニモ二三度杖ヲ曳イタコトハアルガ、コレデモ大都会ノ市内カト驚クバカリ。コノ景観ニ接シタゞケデモ、五味溜メヲ引ツクリ返シタヨウナ東京トハ比較ニナラナイ。コヽニ決メテヨカッタト思ウ。帰途五子同伴たんくまノカウンターニ腰掛ケテ食事シ、二時頃ホテルニ帰ル。三時ニ住職カラ連絡ガアツタト見

エテ石屋ノ主人ガ面会ニ来ル。ロビー^{ロビー}デ面接。五子ト佐々木同席スル。

墓石ノ様式ニツイテハ、予ニサマ／＼ノ案ガアルノデ、未ダニ孰レニシテイ、カ迷イ抜イテイル。死ンデカラ後ドンナ形ノ石ノ下ニ葬ムラレヨウト差支エナイヨウナモノダガ、予ハ矢張氣ニナル。ドンナ石ノ下デモイ、ト云ウ訳ニ行カナイ。少クトモ今日一般ニ行ワレテイル長方形ノノツペラボウノ石ノ表面ニ戒名又ハ俗名ヲ記シ、ソノ下ニ台^{だい}石ヲ据エテ、ソノ前ニ線香立テノ穴ト手向ケノ水ヲ供エル穴トヲ穿ツテアルアノ形式、アレハイカニモ平凡デ、俗ツポクツテ、何事ニモ旋^{つむじまが}毛曲リノ予ニハ氣ニ入ラナイ。父母ヤ祖父母ノ墓石ノ形式ニ反スルノハ申シ訳ナイガ、予ハドウシテモ五輪塔ニシタイ。ソレモソンナニ古イ形ノモノデナクテモイ、鎌倉後期グライノ形デ満足スル。タトエバ伏見区竹田内畑町ニアル安樂寿院五輪塔、水輪ガ下ノ方デ細マツテ壺形ニナツテオリ、火輪ノ軒ノ反リガ厚ク、ヤダルミノ工合ガ風輪空輪ノ形ト共ニ鎌倉中期カラ後期ニ移ル頃ノ代表的ナ遺品デアルト、川勝政太郎氏ガ述ベテイルアノ作品、アレナドハドウデアロウカ。デナケレバ綴喜郡宇治田原村禪定寺ノ五輪塔、コレハ吉野時代ノ典型的ナ遺品ダソウデ、コノ式ハ南方ノ大和文化圈ニ流行シタモノダソウダガ、コレモ悪クナイ。

トコロデ、コ、ニ又一ツ別ナ考エガ予ノ胸ニアツタ。川勝氏ノ著書ヲ見ルト、上京区千本

上立売上ルニ石像寺ノ阿弥陀三尊石佛ト云ウモノガアツテ、中尊二定印弥陀坐像、ソノ向ツテ右ニ観音、左ニ勢至ノ二脇侍立像ガ侍立シテイテ、ソレヲ三尊ノ写真ガ各別々ニ載ツテイル。弥陀ノ坐像ヲ始メトシテ、観世音菩薩ト勢至菩薩ノ立像ハ頗ル美シイ。観世音ニハ多少ノ破損ガアルケレドモ勢至像ハ全ク完全ニ保存サレテイル。勢至ハ観世音ト同様ノ装身具ヲ着ケ、正面ノ宝冠カラ瓔珞、天衣、光背等ニ至ルマデ丁寧ニ刻ミ出サレテイ、宝冠正面ニハ宝瓶ヲ現ワシ、両手ヲ合掌シテ立ツテイル。「花崗岩の石佛の美しさをこの石佛程に示してゐるものは稀である。〔中略〕元仁二年（一二二五）に造立開眼せられたことが、中尊背後に刻まれてゐる。このやうに一尊を台座・光背共に一石で作りに出した石佛としては全国的に最も古い年号をもつ像で、また鎌倉時代石佛の様式の基準をこれによつて求め得る点で貴重な遺品である」ト記サレテイルガ、予ハコノ写真ヲ見テ、フト思イ付イタ。出来レバ颯子ノ容貌姿体ヲコノヨウナ菩薩像ニ刻マセテ密カニ観音カ勢至ニ擬シ、ソレヲ予ノ墓石ニスル訳ニハ行カナイモノカト。ドウセ予ハ神佛ヲ信ジナイ、宗旨ナドハ何デモイ、予ニ神様カ佛様ガアルトスレバ颯子ヲ措イテ他ニハナイ。颯子ノ立像ノ下ニ埋メラレ、バ予ハ本望ダ。

タゞ困ルノハコレヲ実行ニ移ス方法如何デアル。モデルニスル颯子ニモ、浄吉ニモ、婆サ

ンニモ、誰ヲモデルニシテイルカヲ悟ラセヌヨウニスルコトハ出来ル。ソウスルタメニハ、アマリニ颯子ノ容貌ニ露骨ニ酷似スルヨウニシナイコトダ、ボンヤリト彼女ノ感ジヲ匂ワセルヨウニスルコトダ。予ハ石材ニ花崗岩ヲ用イルコトヲ避ケ、軟質ノ松香石ヲ用イルヨウニスル。ソウシテ線條ガ鮮明ニナリ過ギヌヨウニ、ナルベク朦朧ト表現サレルヨウニスル。出来得レバ他ノ何者ニモ氣付カレズ、予一人ニダケ、全ク予一人ニダケハツキリト感ジ取ラレルヨウニスル。ソレハ必ズシモ不可能トハ思エナイ。シカシ厄介ナノハ、立像ヲ製作スル彫刻家ニハモデルガ何者デアルカヲ知ラセナイ訳ニ行カナイ。トスルト、誰ニコノ製作ヲ依頼シタライ、カ。一体誰ガコノムズカシイ仕事ヲ引キ受ケテクレルカ。凡庸ノ作家ノ技術デハ容易ニ出来ル仕事デハナイガ、予ハ不幸ニシテ彫刻家ニ一人ノ友人モ持つテイナイ。仮リニ友人ガアツタトシテ、ソノ友人ガ優秀ナ技術ヲ具エテイタトシテモ、予ガ何ノ目的デ左様ナ製作ヲ依頼スルカヲ知ツタトシタラ、果シテ快クソレニ応ジテクレルデアロウカ。ソノナ、佛ヲ冒瀆スルヨウナ氣狂イジミタ考案ノ実現ニ、ソノ人ハ喜ンデ手ヲ藉^かステアロウカ。ソノ人ガ優レタ藝術家デアレバアルホド、断乎トシテ刎ネツケハシナイデアロウカ。(又予トシテモ、ソノナ厚カマシイ耻カシイコトヲ臆面モナク頼ム勇氣ハナイ。アノ爺サンハ癡狂シテルノデハナイカト、思ワレルダケデモ極マリガ悪イ)

予ハコ、マデ思イ詰メテ、コ、ニ一ツノ可能ナ方法ガアルカモ知レナイコトニ氣ヅイタ。
 ソレハホカデモナイ、石ノ表面ニ菩薩ノ像ヲ深彫リニ彫ルコトハ専門家ノ技術ヲ要スルガ、
 浅イ線彫リニスルコトナラバ普通ノ職人デモ或ル程度可能デハナイカ。コレモ川勝氏ノ著
 書ニ上京区紫野今宮町ノ今宮神社ノ線彫四面石佛ト云ウモノヲ載セテイル。「凡そ二尺角
 の加茂川のヌケ石とよばれる緻密な硬砂岩の四面に四方佛を線彫したもので、彫り方はタ
 ガネ彫云々」トアリ、「平安後期天治二年（一一二五）の造立にかゝり、我国石佛中屈指
 の古い紀年銘をもつ遺品」デアルトシテ、四面ニ一ツズツ刻ンデアル四方佛、阿弥陀如来、
 釈迦如来、薬師如来、弥勒菩薩等々ノ坐像ノ拓本ガ示サレテイル。又ソノ外ニ蜻蛉石線彫
 阿弥陀三尊石佛ノ一ツトシテ勢至菩薩坐像ノ拓本ヲ載セテイル。「背の高い硬砂岩の自然
 石の三面に線彫されたこの三尊法来迎の形式になつてゐること本文の挿図の如くであるが、
 その内最もよく保存され佛容の比較的明瞭な勢至像の面をこゝに掲げた。来迎の弥陀像の
 脇侍として、雲にのり天上から下界へと斜に向ふ姿は美しい。跪いて合掌し、天衣を風に
 ひるがへしてゐる様は、来迎藝術の盛行した平安末期の雰囲気をかもし出してゐる」ト
 アル。如来ノ坐像ハイズレモ男性的ニ結跏趺坐シテイルガ、コノ勢至菩薩ハ女性ラシク両
 膝ヲ揃エテ坐ツテイル。予ハ殊ニコノ菩薩像ニ惹キツケラレタ。……

十五日。昨日ノツゞキ。

予ハ四面佛ハ必要デナイ。勢至菩薩ノ一面佛デ沢山デアル。従ツテ正四角形ノ石ハ必要デナイ。正面ニ菩薩ヲ刻ムダケノ、適当ナ厚ミヲ持ツ石ヲ用イレバ足りル。裏面ニハノ予ノ俗名ト、モシ必要ナラ戒名モ加エテ、享年ヲ刻ンデ置ケバイ、予ハ鑿彫^{たがね}リト云ウ彫リ方ヲ委シクハ知ラナイ。子供ノ時分縁日ニ行クト、ヨク大道ニ守リ札ヲ売ル店ガ出テイタ。ソシテ真鍮ノ守リ札ノ表面ニキイゝト云ウ音ヲサセテ子供ノ住所年齢姓名等ヲ鑿^{のみ}ノヨウナ刃物デ彫リ付ケテイタ。彫ルト極メテ繊細ナ線デ字ガ書ケテ行ツタ。鑿ト云ウノハアノコトデアロウ。アレナラソンナニムズカシクハナサソウダ。ノミナラズ、モデルガ誰デア^{えして}ルカト云ウコトヲ彫リ手ニ知ラセズニ彫ラセルコトガ出来ル。予ハ先ズ奈良アタリノ絵心^ろノアル佛工ニ命ジテ、今宮神社ノ四面佛ニ倣ッテ線彫リニシタ勢至菩薩ノ像ニ似タモノヲ描カセル。ソシテ颯子ノサマ／＼ナポーズノ容貌ト姿体ノ写真ヲ示シ、菩薩ノ顔ト胴ト四肢トヲソレトナク彼女ノソレラニ似ルヨウニ畫カセル。サテ鑿師ニハソノ図ヲ示シテ、ソノ図ノヨウニ線彫リサセル。コレナラ誰ニモ心中ノ秘密ヲ見スカサレル心配ナシニ、望ンダ石佛ヲ作り得ル。カクテ予ハソノ颯子菩薩ノ像ノ下ニ、頭ノ上ニ宝冠ヲ戴イテ胸ニ

瓔珞ヲカケ、天衣ヲ風ニヒルガエシタ颯子ノ石像ノ下ニ永久ニ眠ルコトガ出来ル。

予ト石屋トハ五子ト佐々木ヲ傍ニ置イテ三時カラ五時頃マデ、ホテルノロビーデアレカコレカト話シ合ツタ。予ハ勿論颯子ヲモデルニスル ヲ石屋ヤ五子等ニ悟ラセハシナカッタ。川勝氏ノ著書ニ依ツテ仕込マレタ石像美術ノ知識ダケヲ物識リ顔ニ披露シタニ過ギナカッタ。平安朝ヤ鎌倉期ノ五輪塔ニ関スル知識、今宮神社ノ四面佛ノ如来像ヤ菩薩像ノ線彫リニ関スル知識、両膝ヲ揃エテ坐ツテイル蜻蛉石線彫勢至菩薩ニ関スル知識、等々デ彼ヤ彼女等ヲ驚カシハシタモノ、颯子菩薩ノ計畫ハ心ノ奥深くシマイ込ンデ、誰ニモ洩ラサナイヨウニシタ。

「ソレデ結局墓石ノ形式ハドレニオ決メナサイマスカナ、実ニイロ／＼ト専門家モ及バナホド御存知デイラツシャイマスノデ、私ナゾハ何トモ申シ上ゲヨウガゴザイマセンガ」

「僕自身モドウシテイ、カ分ラナイノデ迷ツテルンデスヨ。今又チョット新タニ思イツイタコトモアルンデ、マアモウ二三日考エサシテ貰イマシヨウカナ。イズレ考エガ決ツタラモウ一度来テ貰イマス。ドウモオ忙シイトコロヲ長々トオ引キ留メシテ——」

石屋ガ退去シタ後、五子モ帰ル。予ハ部屋ニ戻ツテ按摩ヲ呼ブ。

予ハ夕食後、俄ニ一念發起シテ外出スベク自動車ヲ命ズル。

「今頃ドチラへ才出掛ケニナリマスノ？ 夜ハ才寒ウゴザイマスカラ明日ニナサイマシタ
ラ」

佐々木ガ驚イテ制シヨウトスル。

「イヤ、ツイソコマデ。歩イタツテ行ケルトコロダ」

「歩イテナンテ飛ンデモナイ、京都ノ夜ハ冷エルカラクレ」\モ氣ヲ付ケルヨウニツテ、
御隠居様ニサン／＼云ワレテ参リマシタノニ」

「是非共必要ナ買物ガアルンダ、君モ一緒ニ附イテ来給エ、五分カ十分デ直グニ濟ムンダ」
委細構ワズ予ガ出掛ケルノデ、オロ／＼シナガラ佐々木ガアトヲ追ツテ来ル。予ノ行ク先
八河原町二条東入ル筆墨商竹翠軒デアル。ホテルヲ出テ五分トハカ、ラナイ所。店先ニ腰
掛ケテ舊知ノ主人ト挨拶ヲ交シ、中国製ノ最良ノ朱墨一挺、小指大ノモノヲ金二千圓デ購
ウ。外ニ一萬圓ヲ投ジテ故桑野鉄城氏ガ所有シテイタト云ウ紫斑文ノアル端溪ノ硯一面、
金デ縁ヲ取ツタ白唐紙ノ大型ノ色紙二十枚。

「久シユウオ目ニカ、リマセンデシタガ、相変ラスオ元氣デイラツシャイマスナ」

「ナアニ、チットモ元氣ナコトナンカナイヨ、今度ハ京都へ自分ノ墓地ヲ捜シニ来マシタ、
イツ死ンデモイ、ヨウニネ」

「御冗談デシヨウ、ソノ勢イ ज्याアマダく大丈夫デイラツシヤイマスヨ。——トコロ

デ何ゾ外ニ御用ハゴザイマセンカ。鄭板橋ノ書ガゴザイマスガ御覽ニナツテ下サイマスカ」

「ソレヨリ君、突然妙ナ才願イヲスルヨウダガ、アツタラ売ツテ貰イタイモノガアルンダ」

「何デゴザイマス」

「紅絹もみきれノ裂きれヲ二尺バカリト布団綿かたまりヲ一ト塊、分ケテ戴キタインダガネ」

「變ツタ御用ヲ承リマスナ、一体何ニナサルンデ？」

「実ハ急ニ拓本ヲ作ル必要ガ出来テネ、ソレニ使ウタンボガ入用ナンダ」

「ハ、ア、分リマシタ、タンボヲ才作りニナルンデスカ。ソナモノナラ何カゴザイマス、

今直グ家内ニ捜サセマス」

二三分デ奥カラ主婦ガ紅絹ノ裂ハシト布団綿ヲ持ツテ出テ来ル。

「ソナモノデ宜シユウゴザイマシヨウカ」

「結構々々、コレデ早速間ニ合イマス。コノ代金ハ？」

「ソナモノハ戴キマセンヨ、コレデ宜シケレバマダゴザイマスカラ、イクラデモ仰ツシ

ヤツテ下サイ」

佐々木ハ何ニ使ウノカ全ク見当ガツカナイラシク、呆氣ニ取ラレテイル。

「サ、コレデ済ンダンダ、サア帰ロウ」
予ハサツサト自動車ニ乗り込ム。
颯子ハマダホテルニ帰ツテイナカッタ。

十六日。今日ハ終日ホテルデ休養スルコトニナツテイル。出発以来四日間、近頃ニナク活動シ、ソノ間ニ面倒ナ日記ヲツケタリシタノデ、予自身休養ノ必要ガアルニハアツタガ、今日一日ダケ佐々木ニモ暇ヲ与エル約束ガシテアツタ。佐々木ハ埼玉県ノ生レデ関西方面ヘハ一度モ旅行シタコトガナイ。ソレデ今度ノ京都行ヲカネテカラ楽シミニシテイタガ、京都滞在中ニ一日才暇ヲ戴イテ奈良見物ヲサセテクレト云ツテイタノデアル。予ハ思ウトコロガアツテ、ソノ日ヲ特ニ今日ニ選ンダ。ソシテ五子ヲ佐々木ノ案内役ニ附ケテ行カセラルコトニシテイタ。ト云ウノハ、五子モ暫ク奈良へ行ツタコトガナイノデ、コノ機会ニ行ツタラドウカト予ガ勧めタノデアル。五子ハ兎角引ツ込ミ思案デ、アマリ外ヘ出タガラナイ。故桑造在世中モ夫婦デ旅行シタコトナドハメツタニナイ。セメテ奈良ノ寺々グライハ見テ置イタ方ガイ、シ、殊ニ今度ハ予ノ菩提所ヲ定メルニツイテモ、必ず参考ニナルコトガアロウ、ト、ソウ云ツテヤツタノデアル。予ハ五子ノタメニ自動車ヲ一日買イ切りニサ

セ、途中宇治ノ平等院ヲ見テ奈良ニ行き、東大寺、新薬師寺、西ノ京ノ法華寺、薬師寺グライハ見落サナイヨウニセヨ、日帰リスルニハ日程ガ少シ無理ダカラ、強行軍ニナルケレドモ、いづうノ鱧はもノ鮓ずしデモ持つテ朝早く立チ、午マデニ東大寺見物ヲ終エテ大佛前ノ掛茶屋テ弁当ヲ使イ、ソレカラ新薬師寺、法華寺、薬師寺等ヲ見テ廻ル。日ガ短イカラ暗クナラナイウチニ見テシマツテ、奈良ホテルテ夜ノ食事ヲシタ、メテ帰ツテ来ル。夜オソクテモ今日中ニ帰ツテ来レバイ、コチラハ心配スルニ及バヌ。今日ハ颯子ガ留守番シテ、終日外出セズ、予ノ部屋ニ附キ切りテイテクレルソウダ、ト、予ハ彼女等ニ云イ渡シテアル。午前七時ニ五子自動車テ佐々木ヲ誘イニ来ル。

「オ早ウゴザイマス、オ爺チャンハ朝ハイツモオ早イノネ」

ソウ云ツテ、竹ノ皮ニ包ンダモノヲ二本、風呂敷ヲ解イテナイトテーブルノ上ニ置ク。

「いづうノ鱧鮓ヲ昨日ノウチニ買ツテ置キマシタカラ、ツイデニ持つテ参リマシタ。颯子ヤント二人テ朝御飯ニ召シ上レ」

「ソレハ有難ウ」

「外ニ何カ、奈良テオ買物ハアリマセンカ、蕨餅ハイカ？」

「ソんなモノハ要ラナイガ、薬師寺へ行ツタラ佛足石ヲ拝ンデ来ルコトヲ忘レルナヨ」

「ブツソクセキ？」

「ウン、ソウ。佛様ノ足ヲ石ニ刻ンダモノダ。オ釈迦様ノ足ハ靈驗アラタカナモノデ、佛様ガ歩行スル時ハ足ハ地ヲ離レルコト四寸、足ノ裏ニ千輻輪せんぷくりんノ相ガアツテソレガ地ニ現レル。足ノ下ノモロくノ虫ドモハ七日間危害ヲ蒙ムラナイトシテアル。ソノ足ノ形ヲ石ニ刻ンダモノガ支那ニモ朝鮮ニモ保存サレテイルガ、日本ニハ奈良ノ薬師寺ニアル。ソレヲ必ズ拝ンデ来ナサイ」

「畏マリマシタ。デハ行ツテ参リマス。今日一日ダケ確カニ佐々木サンヲオ預リシマス、オ爺チャンモドウゾ御無理ヲナサラナイヨウニ」

「オ早ウ」

ト、颯子が睡ソウナ眼ヲコスリく隣室カラ這入ツテ来ル。

「今日ハ若奥様マコトニ恐レ入りマシタ、折角オ寝ミノトコロヲオ起シ申シ上ゲタリシマシテ、勿体ナクテ罰ガ当リマス」

佐々木ガ頻リニクドくト特別ナ言葉デ礼ヲ云イナガラ五子ト共ニ出テ行ク。

颯子ハネグリジエノ上ニキルチングシタブリユーノナイトガウンヲ着、共色ノ縹子ニピンクノ花模様ノアルスリツパヲ穿イテイルガ、佐々木ノ寝タベツドニハ寝ヨウトシナイ、ソ

フアニ寝コロンデ予ガ外出ノ時ニ用イルエーガーノ膝掛、白地ニ黒ト紅トブリユーノタータンチエツクノモノヲ足ニ纏イ、自分ノ部屋カラ枕ヲ持ツテ来テ寝直シニカゝル。仰向ケニ寝テ、ツント鼻ヲ天井ニ向ケテ、眼ヲツブツタマ、何モ予ニ話シカケヨウトシナイ。昨夜ノキヤバレノ帰りガ遅カツタノデ寝足りナイノカ、話シカケラレルノガウルサイノデ寝タ振りヲシテイルノカ、ドツチダカ分ラナイ。

予ハ起キ上ツテ洗面ヲ済マセ、部屋ニ日本茶ヲ取り寄セテ鱧ノ鮓ヲパクツク。三ツモ食ベレバ朝飯ニハ沢山デアル。颯子ノ眠リヲ破ラナイヨウニ注意シテ食ベル。食べ終ツテモ颯子ハマダ寝テイル。

予ハ竹翠軒デ求メテ来タ硯ヲ取り出シテデスクニ置き、ユックリノト朱墨ヲ磨ル。一挺ノ朱墨ヲ先ズ半分程磨リオロス。次ニ布団綿ヲチギツテ大キイノハ六七センチ、小サイノハ二センチグラインノ丸ニ圓メ、紅絹ノ裂テ包ンデタンポヲ作ル。大小ノタンポヲ二個ズツ、都合四個作ル。

「才爺チャン、アタシ三十分ホド出テ来テモイ、？ チヨット食堂へ行ツテ来タイノ」
イツノ間ニカ颯子ガ眼ヲ覺マシタラシイ。ソファニ坐ツテガウンノ間カラ両方ノ膝頭ヲ現ワシテイル。勢至菩薩ノアノ姿ヲ思イ出ス。

「食堂へ行カナイデモイ、ジャナイカ、コ、ニ鮎ガコンナニ残ツテル、コ、デコレヲ食ベナサイ」

「ソウ、デハソウスルワ」

「君ト鱧ヲ食ベルノハ浜作以来ダナ」

「ソウダツタワネ。——才爺チャン、サツキカラ何シテルノヨ？」

「ナニ、チヨット」

「朱墨ヲ磨ツテ何ナサルノ？」

「ソナナコトハ聞カナイデモイ、マア鱧ヲ食イナサイ」

ソナナツモリモナク若イ時分ニ何気ナク見テ置イタコトガ、ドンナ時ニ役ニ立ツカ分ラナイモノダ。予ハ二三回支那ヲ漫遊シタコトガアルガ、支那ノミナラズ、日本ノ何処カヲ旅シタ折ニモ、偶然人ガ野外ニ立ツテ拓本ヲ製作シテイルトコロヲ見タコトガアル。支那人ハコノ技ニ甚ダ熟達シテイテ、風ノ吹ク中デモ平氣デブラシニ水ヲ含マセ、碑面ニ白イ紙ヲ伸バシテ傍カラパタ／＼叩イタリシテイル。ソレデモ見事ナ拓本ガ出来上ル。日本人ハ綿密ニ、神経質ニ、大事ヲ取ツテ、大小サマ／＼ノタンポニ墨又ハ墨ノ肉ヲ含マセ、細カイ線ヲ一ツ／＼丹念ニ擦リ取ツテ行ク。黒イ墨、又ハ黒イ肉ノ場合モアルガ、朱墨ヤ朱

肉ノ場合モアル。予ハコノ朱ノ拓本ヲ極メテ美シイト感じタ。

「御馳走サマ、久シ振ニオイシカツタワ」

茶ヲ飲ンデイル颯子ヲ掴マエテ予ハオモムロニ話シカケタ。

「コヽニアルコノ綿ノ丸ネ、コレハタンポト云ウモノナンダヨ」

「何スルモノナノ？」

「コレニ墨ヤ朱ヲ滲マセテ、石ノ表面ヲパタ／＼叩イテ拓本ヲ作ルノサ、僕ハ朱色デ拓本ヲ作ルノガトテモ好キナンダ」

「石ナンカナイジャナイノ」

「今日ハ石ハ使ワナイ、石ノ代リニ或ル物ヲ使ウ」

「何ヲ使ウノ？」

「君ノ足ノ裏ヲ叩カセテ貰ウ。ソウシテコノ白唐紙ノ色紙ノ上ニ朱デ足ノ裏ノ拓本ヲ作ル」

「ソナモノガ何ニナルノ」

「ソノ拓本ニモトツイテ、颯チャンノ足ノ佛足石ヲ作ル。僕ガ死ンダラ骨ヲソノ石ノ下ニ埋メテ貰ウ。コレガホントノ大往生ダ」

7

十七日。昨日ノ続キ。

予ハ最初、予ガ何ノ目的デ颯子ノ足ノ裏ヲ拓本ニ取ルカヲ、彼女ニハ秘スル積リデアツタ。彼女ノ足ノ裏ヲ佛足石ニ彫ラセ、死後ソノ石ノ下ニ予ノ骨ヲ埋メテ、ソレヲ以テ予ト云ウ人間、卯木督助ノ墓ニ代エルト云ウ案ハ、颯子ニモ知ラセナイ方ガイ、ト考エテイタ。然ルニ昨日急ニ氣ガ變リ、彼女ニ打チ明ケタ方ガイ、ト思ウヨウニナツタ。ソレハ何故デアルカ。何ノタメニ颯子ニ心ヲ明カシタカ。

一ツニハ、ソレヲ打チ明ケタラ彼女ガドンナ顔付ヲシ、ドンナ心理状態ニ陥ルカ、ソノ反応ヲ見タイト思ツタ。次ニハ彼女ガ、ソレヲ知ツタ上デ、自分ノ朱色ノ足ノ裏ノ形ガ白唐紙ノ色紙ノ上ニ印セラレルノヲ見タイ時ノ彼女ノ心持、ソレヲ知リタイト思ツタ。足ガ自慢ノ彼女ハ、自分ノ足ガ佛陀ノ足ニ比セラレテ朱印ヲ紙ノ上ニ落スノヲ見テ、必ズヤ心ニ喜悅ヲ禁ジ得ナイデアロウ。予ハソノ時ノ彼女ノ喜ブ顔ガ見タカツタ。「氣狂イ沙汰ダワ」ト、口デハ云ウニ決ツテイルガ、心デハドンナニ喜ブデアロウカ。次ニ彼女ハ、遠カラズ予ガ死ンデシマツタ後モ、「アノ馬鹿ナ老人ハ私ノコノ美シイ足ノ下ニ眠ツテイル、私ハ

アノ可哀想ナ老人ノ骨ヲ今モナオ地下デ踏ミツケテイル」ト思ウコトヲ禁ジ得ナイ。ソシ
 テ幾分カハ痛快ニ感ジルデアロウガ、ムシロ気味悪ク感ジル方ガ強イデアロウ。ガ、気味
 ガ悪イカラ忘レヨウト思ツテモ、容易ニ、恐ラクハ一生涯、ソノ記憶ヲ拭イ去ルコトハ出
 来ナイデアロウ。生前ノ予ハ彼女ヲ盲愛シテイタ、ダガ若シ死後ニ於イテ多少デモ意趣返
 シヲシテヤル気ガアルトスレバ、コンナ方法ヨリ外ニナイ。死ンデシマエバソナコトヲ
 考エル意志ハナクナルデアロウカ。ドウモ予ニハソウ思エナイ。肉体ガナクナレバ意志モ
 ナクナル道理ダケレドモ、ソウトハ限ルマイ。タトエバ彼女ノ意志ノ中ニ予ノ意志ノ一部
 モ乗リ移ツテ生キ残ル。彼女ガ石ヲ踏ミ着ケテ、「アタシハ今アノ老耄レ爺ノ骨ヲコノ地
 面ノ下デ踏ンデイル」ト感ジル時、予ノ魂モ何処カシラニ生キテイテ、彼女ノ全身ノ重ミ
 ヲ感ジ、痛サヲ感ジ、足ノ裏ノ肌理きめノツル／＼シタ滑ラカサヲ感ジル。死ンデモ予ハ感ジ
 テ見セル。感ジナイ筈ガナイ。同様ニ颯子モ、地下デ喜ンデ重ミニ堪エテイル予ノ魂ノ存
 在ヲ感ジル。或ハ土中デ骨ト骨トガカタ／＼ト鳴リ、絡ミ合イ、笑イ合イ、謡イ合イ、軋きし
 ミ合ウ音サエモ聞ク。何モ彼女ガ實際ニ石ヲ踏ンデイル時トハ限ラナイ。自分ノ足ヲモテ
 ルニシタ佛足石ノ存在ヲ考エタダケデ、ソノ石ノ下ノ骨ガ泣クノヲ聞ク。泣キナガラ予ハ
 「痛い、痛い」ト叫ビ、「痛いケレド楽シイ、コノ上ナク楽シイ、生キテイタ時ヨリ遙カ

「二樂シイ」ト叫ビ、「モット踏ンデクレ、モット踏ンデクレ」ト叫ブ。……………

「今日ハ石ハ使ワナイ、石ノ代リニ或ル物ヲ使ウ」

ト、先刻予ガ云ツタ時、

「何ヲ使ウノ？」

ト、彼女ハ聞イタ。ソレニ対シテ予ハ答エタ。

「君ノ足ノ裏ヲ叩カセテ貰ウ。ソウシテコノ白唐紙ノ色紙ノ上ニ朱デ足ノ裏ノ拓本ヲ作ル」
彼女ガ若シ真ニソレヲ忌マワシク感ジテイルナラ、今少シ違ツタ表情ヲ示ス筈デアアル。然ルニ彼女ハ、

「ソナモノガ何ニナルノ」

ト、云ツタゞケダツタ。ソノ拓本ニモトツイテ彼女ノ足ノ佛足石ヲ作ルノデアアルコト、予ガ死ンデカラ骨ヲソノ石ノ下ニ埋メテ貰ウノデアアルコト、ヲ知ツタ時ニモ、彼女ハ格別ノ意見ヲ述べハシナカツタ。コゝニ於イテ予ハ、颯子ニ異存ガナイバカリカ、少クトモソレヲ面白ガル氣持ガアルコトヲ認メタ。幸イニ予ノ部屋ニハ別室ノ設ケガアリ、ソコハ八畳ノ畳敷ニナツテイタ。予ハ座敷ヲ汚サヌヨウニ、ボーイニ命ジテ大型ノシーツヲ二枚持ツテ来サセタ。ソシテソノ二枚ヲ二重ニ重ネテ畳ノ上ニ敷イタ。朱墨ノ硯ト毛筆トヲ盆ニ載

セテソノ上ニ運ンダ。次ニソフアニ置イテアツタ颯子ノ枕ヲ持ツテ来テ適當ナ位置ニ置イタ。

「サア颯チャン、何モ面倒ナコトハナインダ。ソノマ、コ、へ来テ、コノシーツノ上ニ仰向ケニ寝テクレ、バイ、。アトノ仕事ハ僕ガスル」

「コノマ、デイ、ノ？ 着物ニ朱墨ガ附キハシナイ？」

「絶対ニ着物ニハ附ケナイ、朱墨ヲ塗ルノハ君ノ足ノ裏ダケダ」

彼女ハ云ワレル通りニシタ。仰向ケニ、両足ヲ行儀ヨク揃エテ寝タ、足ヲ少シ反ラシ加減ニ、予ニ足ノ裏ガ明瞭ニ見エルヨウニ。

コレダケノ準備ガ整ツタ時、予ハ先ズ第一ノタンポニ朱ヲ含マセタ。ソレカラ更ニソレヲ以テ第二ノタンポヲ叩キ、朱ヲ薄クシタ。予ハ彼女ノ二ツノ足ヲ二三寸ノ間隔ニ開イテ置キ、右ノ足ノ裏カラ第二ノタンポヲ注意深く叩イテ行ツタ。肌理きめノ一ツ／＼ガハツキリト分離サレテ印しるサレルヨウニ。

盛り上ツテイル部分カラ土踏マズニ移ル部分ノ、継ギ目ガナカ／＼ムズカシカッタ。予ハ左手ノ運動ガ不自由ノタメ、手ヲ思ウヨウニ使ウコトガ出来ナイノデ一層困難ヲ極メタ。

「絶対ニ着物ニハ附ケナイ、足ノ裏ダケニ塗ル」ト云ツタガ、シバ／＼失敗シテ足ノ甲ヤ

ネグリジエノ裾ヲ汚シタ。シカシシバく失敗シ、足ノ甲ヤ足ノ裏ヲタオルデ拭イタリ、塗り直シタリスルコトガ、又タマラナク楽シカッタ。興奮シタ。何度モくヤリ直シヲシテ倦ムコトヲ知ラナカッタ。

漸ク両足ヲ満足ニ塗り終ツタ。右足カラ先ニ少シ高く擡^{もた}ゲテ、下カラソレニ色紙ヲ当テ、足ノ裏^デ印ヲ捺スヨウニサセタ。何度モく試ミテ巧ク行カズ、希望スル拓本ガ作レナカッタ。二十枚ノ色紙ハ凡ベテ徒勞ニ歸シタ。予ハ竹翠軒ニ電話ヲカケ、直チニ色紙ヲモウ四十枚届ケサセタ。今度ハ方法ヲ改メテ、足ノ裏ノ朱ヲ一遍キレイニ洗い落シ、足ノ趾ノ股^{また}マデモ一本々々拭イ取り、立ツテ椅子ニ掛ケサセテ、予ハソノ下ニ仰向イテ臥、窮屈ナ姿勢ニ堪エナガラ足ノ裏ヲ叩キ、色紙ノ上ヲ両足^デ踏マセテ捺印サセタ。……………

……………最初ノ豫定ハ、五子ト佐々木ガ戻ルマデニ仕事ヲ済マセ、汚レタシートヲボーイニ渡シ、数十枚ノ足ノ裏ノ色紙ヲ取り敢エズ竹翠軒ニ預ケ、部屋ヲ何事モナカッタヨウニ掃除シテ、何喰ワヌ顔ヲシテイルツモリデアツタガ、ソウ都合ヨクハ行カナカッタ。五子達ハ思イノ外早ク九時前ニ戻ツテ来タ。予ハノックノ音ヲ耳ニシタガ、返事スル隙モナクドーアガ開イテ彼女等ガ這入ツテ来タ。颯

子ハイチ早く浴室ニ隠レタ。日本座敷ニハ朱ヤ白ノ斑文ガ無数ニ点々ト散乱シテイタ。彼女等ハ茫然トシテ無言デ顔ヲ見合ワセテイタ。佐々木ハ黙ツテ血壓ダケヲ測ツタ。

「二百三十二ゴザイマスネ」

ト、容易ナラヌ表情デ云ツタ。……………

……………
 十七日ノ朝、颯子ガ何ノ断リモナシニ勝手ニ東京ヘ立ツタコトヲ知ツタノハ、午前十一時頃デアツタ。朝食ノ時ニ食堂ニ見エナカツタノハ、朝寝坊ノ彼女ノ常デアルカラ、予ハマダ颯子ハ寝テイルモノト思ツテイタ。豈図ランヤ彼女ハソノ頃ハイヤヲ走ラシテ伊丹ニ向ツテイタノデアル。十一時前後ニ五子ガ部屋ヲ訪レテ、

「困ツタコトガ出来タワヨ」

ト教エタ。

「才前ガソレヲ知ツタノハイツダ」

「タツタ今デス。今日ハドチラヘオ供シタライ、ノカ、伺オウト思ツテ来タラ、『卯木サ
 ンノ奥様ハ先程オ一人デ伊丹ヘオ立チニナリマシタ』ツテ、突然フロントデ云ワレタンデ
 ス」

「馬鹿ヲ云エ、才前ハ前カラ知ツテタンダロウ」

「飛ンデモナイ、アタシガ何ヲ知ルモンデスカ」

「何云ツテヤガル、狸奴、馴レ合イニ決ツテルンダ」

「イ、エ違イマス、今コノホテルデ聞イタンデス、『実ハ先程、アタシハ父ニ内證デ一ト足先ニ日航デ歸ル、アタシガ伊丹へ着ク時分マデハ決シテ誰ニモシヤベツチャイケナイツテ仰ツシヤラレマシタンデ、申シ上ゲズニオリマシタ』ツテ、フロントデ云ワレテ、ビツクリシタンデス」

「嘘ヲツキヤガレ、古狸、キツト貴様ガ颯子ヲ怒ラシテ立タセルヨウニ仕向ケタンダ。貴様モ陸子モ人ヲ煽^{おだ}テタリ騙^{だま}シタリスルコトニカケチャア昔カラ大シタ腕前ダカラナ。己ハツイソレヲ忘レテタノガ残念ダ」

「マア非道^{ひど}イ！ 何テコトヲ仰ツシヤルンデス」

「佐々木サン」

「ハイ」

「ハイジャアナイ、君ダツテ五子カラ聞イテ知ツテタンダロウ、ミンナデ寄ツテ集^{たか}ツテコノ老人ヲ騙シニカ、ツテタンダ、ミンナデ颯子ヲ邪魔ニシテヤガル」

「ソナ風ニ思ツテラシツチャ佐々木サンコソイ、迷惑ダワ。佐々木サンハ暫クロビーニデモ行ツテラシツテ下サイヨ、イ、機会ダカラ、アタシオ爺チャンニ聞イトイテ戴キタイコトガアルンデス、ドウセ古狸ト云ワレタ以上、アタシモ云ウダケハ云ワセテ貰イマス」

「血壓ガ才高ウゴザイマスカラ、イ、加減ニ遊バシテ下サイマセント——」

「エ、エ、分ツテマス」

五子ノ話ハ次ノヨウナコトダツタ。——

アタシガ颯チャンヲ立タセルヨウニ仕向ケタト云ウノハ、全ク根モ葉モナイ冤罪デアル。コレハアタシノ想像ダケレドモ、颯チャンガ立ツテ行ツタノハ外ニ何カ、早ク東京ニ歸リタイ理由ガアツタノデハナカロウカ。ソノ理由ハアタシニハヨク分ラナイガ、オ爺チャンコソ何カシラ感ツイテイラツシャルノデハナイデシヨウカト、乙ニ絡ンデ云ウ。予ハソレニ答エテ云ツタ、彼女ト春久ト仲ガイ、コトハ予ガ知ツテイルバカリデナク、自分デモ公然ト云ツテイルシ、亭主ノ浄吉モ承知デアル。今デハ誰知ラヌ者ハナイト云ツテイ、ガ、ダカラト云ツテ、二人ノ間ニ不倫ナ関係ガ成リ立ツテイルト云ウ證據ハナイシ、ソナコトヲ信ジル者ハ一人モイナイヨト、ソウ云ウト、本当ニ一人モイナイデシヨウカ、ト、五子ハ妙ナ笑イ方ヲシタ。ソシテ又云ツタ。コンナコトヲ云ツテイ、カ悪イカ分リマセンケ

レド、アタシハ浄吉ツアンノ氣持ガ少シ變ダト思ウ、仮リニ颯チャント春久サントノ間ニ
何カアツタトシテモ、浄吉ツアンハ見テ見又振りデ、許ス積リデハナインデシヨウカ、ド
ウモアタシハ、浄吉ツアンハ浄吉ツアンデ颯チャン以外ニ誰カアルノダト思イマス、無論
ソレハ颯チャンモ春久サンモ暗黙ノウチニ、イヤ、暗黙ドコロデハナイ、オ互ニ諒解ガ出
来テイルノデハナイデシヨウカ、——五子ガコ、マデ語ツタ瞬間、コノ女ニ対スル云イ
ヨウノナイ忿懣ト憎悪ガ予ノ胸ノ中ニ渦ヲ卷イテ沸キ上ツタ。予ハモウ少シデ怒号スルト
コロデアツタガ、怒号シタラ動脈ガ破裂スルノヲ怖レテ、辛ウジテ怵エタ。椅子ニ掛ケテ
イテモ予ハ眼ガ晦くらンデ倒レソウニナツタ。予ノ血相ガ變ツタノヲ見テ五子モ青クナツタ。

「止メテクレ、ソナ話。止メテ帰ツテクレ」

予ハ出来得ル限り声ヲ低メテ顫エテ云ツタ。何故ニ予ハアンナニマデ怒ツタノカ。思イモ
寄ラヌ秘密ヲ不意ニ彼女ニ発あはカレタ、メカ、自分デモ疾ウカラ内々ハ氣ヅイテイテ、強イ
テ氣ツカ又振りヲシテイタノニ、コノ古狸ニ突如素ツ破抜カレタ、メカ。

五子ハモウ部屋ニイナカツタ。予ハ昨日一日ノ無理ナ活動ガ崇たツテ、頸ノ周り、肩、腰、
等々ノ痛ミガ激シク、昨夜モ夜ツピテ安眠出来ナカツタノデ、再ビアダリン三錠トアトラ
キシン三錠ヲ飲ミ、佐々木ニ命ジテ背中ヤ肩ヤ腰ニサロンパスヲペタ／＼貼ラセテベッド

ニ這入ツタ。シカシヤツパリ寢ラレナイノデルミナルノ注射ヲシテ貰オウトシタガ、寢過ギルト困ルト思ツテ止メタ。ソレヨリ午後ノ列車ヲ捉エテ颯子ノ跡ヲ追ウコトニ決メ、毎日新聞支局ノ友人ニ依頼シテ無理ニ切符ヲ手ニ入レテ貰ウ。(予ハ飛行機ニハ乗ツタコトガナイ) 佐々木ハ激シク反対シ、コンナ高血壓ノ際ニ旅行ハ思イモ寄りマセン、セメテ三四日安静ヲ保チ、血壓ノ安定ヲ見定メテカラニシテ下サイト、泣クヨウニシテ頼ンダガ、予ハ聴キ入レナカツタ。五子ガ詫ビヲ入レニ来テ、デハ東京マデアタシモ才供サセテ戴キマスト云ウ。貴様ノ顔ハ見ルノモ癩ダカラ、附イテ来ルナラ別ノ箱ニ乗レト云ツテヤル。

………

十八日。

昨日午後三時二分京都発第二こだまニ乗ル。予ト佐々木トハ一等、五子ハ二等デアル。九時東京着。婆サン、陸子、浄吉、颯子、四人ガホームニ迎イニ出テイル。予ヲ歩行困難ト思ツタノカ、歩カセテハナラヌト考エタノカ、運搬車ガ来テ待ツテイル。五子ノ奴ガ電話デ萬事云イ附ケテ置イタノニ違イナイ。

「何ダ、馬鹿々々シイ！ 鳩山サンジャアルマイシ」

予ハサンノ〃ノ駄々ヲ捏ネテ皆ヲ手古摺ラシタガ、突然右ノ掌ニモウ一ツノ柔イ掌ヲ感じタ。颯子ガ手ヲ取ツテイルノダツタ。

「マア才爺チャン、アタシノ云ウコトヲ聴クモノヨ」

忽チ予ハ鳴リヲ静メテ云ウナリニナツタ。直グ運搬車ガ動キ出シテエレベーターデ地下道ニ下リ、長イ暗イ路ヲガラ〜ト走り出シタ。一同ゾロ〜ト後ニ附イテ来タガ、走り方ガ速イノデ追イ着クノニ骨ガ折レタ。婆サンガトウ〜ハグレテシマイ、浄吉ガ捜シニ戻ツタ。予ハ東京駅ノ地下道ノ宏大ナノト岐路ノ多イノニ驚カサレタ。出タノハ丸ノ内側ノ、中央口ニ近イ特別通路ノ外ノ御車寄^{みくるまよせ}デアツタ。自動車ガニ台待ツテイタ。先頭ノ一台ニ三人、予ヲ囲ンデ颯子ト佐々木。次ノ一台ニ四人、婆サン、五子、陸子、浄吉ノ四人ガ乗ツタ。

「才爺チャン、御免ナサイネ、黙ツテ歸ツテ来チマツテ」

「誰カト約束デモアツタノカネ」

「ソウジヤナイノヨ、正直ヲ云ウト、昨日一日才爺チャンノ相手ヲサセラレタンデ、スツカリ参ツチマツタノヨ。朝カラ晩マデ足ノ裏ヲアンナニ弄リ廻サレタンジャ、何ボ何デモ溜ラナイワ。タツタ一日デ、アタシヘト〜ニナツチャツタカラ逃ゲ出シタノヨ。御免ナ

サイネ」

声ノ調子ニイツモノ彼女ラシクナイ、ワザトラシイトコロガアツタ。

「才爺チャンオ疲レニナツタデシヨウ。アタシ十二時二十分ニ伊丹ヲ立ッテ、二時二八羽田ニ着イタノヨ。飛行機ダト速イワネ」……………

佐々木看護婦看護記録抜萃

……………十七日の夜帰京した患者は、京都での連日の疲労が一度に発したのであろう、十八十九の両日は大部分寝て暮していたが、それでも折々書齋に出て来て前日の日記の残りを書き足していた。然るに二十日の午前一〇時五五分、これから述べるような事件がおこった。

その前に、颯子夫人は十七日の午後三時頃羽田から狸穴の宅へ帰った。夫人は直ちに電話口へ浄吉氏を呼び出して、老人の精神状態がいよゝ奇異であるために、もはや自分は一日も行動を共にするに堪えなくなり、勝手に自分だけ先に帰って来た由を告げた。夫婦は

相談の結果、老夫人には内密にして、友人の精神科医井上教授を二人で訪い、いかに処置したらいかを尋ねた。教授の意見としては、老人の病気は異常性慾と云うべきもので、目下の状態では精神病とは云えない、たゞこの患者には情慾が常に必要であつて、それがこの老人の命の支えとなつてゐることを考えると、それに適応する取り扱ひをしてあげなければいけない、颯子夫人はその点によく注意して患者をみだりに興奮させたり、患者の意に逆らつたりしないようにし、つとめてやさしく看護してあげて欲しい、それが唯一の治療法であるとのこと。依つて浄吉氏夫婦は、老人の帰京に接して以来出来るだけ教授の意見に従つて老人を遇していた。

二十日 火曜日 晴

午前八時、体温三五・五度、脈搏七八、呼吸一五、血圧一三二——一八〇。一般状態は特に変化を認めない。言葉や動作は不気嫌の模様。

朝食後患者書齋に入る。日記を書くつもりらしい。

午前一〇時五五分、異常な興奮状態で書齋から寢室に現われる。何か云うらしいが私には理解出来ない。ベッドに運び入れて安臥させる。脈搏一三六、緊張して不整も結滞もない。呼吸二三。心悸亢進を訴える。血圧一五八——九二。手まねで強い頭痛を訴える。

顔の表情は恐怖で歪んでいる。杉田医師に電話で連絡するけれども、特別の指示がない、毎度のことだが、この医師は看護婦の観察を無視する癖がある。

午前一一時一五分、脈搏一四三、呼吸三八、血圧一七六——一〇〇。杉田医師に再度電話連絡するけれども指示がない。室温、採光、換気を点検。家族は老夫人のみ病室にいる。酸素吸入の必要を感じ虎ノ門病院に連絡、病状報告の上配慮を依頼する。

午前一一時四〇分、杉田医師来診、病状経過を報告する。診察後、杉田氏往診カバンより注射液を出し、自ら注射する。アンプルはビタミンK、コントミン、ネオフィリン、であった。注射を終わって杉田氏がまだ玄関にいる時、患者は突然高声を発し、意識不明となった。全身痙攣が激しく起り、チアノーゼが口唇や指先に著明となる。痙攣がやがておさまると、強い運動不安が起り、制止を排して跳ね起きようとする。

大小便の失禁がある。全発作は約十二三分、深い睡眠に入る。

午後一二時一五分、附添中の老夫人が急に眩暈を訴えたので、別室に運んで静かに寝かせる。一〇分ほどで回復。老夫人の看護は五子夫人が引き受ける。

一二時五〇分、患者安眠。脈搏八〇、呼吸一六。颯子夫人入室する。

一三時一五分、杉田医師帰宅、面会謝絶の指示がある。

一三時三五分、体温三七・〇度、脈搏九八、呼吸一八。時々咳嗽あり、全身冷汗強度、寢衣を交換する。

一四時一〇分、親戚の小泉医師来訪。病状経過を報告する。

一四時四〇分、覚醒。意識明瞭。言語障害なし。顔面、頭部、項部にわたり打撲様の疼痛を訴える。発作前の左上肢の疼痛は消失している。小泉医師の指示によりサリドン一錠、アダリン二錠投与。颯子夫人を認めたるも静かに眼を閉じている。同五五分、自然排尿あり。一一〇cc、溷濁なし。二〇時四五分、強い口渴を訴える。颯子夫人の手からミルク一五〇cc。野菜スープ二五〇ccを与える。

二三時五分、浅眠状態。老人は既に完全に覚醒し、危険状態を脱したようではあるが、再発の怖れがないとは云えないので、なお念のため東大梶浦教授の診察を乞うた方がよいと云うことになり、夜おそくではあったけれども浄吉氏が教授をつかまえて伴って来る。診察後、これは脳溢血の発作ではない、脳血管の痙攣であるから、今どうと云う心配はないと云われる。そして一日二回、朝夕二〇%ブドウ糖二〇cc、ビタミンB₁一〇〇ミリ、ビタミンC五〇〇ミリの注射と、就寝前三〇分アダリン二錠ソルベン四分の一錠、投与の指示がある。今後当分約二週間は安静を旨とし、面会謝絶を続けている方がいゝこと、入浴

は暫く見合わせ、余程気分のいゝ時を見計らつて入浴すること、床を離れるようになっても最初は先ず室内を歩く程度にすること、体の調子を見て天候のうらゝかな日を選びポツ／＼庭を散歩するくらいはいゝが、外出は厳禁、出来るだけ精神をぼんやりさせるようにして物事を深く考え込んだり思い詰めたりしないこと、日記をつけることは絶対不可であること、等綿密な注意がある。……

勝海医師病床日記抜萃

十二月十五日 晴一時濃煙霧後晴

主訴。胸内苦悶の発作。既往歴。三十年來血圧が高く、最高血圧一五〇——二〇〇、最低血圧七〇——九五。時として最高二四〇ぐらゐに達したこともある。六年前に卒中発作に罹り、以後軽い歩行の障害がある。最近数年来左上肢特に手首から先に神経痛様の疼痛があり、寒さに当ると増強する。若い頃性病をわずらつたことがあり、酒も一升近く嗜んだが、最近では飲んでも猪口に一二杯程度。煙草は昭和十一年以來廃している。

現病歴。約一年前から既に心電図上STの降下、T波の平低化等、心筋傷害を疑わせる所見が見られたが、最近まで特に心臓についての訴えはなかった。十一月二十日、激しい頭痛、痙攣、及び意識障害の発作があり、梶浦教授に脳血管の痙攣と診断され、その指示に従い経過は順調であったが、同三十日、患者の嫌いな娘と論争したことがあり、その時左前胸部に軽い苦悶感を十数分間感じ、以来同様の発作が頻発するようになった。当時の心電図には一年前に比べ著変が見られない。十二月二日夜、排便時に力りきんだところ、心臓部に五十分以上に亘つて激しい締めつけるような疼痛がおり、最寄りの医師の往診を受けたが翌日の心電図検査に依り、胸部誘導に前壁中隔梗塞を疑わせる所見が見られた。同五日の夜にも同様の強い発作が十数分に亘つておこつた外、毎日小さい発作が頻発している。元来便秘がちで、排便した後で発作がおこり易い。発作に対しては今まで医師からP剤Q剤の服用、酸素吸入、鎮静剤、パパペリンの注射等を受けている。十二月十五日当科（東大内科）A号室に入院。主治医S氏及び若夫人より病気の経過を聞き、軽い診察をする。患者はやゝ肥満し、貧血、黄疸はなく、下腿に軽度の浮腫が見られる。血圧一五〇——七五、脈搏九〇で速く、整。頸部に静脈怒張を認めず。胸部では両側肺下野に軽い湿性ラッセル音を認め、心臓は肥大せず、大動脈弁口で軽い収縮期性雑音を聴取する。腹部で肝、

脾を触れず。右側上下肢に軽い運動障害があると云うが、粗大力減弱はなく、異常反射も証明されない。膝蓋腱反射は両側とも同程度に減弱している。

脳神経領域には異常を認めず、家族はしゃべるほうは普通だと云うが、患者自身は卒中発作以来すこしおかしいと云っている。主治医のS氏から、患者は人より薬に敏感で、常用量の三分の一か二分の一でよく効き、普通量使うと強すぎると注意され、若夫人から、以前静脈注射で痙攣をおこしたことがあるので血管注射はしないようにと云われる。

十六日 晴一時曇

入院して安心した為か昨夜は発作もなく、よく眠れたと云う。朝方になって上胸部に軽い苦悶感が数秒ずつ数回あったと云うが、神経性のものかも知れない。便秘をしないように緩下剤の服用をすゝめる。患者もそれに気附いて既にバイエルのイスクチン Isuzin をわざ／＼ドイツより取り寄せて用いている。患者は長年高血圧や神経痛を患ったので、薬のことは大変よく知っており、うか／＼すると新米の医師は負けてしまう。ベッドの囲りにはいろ／＼な薬が置いてあり、特に処方を出す必要もなく、その中からP剤Q剤を続けて服用するように云う。又発作のおこった時は、これも患者持参のニトログリセリン錠を舐めるように指示する。患者の枕元に酸素吸入器も具え、直ぐに注射出来るようにして置く。

血圧は一四二——七八、心電図には三日とほゞ同様、S・T・Tの異常と、前壁中隔梗塞を疑わせる所見が見られ、胸部レントゲン写真では心臓肥大はあまりなく、動脈硬化像が見られる。血沈促進、白血球増多、S・GOT値の上昇を認めない。以前から前立腺肥大があり、排尿の時に難渋したり、尿が混濁したりすると云うが、今日のは清澄で蛋白もなく、糖が弱陽性である。

十八日 晴後曇

入院以来まだ強い発作は見られない。発作の性状は主として上胸部又は左前胸部の苦悶感で、それも数分以上続くことは稀である。寒いと神経痛が痛む上に、心臓の発作もおこり易く、病室のスチームは頼りにならないので、電気やプロパンガスのストーブを二つも三つも持ち込んでいる。

二十日 薄曇後晴

昨夜八時頃心窩部より胸骨背面に互つて、苦悶感が三十分位つゞく。ニトログリセリン錠と当直医師の鎮静剤、冠拡張剤の注射で間もなくおさまる。心電図は前回と特に変わっていない。血圧一五六——七八。

二十三日 晴後時々曇

軽い発作が毎日ある。尿に糖が出ているので、今朝は朝食に十分な米飯とおかずを食べて貰い、その後の血糖値を調べて糖尿病の有無を検査する。

二十六日 日曜 晴一時曇

午後六時頃左前胸部に強い苦悶感がおこり、十数分以上つゞいてみると、病院から電話で呼ばれる。緊急の処置を当直医に依頼し、午後七時頃駆けつける。血圧一八五——九七、脈搏九二、整。鎮静剤を注射し間もなく落ち着く。日曜日は受持医がいないので不安になるためか、発作が多いようである。発作時は血圧が高くなる傾向がある。

二十九日 晴一時あられ濃煙霧後晴

こゝ暫く強い発作は見られない。ベクトル心電図でも前壁中隔梗塞の疑いがある。血清ワ氏反応は陰性。明日よりアメリカから来たばかりの新しい冠拡張剤Rを使うことにする。

三十六年一月三日 晴後曇後雨

新しい薬が効いているのか経過はいゝようである。尿が混濁して来たと言う。顕微鏡で見ると白血球が無数に出ている。

八日 晴一時濃煙霧後晴

泌尿器科K教授の往診を受ける。前立腺肥大及び残尿のための細菌感染が見られ、前立腺

のマッサージと抗生物質の投与で様子を見るようにと云われる。心電図に軽度の改善が見られる。血圧一四三——六五。

十一日 晴れたり曇ったり

二、三日前から腰部に疼痛を訴えていたが、次第に痛みが強くなり、これをこらえていたところ、午後になって両側胸部に締めつけられる様な痛みがおこり十数分続く。最近で一番強い発作である。血圧一七六——九一、脈搏八七。ニトログリセリン錠、冠拡張剤、鎮静剤の注射で間もなくおさまる。心電図には新しい病変の所見は見られない。

十五日 晴

昨日のレントゲン写真の結果は変形性脊椎症と云う診断である。腰があまり曲らぬ様にした方がよいと云うので、腰部にアイロン台を入れ、ベッドの中に体が落ち込まぬようにする。

中略

二月三日 快晴

心電図も大部よくなり、最近は小さい発作も殆んどおこらない。この分では近く退院出来るだろう。

七日 晴れたり曇ったり

軽快退院。今日は二月としては珍らしく暖い日である。寒いのは禁物だから、昼からの一番暖い時を選んで暖房車で送る。卯木氏の家では主人の書斎を大きなストーブで暖めていると云うことである。

城山五子手記抜萃

去年十一月二十日に脳血管の痙攣で倒れた父は、その後間もなく狭心症、心筋梗塞を患い、同年十二月十五日東大病院に入院したが、勝海先生のお蔭で辛うじて危険状態を脱し、本年二月七日五十日餘で退院することが出来、狸穴の宅に帰った。しかし狭心症は全く治癒した訳ではなく、その後も時々軽い発作があり、今になっても折々ニトログリセリンの厄介になっている。そして二月から三月一杯寝室から一步も出たことはなかった。佐々木看護婦は父の入院中も卯木家において母の看護に当っていたが、父が退院すると又父の係となつて、三度の食事から大小便の世話をしたが、時々お静も手伝っていた。

私は京都の家においても近頃はこれと云う用事もないので、一カ月の半ばは狸穴で暮し、佐

々木看護婦に代つて母の病床に侍つた。父は私の顔を見ると御機嫌が悪いので、なるべく父に見られないようにした。その点は陸子も私と同じである。

颯子の立場は甚だ微妙で、且困難なものであつた。井上教授の注意に従つて、努めて父にやさしい態度を示すようにしていたが、餘りやさしくし過ぎたり、長時間枕頭に侍つていたりすると、父は往々感激して興奮する。颯子が病室にいた後で、父が発作をおこすことはしばしばあつた。さればと云つて、彼女が日に何回か病床に姿を見せなければ、病人がそれを気にすることは必至であり、そうなれば病勢を悪化させる結果となる。

父も颯子と同じような微妙な心理状態にあつた。狭心症の発作は非常な苦痛を伴うので、父は死を恐れないと云いながらも、死に至るまでの肉体の苦痛は恐れた。だから颯子に餘り親しくされることは避けるように、内々努めている様子があつたが、しかし全然会わずにはいられなかつた。

私は浄吉夫婦の住んでいる二階には行つたことがない。が、佐々木看護婦の語るころでは、颯子は近頃夫の部屋では寝ていないらしい、泊り客のために用意してあるスパーアの室に自分の寝間を移しているらしいと云う。たまには春久も、こつそり二階に上り込んでいることがあるとも云う。

或る日、私が京都に帰っていた時、突然父から電話がかゝった。何用かと思うと、先般颯子の足の拓本（色紙）を竹翠軒に預けたまゝにしてあるから、あれを受け取って、この間の石屋に示し、あれを佛足石のように刻ませてくれ、と云うのである。大唐西域記に依れば、お釈迦様の足跡あしあとが今も摩揭陀国に遺っているが、足の長さが一尺八寸、廣さが六寸、両足に輪相があるとしてある。颯子の足の裏も、輪相は描かなくてもいゝが、長さはあの形のまゝで一尺八寸に擴大して貰いたい。是非そのようにお前から注文してくれと云う。そんな馬鹿氣た注文を、頼める筈のものでもないから、私はいゝ加減に聞いて一旦電話を切り、

「石屋の主人は九州地方へ旅行中だそうで、後日返事をするそうです」
と、答えて置いた。すると数日後、又父から電話があつて、それなら拓本全部を東京へ送ってくれと云う。私は云われる通りにした。

拓本が到着した旨を佐々木看護婦からやがて知らせて来た。父は十数枚の拓本の中から、出来のいゝのをあれかこれかと四五枚選び出して、一枚々々熱心に、何時間でも飽かず眺めて暮している、又興奮させてはと思つたが、それをも禁止する訳に行かず、颯子に直接触れるよりは、まあこんなことで満足させて置く方がいゝと考えてそのまゝにしている、

と看護婦は云った。

四月中旬になってから、好天気の日には庭を二三十分ぐらい散歩するようになった。

大概看護婦がお供をしたが、稀には颯子が手を曳いていることもあった。

嘗て拵えてやると約束をしたプールの工事がもうその頃始まって、庭の芝生が掘り返されていた。

「拵えたって無駄だわよ、どうせ夏になればお爺ちゃんは日中に戸外へなんぞ出られやしないわ、無駄な費用だから止めた方がいゝわ」

と、颯子が云うと、浄吉が云った。

「約束通りプールの工事が始まっているのを、眺めるだけでも親父の頭にはいろ／＼な空想が浮ぶんだよ。子供達も楽しみにしているしね」

青空文庫情報

底本：「瘋癲老人日記 改版」中公文庫、中央公論新社

1977（昭和52）年1月10日初版発行

2001（平成13）年3月25日改版発行

底本の親本：「谷崎潤一郎全集 第十九卷」中央公論社

1982（昭和57）年11月

初出：「中央公論」中央公論社

1961（昭和36）年11月～1962（昭和37）年5月

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ケ」（区点番号586）を、大振りにつくっています。

※表題は底本では、「瘋癲《ふうてん》老人日記」となっています。

※「血圧」と「血圧」の混在は、底本通りです。

入力：kompass

校正：酒井裕二

2016年9月9日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

瘋癲老人日記

谷崎潤一郎

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>